

特 別 支 援

(注)

この選定資料は、特別支援学級及び特別支援学校において検定教科用図書を使用する場合の使用上の注意点について調査したものである。

文中の〔A〕〔B〕〔C〕〔D〕は、下記発達段階のめやすを示したものである。

〔A〕 表情や身振りを豊かにする段階

〔B〕 話し言葉を豊かにする段階

〔C〕 書き言葉を習得する段階

〔D〕 書き言葉によって思考する段階

項目		発 行 者 名			
		2 東書	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
使用上の留意点	別表 1	発達のためやすに照らして〔D〕では写真や挿絵を中心に、部分的に使用することが可能である。 「領域別教材一覧」では、1 年間の学習の見通しを持ちやすく、また各教材で身に付けたい言葉の力を分かりやすく提示している。 「てびき」では、教材の学習の手順や流れ、ポイントを分かりやすく提示している。	発達のためやすに照らして〔D〕では写真や挿絵を中心に、部分的に使用することが可能である。 「領域別教材一覧」では、1 年間の学習の見通しを持ちやすく、また各教材で身に付けたい言葉の力を分かりやすく提示している。 「学びの道しるべ」では、教材の学習の手順や流れ、ポイントを分かりやすく提示している。	発達のためやすに照らして〔D〕では写真や挿絵を中心に、部分的に使用することが可能である。 「言葉の地図」では、1 年間の学習の見通しを持ちやすく、また各教材で身に付けたい言葉の力を分かりやすく提示している。 「学びナビ」「みちしるべ」では、教材の学習の手順や流れ、ポイントを分かりやすく提示している。	発達のためやすに照らして〔D〕では写真や挿絵を中心に、部分的に使用することが可能である。 「学習の見通しをもとう」では、1 年間の学習の見通しを持ちやすく、また各教材で身に付けたい言葉の力を分かりやすく提示している。 「学びへの扉」「学びのカギ」では、教材の学習の手順や流れ、ポイントを分かりやすく提示している。
	別表 2	話の聞き方、質問の仕方、場面に応じた話し方など、学校生活・社会生活につながる教材を取り扱っている。	メモの活用、質問の仕方、話し合いの形式など、学校生活・社会生活につながる教材を取り扱っている。	日本語の音声や言葉の単位など、言語理解や言語の活用につながる教材を取り扱っている。 古典では、なじみ深い昔話を取り上げた教材を、導入で取り扱っている。	聞き方の工夫、質問の種類など、学校生活・社会生活につながる教材を取り扱っている。 古典では、3 年間の古典学習を見通した教材を、導入で取り扱っている。
	別表 3・4	図表は、色に頼ることなくマークや文字情報でも区別できるように工夫している。 古典の口語訳の文字は、本文と違う色を使用して、見やすいように工夫している。 デジタルコンテンツには、動画などの学習資料だけでなく、自主学習に活用できる教材も多数収録されている。 巻末に「デジタルコンテンツ一覧」「主なデジタルコンテンツ」を載せ、活用しやすく工夫している。 全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしている。 独自に開発した教科書用の書体を使用している。 本文には行末に数字と点を付して、行を数えやすいように工夫している。 再生紙・植物油インキを使用している。 軽量の紙を使用している。	図表は、色に頼ることなく線の種類や濃淡、地紋でも識別できるように工夫している。 古典の口語訳の文字は、本文と違う色を使用して、見やすいように工夫している。 学習内容を視覚的に捉えやすいよう、図解を多く用いている。 デジタルコンテンツには、動画などの学習資料だけでなく、自主学習に活用できる教材も多数収録されている。 巻末に「二次元コード参照先コンテンツ一覧」を載せ、活用しやすく工夫している。 カラーユニバーサルデザインに配慮して編集している。 独自に開発した複数の書体を使用している。 本文には行末に数字を付して、行を数えやすいように工夫している。 環境にやさしい用紙と植物油インキを使用している。	図表は、色に頼ることなくマークや文字情報でも区別できるように工夫している。 古典の口語訳の背景色は、本文と違う色を使用して、見やすいように工夫している。 デジタルコンテンツには、動画などの学習資料だけでなく、自主学習に活用できる教材も多数収録されている。 カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。 画数や筆順が正確に理解できるよう配慮した書体を本文に使用しているという記載がある。 本文には行末に数字と点を付して、行を数えやすくしている。 環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用している。	図表は、色に頼ることなく線の種類や濃淡、地紋でも識別できるように工夫している。 古典の口語訳の文字は、本文と違う色を使用して、見やすいように工夫している。 デジタルコンテンツには、動画などの学習資料だけでなく、自主学習に活用できる教材も多数収録されている。 巻末に「ICT 活用のヒント」「二次元コード一覧」を載せ、活用しやすく工夫している。 カラーユニバーサルデザイン、特別支援教育、学習のユニバーサルデザインなどについて専門家による校閲を行っている。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。 書き文字との差異が少ない書体を開発し、本文に使用している。 本文には行末に数字と点を付して、行を数えやすくしている。 環境に配慮した紙と植物油インキを使用している。 堅ろうで薄い紙を開発し、使用している。
備考					

別表 1

項目		「2 東書」
(1) ア	A	
	B	
	C	
	D	◇写真や挿絵を中心に、部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇「領域別教材一覧」「てびき」「言葉の力」「言葉の力 一覧」で、教材の学習の手順や流れ、身に付けたい力を分かりやすく提示している。 ◇教材によって、上段・下段の区別や図解での説明など、分かりやすく提示している。

別表 2

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇「対話の学び」で「話すこと・聞くこと」の学習の基盤や日常生活・社会生活の基盤となる能力の伸長を図っている。
	イ	◇古典教材にはカラー資料を豊富に使用するなど、興味・関心を高めるように工夫している。
	ウ	◇3年間通して同じキャラクターが登場し、学習内容の理解や技能の習得を支援している。 ◇単元と関連する書物を紹介している。

別表 3

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇写真や挿絵は、学習内容の理解やイメージを広げやすいように配慮している。 ◇古典では、口語訳の文字を紫色にして、分かりやすいように工夫している。
	イ	◇図表は、色に頼ることなくマークや文字情報でも区別できるように工夫している。
	ウ	◇デジタルコンテンツには、動画や関連資料などの学習資料だけでなく、学びを広げるための文法学習や語彙学習に役立つ教材も多数収録されている。 ◇「デジタルコンテンツ一覧」「主なデジタルコンテンツ」を、巻末に載せている。

別表 4

項目		「2 東書」
(1) (2) (3)	ア	◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。
	イ	◇本文の背景色は白を基調とし、文字色、コントラストともに鮮明である。
	ウ	◇筆遣いや字形を書き文字に近づけた、特別な明朝体を使用している。
	エ	◇本文には行末に数字と点を付して、行を数えやすくしている。
(3)	オ	◇本文用紙は軽量化が図られ、かつ、令和3年度教科書に比べてページ数を削減している。 ◇製本は堅ろうであり、再生紙および植物油インキを使用している。

別表 1

項目		「15 三省堂」
(1) ア	A	
	B	
	C	
	D	◇写真や挿絵を中心に、部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇「領域別教材一覧」「学びの道しるべ」「思考の方法」で、教材の学習の手順や流れ、身に付けたい力を分かりやすく提示している。 ◇教材の内容によって、見開きや上段・下段での情報の区別など、レイアウトを統一して、分かりやすく提示している。

別表 2

項目		「15 三省堂」
(1) (2)	ア	◇巻末資料「社会生活に生かす」の「メモを活用する」「質問の仕方」などの教材を通して、日常生活・社会生活の基盤となる能力の伸長を図っている。
	イ	◇古典教材にはカラー資料を豊富に使用するなど、興味・関心を高めるように工夫している。
	ウ	◇複数のキャラクターが登場し、学習内容の理解や技能の習得を支援している。 ◇単元と関連する書物を紹介している。

別表 3

項目		「15 三省堂」
(1) (2)	ア	◇写真や挿絵は、学習内容の理解やイメージを広げやすいように配慮している。 ◇「読み方を学ぼう」「思考の方法」など、視覚的に捉えやすいように図解を用いている。 ◇古典では、口語訳の文字を青色にして、分かりやすいように工夫している。
	イ	◇図表は、色に頼ることなく線の種類や濃淡、地紋でも識別できるように工夫している。
	ウ	◇二次元コードには、音声や動画などの学習資料だけでなく、学びを広げるための補充教材やデジタルドリルなど、自学自習に活用できる教材も多数収録されている。 ◇「二次元コード参照先コンテンツ一覧」を、巻末資料に載せている。

別表 4

項目		「15 三省堂」
(1) (2) (3)	ア	◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。
	イ	◇本文の背景色は白を基調とし、文字色、コントラストともに鮮明である。
	ウ	◇読みやすさ、学びやすさを追求して独自に開発した複数の書体を使用している。
	エ	◇本文には行末に数字を付して、行を数えやすくしている。
(3)	オ	◇薄くて軽く丈夫な用紙を開発し、目が疲れにくい白色度のものを使用している。 ◇製本は堅ろうであり、環境にやさしい用紙と植物油インキを使用している。

別表 1

項目		「１７ 教出」
(1) ア	A	
	B	
	C	
	D	◇写真や挿絵を中心に、部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇「言葉の地図」「学びナビ」「みちしるべ」で、教材の学習の手順や流れ、身に付けたい力を分かりやすく提示している。

別表 2

項目		「１７ 教出」
(1) (2)	ア	◇「言葉の小窓」「文法の小窓」などの教材を通して、言語理解や言語の活用に対する興味・関心を高めるように工夫している。
	イ	◇古典では、なじみ深い昔話を取り上げた教材を、導入に使用している。
	ウ	◇3年間通して同じキャラクターが登場し、学習内容の理解や技能の習得を支援している。 ◇学習内容に関連する書物を詳しく紹介している。

別表 3

項目		「１７ 教出」
(1) (2)	ア	◇写真や挿絵は、学習内容の理解やイメージを広げやすいように配慮している。 ◇古典では、口語訳の背景を薄い黄色にして、分かりやすいように工夫している。
	イ	◇図表は、色に頼ることなくマークや文字情報でも区別できるように工夫している。
	ウ	◇二次元コードには、音声や動画などの学習資料だけでなく、言語活動の参考資料や図書紹介など自学自習に活用できる教材も収録されている。

別表 4

項目		「１７ 教出」
(1) (2) (3)	ア イ	◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ◇本文の背景色は白を基調とし、文字色、コントラストともに鮮明である。
	ウ エ	◇見やすさ、読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用している。 ◇本文には行末に数字と点を付して、行を数えやすくしている。
	オ	◇環境に配慮した再生紙、植物油インキを使用している。

別表 1

項目		「３８ 光村」
(1) ア	A	
	B	
	C	
	D	◇写真や挿絵を中心に、部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇「学習の見通しをもとう」「学びへの扉」「学びのカギ」で、教材の学習の手順や流れ、身に付けたい力を分かりやすく提示している。 ◇学習の用途に応じて、レイアウトを統一している。

別表 2

項目		「３８ 光村」
(1) (2)	ア	◇「聞き上手になろう」「話し合おう」などの教材を通して、対話や合意形成など日常生活・社会生活の基盤となる能力の伸長を図っている。
	イ	◇古典では、3年間の古典学習を見通した教材を導入に使用している。
	ウ	◇複数のキャラクターが登場し、学習内容の理解や技能の習得を支援している。 ◇学習内容に関連する書物を詳しく紹介している。

別表 3

項目		「３８ 光村」
(1) (2)	ア	◇写真や挿絵は、学習内容の理解やイメージを広げやすいように配慮している。 ◇古典では、口語訳の文字を青色にして、分かりやすいように工夫している。
	イ	◇図表は、色に頼ることなく線の種類や濃淡、地紋でも識別できるように工夫している。
	ウ	◇二次元コードには、音声や動画などの学習資料だけでなく、個々の目的や興味・関心に応じて選択し自学自習に活用できる教材も多数収録されている。 ◇「ICT 活用のヒント」「二次元コード一覧」を、巻末に載せている。

別表 4

項目		「３８ 光村」
(1) (2) (3)	ア イ	◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ◇本文の背景色は白を基調とし、文字色、コントラストともに鮮明である。
	ウ エ	◇本文には、手書きの文字に近づけた特別な明朝体を使用している。 ◇送り仮名などの小さな文字には、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用している。 ◇本文には行末に数字と点を付して、行を数えやすくしている。
	オ	◇堅ろうで薄い紙を開発し、使用している。 ◇環境に配慮した紙、植物油インキを使用している。

項目		発行者名			
		2 東書	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
使用上の留意点	別表 1	発達のためやすに照らして〔C〕〔D〕では姿勢、筆記用具の持ち方、基本の点画、かなの書き方、楷書による漢字、生活との関連項目が、部分的に使用可能である。 教科書冒頭で学習の進め方について解説することで、学習の見通しを持ちやすくしている。 運筆を、擬音語で補助的に解説している。	発達のためやすに照らして〔C〕〔D〕では姿勢、筆記用具の持ち方、基本の点画、かなの書き方、楷書による漢字、生活との関連項目が、部分的に使用可能である。 教科書冒頭で学習の進め方について解説することで、学習の見通しを持ちやすくしている。	発達のためやすに照らして〔C〕〔D〕では姿勢、筆記用具の持ち方、基本の点画、かなの書き方、楷書による漢字、生活との関連項目が、部分的に使用可能である。 教科書冒頭で学習の進め方や書写を通して学んでいくことについて解説することで、学習の見通しを持ちやすくしている。	発達のためやすに照らして〔C〕〔D〕では姿勢、筆記用具の持ち方、基本の点画、かなの書き方、楷書による漢字、生活との関連項目が、部分的に使用可能である。 運筆を、擬音語で補助的に解説している。
	別表 2	1 年時にお礼状、年賀状、職場訪問の手紙やポスター、2 年時に本のポップ、防災訓練の話し合いメモやパンフレット、3 年時に卒業に向けた作品など、学校生活で活用できる教材を取り扱っている。 「生活に広げよう」では、学校生活や日常生活に関連する事項を取り扱っている。 各学年に書き初めの手本を示している。 キャラクターが学習のポイントやヒントを説明してナビゲートしている。	1 年時にグループ新聞作成、2 年時に情報誌作成、3 年時に名言集作成など、学校生活で活用できる教材を取り扱っている。 「日常の書式」「書いて身につけよう」では、学校生活や日常生活に関連する事項を取り扱っている。 各学年に書き初めの手本を示している。 キャラクターが学習のポイントやヒントを説明してナビゲートしている。	1 年時に観察レポート、本の帯やポップ、ポスター、2 年時に新聞、掲示物、案内状など、学校生活で活用できる教材を取り扱っている。 「コラム」「書式の教室」では、学校生活や日常生活に関連する事項を取り扱っている。 各学年に書き初めの手本を示している。 キャラクターが学習のポイントやヒントを説明してナビゲートしている。	1 年時に情報収集の方法、2 年時に行書の活用、職業ガイドの作成、3 年時にポスターや案内板といった催しの準備物の作成など、学校生活で活用できる教材を取り扱っている。 「コラム」「書写ブック」「日常に役立つ書式」では、学校生活や日常生活に関連する事項を取り扱っている。 巻末に「書き初めマスターブック」と各学年の書き初めの手本を掲載している。 キャラクターが「学びのカギ」につながるヒントを伝えるように工夫している。
	別表 3・4	文字文化に関する教材ではカラー資料が豊富に掲載されている。 姿勢、筆記用具の持ち方、用具の使い方の教材では、生徒が実演している写真を掲載している。 デジタルコンテンツには、運筆動画、教科書掲載以外の問題、教科書掲載以外の書式などが収録されている。 すべての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしている。 ユニバーサルデザインフォントを採用している。 再生紙・植物油インキを使用している。	文字文化に関する教材ではカラー資料が豊富に掲載されている。 姿勢、筆記用具の持ち方、用具の使い方の教材では、生徒が実演している写真を掲載している。 デジタルコンテンツには、解説動画や補充教材、参考資料などが収録されている。 巻末に「二次元コード一覧票」を載せ、活用しやすく工夫している。 カラーユニバーサルデザインに配慮して編集している。 独自に開発した複数の書体を使用している。 環境にやさしい用紙と植物油インキを使用している。	文字文化に関する教材ではカラー資料が豊富に掲載されている。 姿勢、筆記用具の持ち方、用具の使い方の教材では、生徒が実演している写真を掲載している。 デジタルコンテンツには、運筆動画や資料、ワークシートなどが収録されている。 教科書冒頭に「まなびリンクを活用しよう」を載せ、デジタルコンテンツの活用方法を紹介している。 カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ユニバーサルデザインフォントを使用し、画数や筆順が正確に理解できるよう配慮した書体を本文に使用している。 環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用している。	文字文化に関する教材ではカラー資料が豊富に掲載されている。 姿勢、筆記用具の持ち方、用具の使い方の教材では、生徒が実演している写真を掲載している。 デジタルコンテンツには、運筆動画や文字文化の資料、補充教材などが収録されている。 カラーユニバーサルデザイン、特別支援教育、学習のユニバーサルデザインなどについて専門家による校閲を行っている。 ユニバーサルデザインフォントを使用し、書き文字との差異が少ない書体を開発し、本文に使用している。 環境に配慮した紙と植物油インキを使用している。
	備考	中綴じの針金は、けがなどを防ぐため、安全面に配慮している。			

別表 1

項目		「2 東書」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇姿勢、筆記用具の持ち方、基本の点画、かなの書き方を部分的に使用することが可能である。
	D	◇姿勢、筆記用具の持ち方、基本の点画、字形と配列、かなの書き方、「生活に広げよう」の教材を部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇学習の見通しを持ちやすいよう、教科書冒頭で、学習の進め方について解説している。
		◇基本単元を3つのステップで構成し、学習過程を統一している。
		◇教材名と目標を最初に記載するなど、紙面内の学習要素の位置を固定化している。
		◇基本の点画の書き方では、運筆を擬音語で補助的に解説している。

別表 2

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇1年時にお礼状、年賀状、職場訪問の手紙やポスター、2年時に本のポップ、防災訓練の話し合いメモやパンフレット、3年時に卒業に向けた作品など、学校生活で活用できる教材を取り扱っている。
		◇「生活に広げよう」では、学校生活や日常生活に関連する事項を掲載している。
	イ	◇各学年に書き初めの手本を示している。
		◇「文字といっしょに」で文字文化への興味・関心を高めるように工夫している。
	ウ	◇キャラクターが学習のポイントやヒントを説明してナビゲートしている。

別表 3

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇文字文化に関する教材ではカラー資料を豊富に使用している。
	イ	◇姿勢、筆記用具の持ち方、用具の使い方は、写真で説明している。 ◇常用漢字表には、楷書体と行書体の2種類を提示している。
	ウ	◇デジタルコンテンツには、運筆動画や関連資料などの学習資料、教科書掲載以外の問題、教科書掲載以外の書式などが収録されている。

別表 4

項目		「2 東書」
(1) (2) (3)	ア	◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。
	イ	◇手本字の提示は、白背景に黒である。運筆の提示は、白背景に朱墨である。
	ウ	◇文節で改行することで、読みやすさへの配慮をしている。
	エ	◇特別な明朝体とユニバーサルデザインフォントを使用している。
	オ	◇B5 変形版の紙面は、1 ページの縦横比が半紙と同比率（128%拡大で同サイズ）である。 ◇用紙は、鉛筆で書きやすく、十分な強度を持ちながら軽量なものを使用している。

別表 1

項目		「1 5 三省堂」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇姿勢、筆記用具の持ち方、基本の点画、かなの書き方を部分的に使用することが可能である。
	D	◇姿勢、筆記用具の持ち方、基本の点画、字形と配列、かなの書き方、「日常の書式」「書いて身につけよう」の教材を部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇学習の見通しを持ちやすいよう、教科書冒頭で、学習の進め方について解説している。
		◇各教材を見開きで構成し、教材名と目標を最初に記載している。

別表 2

項目		「1 5 三省堂」
(1) (2)	ア	◇1年時にグループ新聞作成、2年時に情報誌作成、3年時に名言集作成など、学校生活で活用できる教材を取り扱っている。 ◇「日常の書式」「書いて身につけよう」では、学校生活や日常生活に関連する事項を取り扱っている。「日常の書式」では、学校生活や日常生活に関連する事項を掲載している。
		◇各学年に書き初めの手本を示している。
	イ	◇「文字の変遷」「身のまわりの文字」で文字文化への興味・関心を高めるように工夫している。
		◇キャラクターが学習のポイントやヒントを説明してナビゲートしている。

別表 3

項目		「1 5 三省堂」
(1) (2)	ア	◇文字文化に関する教材ではカラー資料を豊富に使用している。
	イ	◇姿勢、筆記用具の持ち方、用具の使い方は、写真で説明している。 ◇常用漢字表には、楷書体と行書体の2種類を提示している。
	ウ	◇二次元コードには、解説動画や補充教材、参考資料などが収録されている。 ◇「二次元コード一覧票」を、巻末に載せている。

別表 4

項目		「1 5 三省堂」
(1) (2) (3)	アイ	◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ◇色による区別に加えて、記号や説明文などの補助的な手がかりを設けている。 ◇手本字の提示は、白背景に黒である。運筆の提示は、白背景に朱墨である。
		◇文節で改行することで、読みやすさへの配慮をしている。
	エ	◇読みやすさ、学びやすさを追求して独自に開発した複数の書体を使用している。
		◇紙面は B5 版である。 ◇用紙は、硬筆で書く・消すといった使用に対応できる紙質の物を採用している。

別表 1

項目		「17 教出」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇姿勢、筆記用具の持ち方、基本の点画、かなの書き方を部分的に使用することが可能である。
	D	◇姿勢、筆記用具の持ち方、基本の点画、字形と配列、かなの書き方、「コラム」「書式の教室」の教材を部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇学習の見通しを持ちやすいよう、教科書冒頭で、学習の進め方や書写を通して学んでいくことについて解説している。 ◇見開きを基本としたレイアウトで、教材名と目標を最初に記載している。

別表 2

項目		「17 教出」
(1) (2)	ア	◇1年時に観察レポート、本の帯やポップ、ポスター、2年時に新聞、掲示物、案内状など、学校生活で活用できる教材を取り扱っている。 ◇「コラム」「書式の教室」では、学校生活や日常生活に関連する事項を掲載している。
	イ	◇各学年に書き初めの手本を示している。 ◇「コラム」で文字文化への興味・関心を高めるように工夫している。
	ウ	◇キャラクターが学習のポイントやヒントを説明してナビゲートしている。

別表 3

項目		「17 教出」
(1) (2)	ア	◇文字文化に関する教材ではカラー資料を豊富に使用している。
	イ	◇姿勢、筆記用具の持ち方、用具の使い方は、写真で説明している。 ◇常用漢字表には、楷書体と行書体の2種類を提示している。
	ウ	◇デジタルコンテンツには、運筆動画や資料、ワークシートなどが収録されている。 ◇「まなびリンクを活用しよう」で、デジタルコンテンツの活用方法を紹介している。

別表 4

項目		「17 教出」
(1) (2) (3)	アイ	◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ◇色による区別に加えて、記号や説明文などの補助的な手がかりを設けている。 ◇手本字の提示は、白背景に黒である。運筆の提示は、白背景に朱墨である。
	ウ	◇文節で改行することで、読みやすさへの配慮をしている。
	エ	◇読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用している。
	オ	◇紙面はAB版で、半紙形を維持した紙面である。 ◇用紙は、強度を維持しつつ、できるだけ軽量の紙を使用している。

別表 1

項目		「38 光村」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇姿勢、筆記用具の持ち方、基本の点画、かなの書き方を部分的に使用することが可能である。
	D	◇姿勢、筆記用具の持ち方、基本の点画、字形と配列、かなの書き方、「コラム」「書写ブック」「日常に役立つ書式」の教材を部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇見開きを基本としたレイアウトで、教材名と目標を最初に記載している。 ◇基本単元を3つのステップで構成し、学習過程を統一している。 ◇基本の点画の書き方では、運筆を擬音語で補助的に解説している。

別表 2

項目		「38 光村」
(1) (2)	ア	◇1年時に情報収集の方法、2年時に行書の活用、職業ガイドの作成、3年時にポスターや案内板といった催しの準備物の作成など、学校生活で活用できる教材を取り扱っている。 ◇「コラム」「書写ブック」「日常に役立つ書式」では、学校生活や日常生活に関連する事項を掲載している。
	イ	◇巻末に「書き初めマスターブック」と各学年の書き初めの手本を載せている。 ◇「コラム」で文字文化への興味・関心を高めるように工夫している。
	ウ	◇キャラクターが「学びのカギ」につながるヒントを伝えている。

別表 3

項目		「38 光村」
(1) (2)	ア	◇文字文化に関する教材ではカラー資料を豊富に使用している。
	イ	◇姿勢、筆記用具の持ち方、用具の使い方は、写真で説明している。 ◇常用漢字表には、楷書体と行書体の2種類を提示している。
	ウ	◇デジタルコンテンツには、運筆動画や文字文化の資料、補充教材などが収録されている。

別表 4

項目		「38 光村」
(1) (2) (3)	アイ	◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ◇色による区別に加えて、記号や説明文などの補助的な手がかりを設けている。 ◇手本字の提示は、白背景に黒である。運筆の提示は、白背景に朱墨である。
	ウ	◇文節で改行することで、読みやすさへの配慮をしている。
	エ	◇目次や単元名には、ユニバーサルデザインフォントを使用している。
	オ	◇紙面はB版を5mmワイドにして、1ページ大の教材文字は、半紙と同比率（128%拡大で同サイズ）にしている。見開きの教材は、半紙原寸大である。 ◇強度が高く、鉛筆で書きやすい紙を開発し、採用している。

項目		発 行 者 名			
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文
使用上の留意点	別表 1	発達のためやすに照らして、〔C〕〔D〕では、写真や挿絵、地図のページを部分的に活用できる。 1 時間の学習の流れ「導入資料」「学習課題」「本文」「チェック＆トライ」を「見える化」したことで、学習に取り組みやすくなっている。 各章に「課題をつかむ」「課題を探究する」「課題を解決する」という流れで提示されている。 文章中の難しい用語を解説する「もっと解説」を配置し、単元のまとめには、用語の確認をする「ワードチェック」が設けてある。	発達のためやすに照らして、〔C〕〔D〕では、写真や挿絵、地図のページを部分的に使用することが可能である。 見開き 2 ページで一つの学習内容を提示している。 ページの上部に写真や地図などの資料、下部に文章を配置している。 各章の終末に、「学習のまとめと表現」として振り返りと表現・交流活動を設定している。	発達のためやすに照らして、〔C〕〔D〕では、写真や挿絵、地図のページを部分的に活用できる。 1 見開き 1 時間での授業内容に適切な分量で計画を立てやすくしている。 「アクティブ地理」コーナーを設け、学習内容を深める課題を示している。 各章に「導入資料」「学習課題」「本文」「確認しよう」「説明しよう」など主体的・対話的で深い学び」につながる単元構成がされている。	発達のためやすに照らして、〔C〕〔D〕では、写真や挿絵、地図のページを部分的に使用することが可能である。 見開き 2 ページで 1 単位を構成し、本文の記述と資料が図版番号で対応している。 ページの上部に写真や地図などの資料、下部に文章を配置している。 課題、学習のポイント、トピックなど項目ごとに枠囲みを使用している。
	別表 2	巻頭で、「世界の食事」「持続可能な社会の実現」について写真で紹介している。 「もっと知りたい」コーナーでは、更に深めたり、広げたり、違う視点で捉えたりするコラムがあったり、「未来にアクセス」では、持続可能な社会の実現を考えるヒントになるコラムのコーナーが設けてある。	巻頭・巻末に、世界各地の世界遺産や農産物を写真で紹介している。 日本の地域的特色と防災・安全、環境問題、人口問題などを関連して紹介している。 「地理の窓」で、学習内容に対する視点を広げたり深めたりするコラムを配置している。 「確認!」、「表現!」の問いかけにより、学習内容の理解を深めるように工夫している。	巻頭では、「SDGs」について写真を掲載している。 「写真で眺める」では、地域の姿を実感できる大きく鮮やかな写真を掲載することで興味・関心を高めている。 巻末では、世界の家畜・鉱産物や農産物の写真が掲載されている。 小学校での学習や他分野・他教科との関連アイコンが掲載されている。	巻末に、世界各地の畜産物・鉱産資源や農産物を写真で紹介している。 日本の地域的特色と防災・安全、環境問題などを関連して紹介している。 地域に住む人々の声をコラムとして掲載している。 学習内容を深めるコラム「地理＋α」を掲載している。 登場人物がナビゲーターとして、学習課題やヒントを提示している。 「議論してみよう」のコーナーで、グループで取り組む対話的活動を提示している。 「確認」「表現」で、学習内容の定着を図っている。
	別表 3・4	二次元コードは、「導入クリップ」「D－Z00N」や「動画」「思考ツール」など個別最適な学びを支えている。 巻末では、デジタルコンテンツの活用の仕方を解説している。 すべての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしている。 難しい漢字にはふりがな、レイアウトの飾り線やイラストの景色には優しい色を使用している。 見やすく読み間違えにくいユニバーサルフォントを採用している。 軽量な用紙を使用している。 再生紙・植物インキを使用している。	本文と写真・グラフなどのレイアウトを統一して配置している。 巻末の用語説明には、チェック欄が付されている。 紙面に印刷された二次元コードから、生徒自身が学習に活用できる動画、クイズ式教材、外部リンクサイトなどデジタルコンテンツにアクセスできるように工夫している。 カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ユニバーサルデザインフォントを採用している。	図版に背景色や囲み線を付けるなどして図版と本文を区別しやすくするなど、インクルーシブ教育へ配慮した編集である。 二次元コードは、「見通しスライド」「図解アニメーション」や「用語解説」など、個別最適な支援をするリンク集がある。 色覚特性に配慮した識別しやすい色づかいとなるよう工夫されている。 文字は、読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用している。 軽くて耐久性に優れた再生紙を使用し、ライスイंकで印刷している。	すべてのページが色刷りで、各ページの半分程度の領域が写真・地図・グラフなどである。 紙面に印刷された二次元コードから、生徒自身が学習に活用できる動画、ワークシート、外部リンクサイトなどデジタルコンテンツにアクセスできるように工夫している。 ユニバーサルデザインフォントを使用し読みやすいように工夫している。 ふりがなは大きめのゴシック体で読みやすいように工夫している。 長期使用に耐えうる丈夫な製本である。
備考					

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 社会（地理的分野）

別表 1

項目		「2 東書」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇地図・写真・挿絵のページを中心に、部分的に使用することが可能である。
	D	◇地図・写真・挿絵・図表の資料ページを中心に部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇1時間の学習の流れ「導入資料」「学習課題」「本文」「チェック&トライ」を「見える化」したことで、学習に取り組みやすくなっている。

別表 2

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇巻末資料に世界の鉱山資源や主な農作物が写真でまとめられている。
	イ	◇巻頭で、「世界の食事」「持続可能な社会の実現」について写真で紹介している。
	ウ	◇学習を導くキャラクターを登場させ、分かりやすいように工夫している。

別表 3

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇世界地図には、地球儀、日本全土を象った位置図を掲載している。
	イ	◇写真の大きさやグラフの大きさなど工夫されている。
	ウ	◇二次元コードは、「導入クリップ」「D－ZOOM」や「動画」「思考ツール」など個別最適な学びを支えている。

別表 4

項目		「2 東書」
(1) (2) (3)	アイ	◇すべての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしている。 ◇難しい漢字にはふりがな、レイアウトの飾り線やイラストの景色には優しい色を使用している。
	ウエ	◇見やすく読み間違えにくいユニバーサルフォントを採用している。
	オ	◇再生紙・植物インキを使用している。 ◇軽量の紙を使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 社会（地理的分野）

別表 1

項目		「17 教出」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・挿絵・地図のページを部分的に使用することが可能である。
	D	◇写真・挿絵・地図・図表などのページを部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇ページの上部に写真や地図などの資料、下部に文章を配置している。 ◇課題、学習のポイント、トピックなど項目ごとに枠囲みを使用している。 ◇内容ごとに「学習のまとめと表現」として振り返りと表現・交流活動を設定している。

別表 2

項目		「17 教出」
(1) (2)	ア	◇巻の中間にオリンピックの開催地、日本の世界遺産の場所を紹介している。巻末に、世界の 家畜、鉱産物、農産物を写真で紹介している。 ◇日本の地域的特色と防災・安全、環境問題、人口問題などを関連して紹介している。 ◇「第2章 世界の諸地域」の中で、各州の地球的課題がSDGsに示された17の目標の何と関係しているか示されている。
	イ	◇登場人物がナビゲーターとして、学習課題やヒントを提示している。 ◇「地理の窓」で、学習内容に対する視点を広げたり深めたりするコラムを配置している。
	ウ	◇「確認!」、「表現!」の問いかけにより、学習内容の理解を深めるように工夫している。

別表 3

項目		「17 教出」
(1) (2)	ア	◇すべてのページが色刷りで、各ページの半分程度の領域が写真・地図・グラフなどである。 ◇本文と写真・グラフなどのレイアウトを統一して配置している。
	イ	◇巻末の用語説明には、チェック欄を付している。 ◇資料の読み取り方を解説した「地理の技」コーナーを設けている。
	ウ	◇紙面に印刷された二次元コードから、生徒自身が学習に活用できる動画、クイズ式教材、外部リンクサイトなどデジタルコンテンツにアクセスできるように工夫している。

別表 4

項目		「17 教出」
(1) (2) (3)	アイ	◇本文の背景は白、注記の背景は薄い色を付けて区別している。 ◇カラーユニバーサルデザインに配慮しているとの記載がある。
	ウエ	◇本文や注釈など、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ◇キャラクターの吹き出しには、読みやすい改行の工夫をしている。
	オ	◇再生紙と植物油インキを使用している。 ◇長期使用に耐えうる丈夫な製本である。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 社会（地理的分野）

別表 1

項目		「4 6 帝国」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇地図・写真・挿絵のページを中心に、部分的に使用することが可能である。
	D	◇地図・写真・挿絵・図表の資料ページを中心に部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇1 見開き 1 時間での授業内容に適切な分量で学習計画を立てやすくしている。 ◇巻頭では、「SDGs」について写真を掲載している。

別表 2

項目		「4 6 帝国」
(1) (2)	ア	◇巻末では、世界の家畜・鉱産物や農産物の写真が掲載されている。
	イ	◇「写真で眺める」では、地域の姿を実感できる大きく鮮やかな写真を掲載することで興味・関心を高めている。
	ウ	◇二次元コードは、「見通しスライド」「図解アニメーション」や「用語解説」など、個別最適な支援をするリンク集がある。

別表 3

項目		「4 6 帝国」
(1) (2)	ア	◇世界地図には、地球儀、日本全土を象った位置図を掲載している。
	イ	◇写真の大きさやグラフの大きさなど工夫されている。
	ウ	◇個別最適な学びを支援するデジタルコンテンツがある。

別表 4

項目		「4 6 帝国」
(1) (2) (3)	ア イ	◇色覚特性に配慮した識別しやすい色づかいとなるよう工夫されている。 ◇図版に背景色や囲み線を付けるなどして図版と本文を区別しやすくするなど、インクルーシブ教育へ配慮した編集を行っている。
	ウ エ	◇文字は、読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用している。
	オ	◇軽くて耐久性に優れた再生紙を使用し、ライスインクで印刷している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 社会（地理的分野）

別表 1

項目		「1 1 6 日文」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・挿絵・地図のページを部分的に使用することが可能である。
	D	◇写真・挿絵・地図・図表などのページを部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇見開き 2 ページで一つの学習内容を提示している。 ◇ページの上部に写真や地図などの資料、下部に文章を配置している。 ◇課題、学習のポイント、トピックなど項目ごとに枠組みを使用している。

別表 2

項目		「1 1 6 日文」
(1) (2)	ア	◇巻末に、世界各地の畜産物・鉱産資源や農産物を写真で紹介している。 ◇日本の地域的特色と防災・安全、環境問題などを関連して紹介している。
	イ	◇地域に住む人々の声をコラムとして掲載している。 ◇学習内容を深めるコラム「地理＋α」を掲載している。 ◇登場人物がナビゲーターとして、学習課題やヒントを提示している。
	ウ	◇「議論してみよう」のコーナーで、グループで取り組む対話的活動を提示している。 ◇「確認」「表現」で、学習内容の定着を図っている。

別表 3

項目		「1 1 6 日文」
(1) (2)	ア	◇すべてのページが色刷りで、各ページの半分程度の領域が写真・地図・グラフなどである。 ◇本文と写真・グラフなどのレイアウトを統一して配置している。
	イ	◇見開き 2 ページで 1 単位を構成し、本文の記述と資料が図版番号で対応している。 ◇巻末の資料を国別・地域別に色分けしている。
	ウ	◇紙面に印刷された二次元コードから、生徒自身が学習に活用できる動画、ワークシート、外部リンクサイトなどデジタルコンテンツにアクセスできるように工夫している。

別表 4

項目		「1 1 6 日文」
(1) (2) (3)	ア イ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用し読みやすいように工夫している。
	ウ エ	◇重要語句は太字ですべてふりがなを付している。 ◇ふりがなは大きめのゴシック体で読みやすいように工夫している。
	オ	◇再生紙と植物油インキを使用している。 ◇長期使用に耐えうる丈夫な製本である。

項目		発 行 者 名			
		2 東 書	1 7 教 出	4 6 帝 国	8 1 山 川
使用上の留意点	別表 1	発達のためやすに照らして [D] では、写真、挿絵、図表などを部分的に使用することが可能である。 第 1 章で学習方法の流れ、調べ学習のポイントなどを記載している。 見開きページごとに学習テーマを設定している。	発達のためやすに照らして [D] では、写真、挿絵、図表などを部分的に使用することが可能である。 第 1 章で小学校の振り返り、歴史の移り変わり、調べ学習のポイントなどを記載している。 見開きページごとに学習テーマを設定している。	発達のためやすに照らして [D] では、写真、挿絵、図表などを部分的に使用することが可能である。 第 1 章で小学校の振り返り、歴史の移り変わり、調べ学習のポイントなどを記載している。 見開きページごとに学習テーマを設定している。	発達のためやすに照らして [D] では、写真、挿絵、図表などを部分的に使用することが可能である。 巻頭の「この教科書の使い方」と第 1 章で学習の方法、調べ学習のポイントなどを掲載している。 見開きページごとに「ステップアップ」で学習のポイントを整理している。
	別表 2	各章にまとめの活動や探究課題を掲載している。 「地域の歴史を調べよう」や「もっと知りたい！」があり、地域の遺跡や特色について紹介している。 導入では、小学校で学習した内容の年表と資料をイラストや写真入りで記載し、探究課題を設定している。 教師、生徒のキャラクターが質問や疑問を述べるなど分かりやすいように工夫している。	学習コラムで、各時代の地域の人物や遺跡などのエピソードを紹介している。 特設ページで、地域の歴史を調査する活動のヒントや歴史の学習を深めるページを掲載している。 導入で学習する年表と代表的な写真を掲載し、学習のまとめと表現の課題をまとめとしている。 教師、生徒のキャラクターが質問や疑問を述べるなど分かりやすいように工夫している。	特設ページ・コラム「アクティブ歴史」や「未来に向けて」などを掲載している。 「歴史を探ろう」など身近な地域の歴史を学習するコーナーを設けている。 「世界とのつながりを考えよう」で日本の歴史を世界の歴史の中に位置付けて見ることができる。 「タイムトラベル」で、その時代の人々の生活の様子をイラストで記載し、説明の問題でまとめとしている。 生徒のキャラクターが質問や疑問を述べるなど分かりやすいように工夫している。	各ページに学びを深めるコラム・史料・用語解説を掲載している。 「歴史へのアプローチ」「地域からのアプローチ」では、各地域の時代ごとの歴史の展開や文化財保護の取組などを記載している。 各世紀の世界の様子を地図とイラストで紹介している。 各章、導入で学習する時代を年表や写真で記載、時代の流れや特徴をワークシートに記入することでまとめとしている。 学習の理解を支援する動画やホームページにアクセスできる二次元コードを掲載している。 巻頭では、ナビゲーターのキャラクターが登場し、学習の流れを具体的に紹介している。
	別表 3・4	図表・写真は見開き 2 分の 1 程度である。 巻頭に写真入りの解説資料、巻末に 3 つ折りの歴史年表、写真入り解説資料、日本の主な史跡、旧国名を掲載している。 索引は、用語解説と事項・人名索引（50 音順）がある。 学習の理解を助ける動画などのウェブページにリンクした二次元コードを掲載している。 ユニバーサルデザインフォントを採用している。 再生紙、植物油インキを使用している。 AB 判、7 章構成である。	図表・写真は見開き 2 分の 1 程度である。 巻頭に写真入りの解説資料、巻末に 2 つ折り、3 つ折りの歴史年表、写真入り解説資料、日本の主な遺跡・史跡・できごとを掲載している。 索引は、用語解説と事項・人名索引（50 音順）がある。 各章のはじめに学習で役立つウェブページにリンクした二次元コードを掲載している。 ユニバーサルデザインフォントを採用している。 再生紙、植物油インキを使用している。 AB 判、7 章構成である。	図表・写真は見開き 2 分の 1 程度である。 巻頭に写真入りの解説資料、巻末に 2 つ折り 2 つの歴史年表、旧国名、日本の主な史跡を掲載している。 索引は、用語解説と事項・人名索引（50 音順）がある。 学習の理解を助ける動画などのウェブページにリンクした二次元コードを掲載している。 ユニバーサルデザインフォントを採用している。 再生紙、ライスインキを使用している。 AB 判、7 章構成である。	図表・写真は見開き 2 分の 1 程度である。 巻頭に「日本の世界遺産」の写真入りの解説資料、巻末に「現代の世界」の世界地図を掲載している。 索引は人名・事項（50 音順）がある。 各テーマに二次元コードが記載しており、動画や拡大画像、博物館や資料館などを視覚的に掲載している。 色覚特性、ユニバーサルデザインに配慮している。 AB 判、7 章構成である。
	備考				

項目		発 行 者 名			
		1 1 6 日 文	2 2 5 自 由 社	2 2 7 育 鵬 社	2 2 9 学 び 舎
使 用 上 の 留 意 点	別表 1	発達のためやすに照らして [D] では、写真、挿絵、図表などを部分的に使用することが可能である。 巻頭の「教科書の構成と学び方」と第 1 編で、歴史の捉え方や流れ、学習の流れやポイントなどをイラストの人物画も含めて記載している。 見開きページごとに学習課題を設定している。	発達のためやすに照らして [D] では、写真、挿絵、図表などを部分的に使用することが可能である。 巻頭の序章「歴史の捉え方」で学習の流れや時代の捉え方などを写真やイラストを含めて記載している。 見開きページごとに学習テーマと学習課題「チャレンジ」を設定している。	発達のためやすに照らして [D] では、写真、挿絵、図表などを部分的に使用することが可能である。 巻頭でこの教科書の構成、使い方を記載している。 序章で歴史の捉え方を記載している。 各ページに学習を深める「見方・考え方」が掲載されている。 各ページに学習課題「TRY」が掲載されている。	発達のためやすに照らして [D] では、写真、挿絵、図表などを部分的に使用することが可能である。 巻頭の「この教科書の使い方」「歴史への案内」で学び方を記載している。 見開きページごとに学習のテーマを設定している。
	別表 2	「チャレンジ歴史」「スキル UP」などにより地域の遺跡や特色、人物を紹介し、具体的な調べるポイントを紹介している。 「先人に学ぶ」では、先人の課題解決について紹介している。 導入ページで前の時代と比較した特色をイラストや年表・図で記載し、まとめと振り返りページで年表や地図、表を使った課題でまとめとしている。 学習の理解を助ける動画や確認小テスト、ポートフォリオなどのコンテンツにリンクした「デジタルコンテンツ」を掲載している。 ナビゲーターのキャラクターが登場し、質問や疑問を述べるなど分かりやすいように工夫している。	「もっと知りたいコラム」では、学習した時代のある人物に焦点を当て紹介している。 章扉には前章からの時代の流れが年表で見開きに掲載されている。 章のまとめとして調べ学習、復習問題、時代の特徴を考える、対話などのページが設定されている。 ナビゲーターのキャラクターが登場し、分かりやすくコメントしている。	社会及び文化の発展や人々の生活向上に尽くした歴史上の人物や文化遺産などを学ぶコラムを掲載している。 章扉の「歴史絵巻」「虫の目で見ると」で時代の特徴を概観し、自分でまとめる課題を掲載している。 「歴史ズームイン」「歴史ビュー」では学習をより深めるための資料を掲載している。 「地域の歴史を調べてみよう」などでは、多様な言語活動による課題を掲載している。 ナビゲーターのキャラクターが登場し、質問や疑問を述べるなど、分かりやすくコメントしている。	「フォーカス」として、歴史の舞台に焦点を当てている。 章扉には地図を置き、テーマに沿った世界各地の様子を写真や資料で掲載している。 章の振り返りでは穴埋めや発表、実験などを行いながらまとめる課題を掲載している。 「歴史を体験する」ではインターネット、糸紡ぎ、対話討論などの方法を掲載している。 巻末に 13 ページの日本と世界の年表を掲載している。 巻頭にナビゲーターのキャラクターが登場している。
	別表 3・4	図表・写真は見開き 2 分の 1 程度である。 巻頭に写真入りの解説資料、巻末に 2 つ折りの歴史年表、文化財の種類、史跡・関係地について掲載している。 索引は、人名、事項（50 音順）に分かれている。 色覚特性、ユニバーサルデザインに配慮している。 各テーマに二次元コードが記載されており、動画や年表など視覚的に掲載している。 再生紙、植物油インキを使用している。 AB 判、6 編構成である。	図表・写真は見開き 2 分の 1 程度である。 巻頭に写真入りの「日本の世界遺産」、巻末に 3 つ折りの歴史年表、世界各国・王朝の興亡一覧などを掲載している。 索引は、重要用語解説、事項、人名（50 音順）に分かれている。 AB 判、6 章構成である。	図表・写真は見開き 2 分の 1 程度である。 巻頭に芸術作品の歴史の流れの写真、巻末に 3 つ折りの年表と主な遺跡・史跡を掲載している。 索引は、人名、事項（50 音順）を掲載している。 色覚特性、ユニバーサルデザインに配慮している。 再生紙、植物油インキを使用している。 章扉に二次元コードが記載されており、動画や拡大画像、博物館や資料館などを掲載している。 AB 判、6 章構成である。	図表・写真は見開き 2 分の 1 程度である。 巻頭に世界の歴史地図、巻末に 2 つ折りで日本の歴史地図を掲載している。 索引は、事項、人物、地方、産物、用語を 50 音順に掲載している。 色覚特性、ユニバーサルデザインに配慮している。 再生紙、植物油インキを使用している。 PUR 製本を採用している。 A4 判、6 部構成である。
	備考				

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 社会（歴史的分野）

別表 1

項目		「2 東書」
(1) ア	A	
	B	
	C	
	D	◇写真・挿絵・図表などの資料ページを中心に、部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇第1章で学習の流れ、調べ学習のポイントなどを記載している。 ◇見開きページごとに学習テーマを設定している。 ◇各章ごとに具体的な振り返りとまとめ例を解説している。 ◇各ページ右端部にどの時代かが分かる年表を表示している。

別表 2

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇各章に探究する問いを掲載している。 ◇章末には「地域の歴史を調べよう」があり、地域の遺跡や特色、調べ方を紹介している。
	イ	◇章の初めに年表・人物イラスト・遺跡などの資料を掲載している。 ◇導入では、小学校の社会で習ったことばを記載している。
	ウ	◇教師、生徒のキャラクターが資料に質問や疑問形式で登場している。

別表 3

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇図表・写真は見開き2分の1程度である。
	イ	◇巻頭に写真入りの解説資料がある。 ◇巻末に3つ折りの歴史年表、歴史の中の植物、旧国名地図、デジタルコンテンツを活用しようを掲載している。 ◇各テーマに通し番号を付記、本文に資料番号を付記している。 ◇用語解説と事項・人名索引（50音順）を作成している。
	ウ	◇学習の理解を助ける動画などのウェブページにリンクした二次元コードを掲載している。

別表 4

項目		「2 東書」
(1) (2) (3)	ア	◇すべての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしていると記載している。
	イ	◇見出しの色を各章で色分けしている。
	ウ	◇タイトルを大きくし、見やすいように配慮している。
	エ	◇ユニバーサルデザインフォントを採用している。
	オ	◇軽量の紙、再生紙、植物油インクを使用している。 ◇AB判である。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 社会（歴史的分野）

別表 1

項目		「17 教出」
(1) ア	A	
	B	
	C	
	D	◇写真・挿絵・図表などの資料ページを中心に、部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇第1章で小学校の振り返り、歴史の移り変わり、調べ学習のポイントなどを記載している。 ◇各ページに各章名・単元名を記載している。 ◇見開きページごとに学習テーマを設定している。 ◇章ごとにテーマが色分けされており、各章のはじめのページに年表を表示している。

別表 2

項目		「17 教出」
(1) (2)	ア	◇学習コラムで、各時代や地域の人物や遺跡などのエピソードを紹介している。 ◇特設ページで、身近な地域の歴史を調べるページを掲載している。
	イ	◇各章の導入では、学習する年表と代表的な写真を掲載している。
	ウ	◇教師、生徒のキャラクターが資料に質問や疑問形式で登場している。 ◇巻頭の「歴史ゲームで遊ぼう」で、遊びの要素を含めた振り返り学習ができるように工夫している。

別表 3

項目		「17 教出」
(1) (2)	ア	◇図表・写真は見開き2分の1程度である。
	イ	◇小学校で学習した人物には「巻物マーク」を表示している。 ◇巻頭に写真入りの解説資料を掲載している。 ◇巻末に2つ折りと3つ折りの年表、図表などの解説資料を掲載している。 ◇各テーマに通し番号を付記、本文に資料番号を付記している。 ◇人名索引と事項索引（50音順）に作成している。
	ウ	◇各章のはじめに学習に役立つウェブページにリンクされた二次元コードを掲載している。

別表 4

項目		「17 教出」
(1) (2) (3)	ア	◇カラーユニバーサルデザインを採用している。
	イ	◇見出しの色を各章で色分けしている。
	ウ	◇タイトルを大きくし、見やすいように配慮している。
	エ	◇ユニバーサルデザインフォントを採用している。
	オ	◇再生紙、植物油インキを使用している。 ◇表紙は抗菌加工している。 ◇AB判である。

別表 1

項目		「46 帝国」
(1) ア	A	
	B	
	C	
	D	◇写真・挿絵・図表などの資料ページを中心に、部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇第1章で小学校の学習を振り返り、歴史の学び方・調べ方を記載している。
		◇見開きページごとに学習テーマを設定している。
		◇第1章の「歴史をたどろう」で既習の歴史人物をイラストで記載している。
		◇章ごとにテーマが色分けされており、右ページ右端に年表を表示している。

別表 2

項目		「46 帝国」
(1) (2)	ア	◇特設ページ・コラム「アクティブ歴史」や「未来に向けて」などを掲載している。
		◇「歴史を探ろう」など身近な地域の歴史を学習するコーナーを設けている。
	イ	◇「世界とのつながりを考えよう」で日本の歴史を世界の歴史の中に位置付けて見ることができる。
		◇「タイムトラベル」で、その時代の人々の生活の様子をイラストで記載し、説明の問題でまとめとしている。
ウ		◇各小単元の最初にそのテーマを代表するものの写真や資料を掲載している。
		◇イラスト世界地図で日本の歴史を世界の歴史の中に位置付けたイラストを掲載している。
		◇生徒のキャラクターが資料に質問や疑問形式で登場している。

別表 3

項目		「46 帝国」
(1) (2)	ア	◇図表・写真は見開き2分の1程度である。
	イ	◇巻頭に写真や図入りの解説資料を掲載している。
		◇巻末は2つ折りの歴史年表と日本各地の歴史舞台について写真や図で解説を記載している。
	ウ	◇人物索引と事項索引（50音順）を作成している。
		◇各テーマに通し番号を付記、本文に資料番号を付記している。
		◇学習の理解を助ける動画などのウェブページにリンクした二次元コードを掲載している。

別表 4

項目		「46 帝国」
(1) (2) (3)	ア	◇色覚特性に配慮した色使いとなるよう工夫している。
	イ	◇見出しの色を各章で色分けしている。
	ウ	◇タイトルを大きくし、見やすいように配慮している。
	エ	◇ユニバーサルデザインフォントを採用している。
	オ	◇再生紙、ライスインキを使用している。
		◇AB判である。

別表 1

項目		「81 山川」
(1) ア	A	
	B	
	C	
	D	◇写真・挿絵・図表などの資料ページを中心に、部分的に使用が可能である。
(2) イ		◇巻頭の「この教科書の使い方」と第1章で学習の方法、調べ学習のポイントなどを掲載している。
		◇見開きページごとに「ステップアップ」で学習のポイントを整理している。
		◇章ごとにテーマを色分けして表記している。

別表 2

項目		「81 山川」
(1) (2)	ア	◇各ページに学びを深めるコラム・史料・用語解説を記載している。
		◇「歴史へのアプローチ」「地域からのアプローチ」では、各地域の時代ごとの歴史の展開や文化財保護の取組などを記載している。
	イ	◇章扉で学習する時代の帯年表と日本と世界の関係する写真を掲載している。
		◇各小単元の最初にテーマを代表するものの写真や資料を視覚的に掲載している。
ウ		◇学習の理解をより支援する動画やホームページにアクセスできる二次元コードを掲載している。
		◇各世紀の世界の様子を地図とイラストで紹介している。

別表 3

項目		「81 山川」
(1) (2)	ア	◇図表・写真は見開き2分の1程度である。
	イ	◇巻頭に「日本の世界遺産」の写真入りの解説資料を掲載している。
		◇巻末に「現代の世界」の世界地図を掲載している。
	ウ	◇索引は人名・事項（50音順）がある。
		◇各テーマに通し番号を付記、本文に資料番号を付記している。
		◇各テーマに二次元コードを記載している。
		◇二次元コードから動画や拡大画像、博物館や資料館などを視覚的に掲載している。

別表 4

項目		「81 山川」
(1) (2) (3)	ア	◇色覚の個人差を問わず、多くの人に見やすいよう、カラーユニバーサルデザインを採用している。
	イ	◇見出しの色を各章で色分けし、抑えた色で統一している。
	ウ	◇読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用している。
	エ	◇重要語句は字体を変え、ルビを付けている。
	オ	◇植物性インキと再生紙を使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 社会（歴史的分野）

別表 1

項目		「 1 1 6 日 文 」
(1) ア	A	
	B	
	C	
	D	◇写真・挿絵・図表などの資料ページを中心に、部分的に使用が可能である。
(2) イ		◇巻頭の「教科書の構成と学び方」で学習の流れについて記載している。 ◇第1編で、小学校の復習をイラスト、写真で紹介している。 ◇見開きページごとに学習テーマを設定している。 ◇編ごとに色分けされており、左ページ左下に各節の問い、右ページ右端に年表を表示している。

別表 2

項目		「 1 1 6 日 文 」
(1) (2)	ア	◇「チャレンジ歴史」「スキル UP」などで地域の遺跡や特色、人物を紹介し、調べるポイントを記載している。 ◇「先人に学ぶ」では、先人の課題解決について紹介している。
	イ	◇各編のはじめに前後の時代を比較した資料、年表や世界地図による時代の外観を掲載している。 ◇各小単元の最初にそのテーマを代表するものの写真や資料を視覚的に掲載している。
	ウ	◇学習の理解をより支援する動画や各ワークシートなどのコンテンツにリンクした、二次元コードコンテンツを掲載している。 ◇教師 2 人、生徒 4 人のナビゲーターキャラクターが資料に質問や疑問形式で登場している。

別表 3

項目		「 1 1 6 日 文 」
(1) (2)	ア	◇図表・写真は見開き 2 分の 1 程度である。 ◇2 つ折りの大判ページに資料を掲載している。
	イ	◇巻頭に写真入りの解説資料を掲載している。 ◇巻末に 2 つ折りの歴史年表、文化財の種類、史跡・関係地について掲載している。 ◇各テーマに通し番号を付記、本文に資料番号を付記している。
	ウ	◇各テーマに二次元コードを記載している。 ◇デジタルコンテンツから動画や年表など視覚的に掲載している。

別表 4

項目		「 1 1 6 日 文 」
(1) (2) (3)	ア	◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。
	イ	◇見出しの色を各章で色分けし、抑えた色で統一している。
	ウ	◇読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用している。
	エ	◇重要語句は字体を変え、ルビを付けている。
	オ	◇植物性インキと再生紙を使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 社会（歴史的分野）

別表 1

項目		「 2 2 5 自 由 社 」
(1) ア	A	
	B	
	C	
	D	◇写真・挿絵・図表などの資料ページを中心に、部分的に使用が可能である。
(2) イ		◇巻頭の序章「歴史のとらえ方」で学習の流れや時代の捉え方などを写真やイラストを含めて記載している。 ◇見開きページごとに学習テーマと学習課題「チャレンジ」を設定している。 ◇各ページの左下部に、どの時代かが分かる年表を表示している。

別表 2

項目		「 2 2 5 自 由 社 」
(1) (2)	ア	◇学びを広げる「もっと知りたいコラム」では、学習した時代のある人物に焦点をあて紹介している。 ◇各ページにより学びを深める用語解説や史料を掲載している。
	イ	◇章扉には前章からの時代の流れが年表で見開きに掲載されている。 ◇各小単元の最初にそのテーマを代表するものの写真や史料を視覚的に掲載している。
	ウ	◇章のまとめとして調べ学習、復習問題、時代の特徴を考える、対話などのページが設定されている。 ◇ナビゲーターのキャラクターが登場し、分かりやすくコメントしている。

別表 3

項目		「 2 2 5 自 由 社 」
(1) (2)	ア	◇図表・写真は見開き 2 分の 1 程度である。
	イ	◇巻頭に写真入りの「日本の世界遺産」を掲載している。 ◇巻末に 3 つ折りの歴史年表、世界各国・王朝の興亡一覧などを掲載している。 ◇各テーマに通し番号を付記、本文に資料番号を付記している。 ◇索引は重要用語解説、事項、人名（50 音順）に分かれている。
	ウ	

別表 4

項目		「 2 2 5 自 由 社 」
(1) (2) (3)	ア	◇特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、色覚特性に配慮した色使いとなるように工夫している。
	イ	
	ウ	◇AB 判
	エ	
	オ	

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 社会（歴史的分野）

別表 1

項目		「 2 2 7 育鵬社」
(1) ア	A	
	B	
	C	
	D	◇写真・挿絵・図表などの資料ページを中心に、部分的に使用が可能である。
(2) イ		◇巻頭でこの教科書の構成、使い方を記載している。 ◇序章で歴史の捉え方を記載している。 ◇各ページに学習を深める「見方・考え方」、学習課題「TRY」が掲載されている。

別表 2

項目		「 2 2 7 育鵬社」
(1) (2)	ア	◇社会及び文化の発展や人々の生活向上に尽くした歴史上の人物を学ぶコラムを掲載している。 ◇日本の文化遺産などを学ぶコラムを掲載している。
	イ	◇章扉の「歴史絵巻」「虫の目で見ると」で時代の特徴を概観し、自分でまとめる課題を掲載している。
	ウ	◇「歴史ズームイン」「歴史ビュー」では学習をより深めるための資料を掲載している。 ◇「地域の歴史を調べてみよう」などでは、多様な言語活動による課題を掲載している。 ◇ナビゲーターのキャラクターが登場し、質問や疑問を述べるなど、分かりやすく工夫している。

別表 3

項目		「 2 2 7 育鵬社」
(1) (2)	ア	◇図表・写真は見開き 2 分の 1 程度である。
	イ	◇巻頭に芸術作品の歴史の流れの写真を掲載している。 ◇巻末に 3 つ折りの年表と主な遺跡・史跡を掲載している。
	ウ	◇章扉に二次元コードを記載している。 ◇二次元コードから動画や拡大画像、博物館や資料館などを掲載している。

別表 4

項目		「 2 2 7 育鵬社」
(1) (2) (3)	ア	◇特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、色覚特性に配慮した色使いとなるように工夫している。
	イ	◇AB 判、6 章構成である。
	ウ	◇重要語句は字体を変え、ルビを付けている。
	エ	◇文字の大きさや行間など、テーマや見出しが分かりやすいように工夫されている。
	オ	◇再生紙、植物油インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 社会（歴史的分野）

別表 1

項目		「 2 2 9 学び舎」
(1) ア	A	
	B	
	C	
	D	◇写真・挿絵・図表などの資料ページを中心に、部分的に使用が可能である。
(2) イ		◇巻頭の「この教科書の使い方」「歴史への案内」で学び方を記載している。 ◇見開きページごとに学習のテーマを設定している。 ◇章ごとにテーマを色分けし、各章名・単元名を記載している。

別表 2

項目		「 2 2 9 学び舎」
(1) (2)	ア	◇各部の随所に「フォーカス」として、歴史の舞台に焦点を当てている。 ◇随所の「歴史を体験する」ではインターネット、糸紡ぎ、対話討論などの方法を掲載している。
	イ	◇章扉には地図を置き、テーマに沿った世界各地の様子を写真や資料で掲載している。 ◇各小単元の最初にそのテーマを代表するものの写真や資料を視覚的に掲載している。
	ウ	◇章の振り返りでは穴埋めや発表、実験などを行いながらまとめる課題を掲載している。 ◇巻頭にナビゲーターのキャラクターが登場している。 ◇巻末に 13 ページの日本と世界の年表を掲載している。

別表 3

項目		「 2 2 9 学び舎」
(1) (2)	ア	◇図表・写真は見開き 2 分の 1 程度である。
	イ	◇巻頭に主な関係地・史跡・出土地を表記した歴史地図を掲載している。 ◇巻末に 2 つ折りで日本の歴史地図を掲載している。 ◇索引は、事項、人物、地方、産物、用語を 50 音順に掲載している。
	ウ	

別表 4

項目		「 2 2 9 学び舎」
(1) (2) (3)	ア	◇より多くの人が見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している。
	イ	◇A4 判、6 部構成である。
	ウ	◇重要語句は字体を変え、ルビを付けている。
	エ	◇文字の大きさや行間など、テーマや見出しが分かりやすいように工夫されている。
	オ	◇再生紙、植物油インキを使用している。 ◇丈夫で開きのよいPUR製本を採用している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 社会（歴史的分野）

別表 1

項目		「236 令書」
(1) ア	A	
	B	
	C	
	D	◇写真・挿絵・図表などの資料ページを中心に、部分的に使用が可能である。
(2) イ		◇巻頭の「この教科書の課題」で、歴史の捉え方を記載している。 ◇序章の「国史を学ぶにあたって」では、小学校での学習の振り返りや学習の流れを記載している。

別表 2

項目		「236 令書」
(1) (2)	ア	◇「考えよう」として、各小単元末に学習課題を掲載している。
	イ	◇章扉ではその時代を表している略年表と学習課題が掲載されている。 ◇巻末に政権担当者・出来事表を時代別に掲載している。
	ウ	◇章の振り返りでは「まとめの学習」として、略年表作成が掲載されている。

別表 3

項目		「236 令書」
(1) (2)	ア	◇図表・写真は見開き4分の1程度である。 ◇巻末史料として、各章の時代の動きを表した各地方の地図、「日本美術図鑑」を掲載している。
	イ	◇巻頭に「この教科書の課題」「世界各国王朝略年表」「歴代天皇の皇位継承図」を掲載している。
	ウ	

別表 4

項目		「236 令書」
(1)	ア	◇重要語句や新しく学習する語句は字体を変えることで分かりやすく表記している。
	イ	◇巻末の「日本美術図鑑」は鮮明な色使いである。
(2)	ウ	◇見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。
(3)	エ	◇縦書きでテーマが分かりやすい配置になっている。
	オ	

項目		発 行 者 名			
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文
使用上の留意点	別表 1	発達のためやすに照らして、〔D〕では写真や図表資料を一部活用できる。 1 時間ごとの学習課題と探究課題をつなぐ踊り場の問い（探究のステップ）を設けることで段階を踏んで探究課題を解決できる構成になっている。 各章に「課題をつかむ」「課題を探究する」「課題を解決する」という流れで提示されている。	発達のためやすに照らして、〔D〕では写真や図表を部分的に使用することが可能である。 見開き 2 ページで 1 時間の授業展開になる構成にしている。 章のはじめに「学習のはじめに」のページを設け、漫画やイラストを多用して、学習のねらいや視点、章全体の学習内容について示している。 本時ページには、「確認」「表現」を設け、見通しと振り返りの学習場面が充実するように工夫している。 内容構成は、「導入ページ」「本時ページ」「特設ページ」「学習のまとめと表現ページ」としている。	発達のためやすに照らして、〔D〕では写真や図表資料を一部活用できる。 各章に、「導入資料」「学習課題」「本文」「確認しよう」「説明しよう」など「主体的・対話的で深い学び」につながる単元構成がされている。	発達のためやすに照らして、〔D〕では写真や図表を部分的に使用することが可能である。 原則 1 授業時間を見開き 2 ページとして構成している。 単元名の左側に「学習課題」と「見方・考え方」を示し、何をどのようなことに着目して学ぶのかを明確にしている。 各編は、導入ページ、本文ページ、編末の三つで構成している。 巻頭には SDGs、地理・歴史とのつながりを紹介している。
	別表 2	巻頭では、持続可能な社会の実現に向けて写真で紹介している。 文章中の難しい用語を解説する「もっと解説」を配置し、単元のまとめには、用語の確認をする「ワードチェック」が設けてある。 学習を導くキャラクターを登場させ、分かりやすいように工夫している。	「読み解こう」のコーナーを設け、実生活につながる課題を示している。 「特設ページ」で今日的な課題を取り扱い、学びを深められるように工夫している。 巻頭・巻末には現代社会の様子を示す写真を掲載している。 「公民の学習を始めるにあたって」のページを設け、SDGs、公民で学ぶ内容や学習の見通し、ノートの記録の仕方などを示している。 「公民の技」のコーナーを設け、公民の学習で身に付けたい技能・表現力を磨く課題を示している。	巻頭では、「SDGs」について写真を掲載している。 「環境・エネルギー」「防災」「人権・多文化」「平和・安全」「情報・技能」「伝統・文化」の 6 つのテーマに合わせた特設ページを設置している。 「アクティブ公民」コーナーを設け、学習内容を深める課題を示している。	「アクティビティ」のコーナーを設け、見方・考え方を働かせる問いを示している。 「明日に向かって」のコーナーを設け、社会に参画するための手がかりを示している。 「情報スキルアップ」のコーナーを設け、情報の読み取りや活用するときに必要な知識・技能や注意する点を示している。 「チャレンジ公民」のページを各編の最後に掲載している。 導入ページでは、マンガで身近な場面を取り上げて、学習内容に必然性を持たせている。
	別表 3・4	二次元コードは、「導入クリップ」「D-ZOON」や「動画」「思考ツール」など個別最適な学びを支えている。 巻末では、デジタルコンテンツの活用の仕方を解説している。 難しい漢字にはふりがな、レイアウトの飾り線やイラストの景色には優しい色を使用している。 すべての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしている。 見やすく読み間違いにくいユニバーサルフォントを採用している。 軽量な用紙を使用している。 再生紙・植物インキを使用している。	挿絵、図解などを豊富に示している。 写真や図版資料が豊富で視覚的支援の効果が高い。 紙面に印刷された二次元コードから、生徒自身が学習に活用できる動画、ワークシート、クイズ式教材、外部リンクサイトなどデジタルコンテンツにアクセスできるように工夫している。 カラーユニバーサルデザインとユニバーサルデザインフォントを採用している。	図版に背景色や囲み線を付け、図版と本文を区別しやすくするなど、インクルーシブ教育へ配慮した編集を行っている。 二次元コードは、「見通しスライド」「図解アニメーション」や「用語解説」など、個別最適な支援をするリンク集がある。 色覚特性に配慮した識別しやすい色づかいとなるよう工夫されている。 文字は、読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用している。また、重要語句を示すゴシック体の太さやルビの見やすさにも工夫を凝らしている。 紙は軽くて丈夫で写真や図版が鮮明にうつるものを使用している。 再生紙を用いた紙と国産米の米ぬかから作られるインクを使用し、環境へ配慮している。	挿絵やマンガが多彩で見やすいように工夫している。 1 時間ごとのワークシート、スライドショー、動画などのコンテンツに二次元コードからアクセスできるように工夫している。 カラーユニバーサルデザインとユニバーサルデザインフォントを採用している。 堅牢なあじろとじを採用している。
備考					

項目		発 行 者 名	
		2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社
使用上の留意点	別表 1	発達のためやすに照らして、〔D〕では写真や図表を部分的に使用することが可能である。 見開き 2 ページで 1 時間の授業展開で構成している。 単元名の下に学習課題を提示している。 ページの上段に大きく写真や図表を提示している。 章末には、「学習のまとめと発展」のページを掲載し、最重要語句を一覧にしている。 「ここがポイント！」には、学習内容のポイントを示している。	発達のためやすに照らして、〔D〕では写真や図表を部分的に使用することが可能である。 1 授業時間を見開き 2 ページにまとめている。 見開きのページを「つかむ」「調べる」「まとめる・表現する」で構成している。 見開きの冒頭に、関連する複数の写真や資料を掲載している。 各章の扉に、小学校で学習した関連内容を紹介している。 巻頭・巻末に持続可能な開発目標 (SDGs)、「なぜ公民を学ぶのか」を掲載している。
	別表 2	「アクティブに深めよう」では、答えのない問いに対して、様々な見方や考え方ができるように工夫している。 「もっと知りたい」では、今日的な課題について資料を提示しながら解説している。 各章の扉に学習内容に関連する問いかけを掲載している。 10 人の生徒キャラクターと 2 人の教師キャラクターが登場し、学習の視点を示している。	「学習を深めよう」「やってみよう」のコーナーを設け、現代社会の課題を取り上げたり、日常生活と結び付けた言語活動を設定したりしている。 章扉や見開きページの冒頭に、学習内容に関連した人物や出来事などの写真や資料を掲載している。 現代社会を捉える見方や考え方について、漫画で具体的事例を示している。 各章の扉の次に「現代社会の入り口」のように、問題意識を持って学習に取り組めるように「△△の入り口」のページを設けている。 各章末に「現代社会のこれから」のように、学習のまとめとして「△△のこれから」のページを設けている。
	別表 3・4	必要最低限に配置した挿絵を大きくし、見やすいように工夫し、写真や図表も大きく、イメージを膨らませやすい工夫がある。 背景色は白を基調とし、枠線や挿絵を抑える配慮をしている。 カラーユニバーサルデザインに配慮している。 本文は明朝体、単元名や見出しはゴシック体とし、装飾文字は使わない配慮をしている。 長期使用に耐えうる丈夫な製本である。	写真資料や図表を豊富に掲載し、見やすいように工夫している。 各章の扉にある二次元コードから各章ごとの動画コンテンツにアクセスできるように工夫している。 図版は色覚特性を踏まえて、判別しやすい色の使用や表示を工夫している。 ユニバーサルデザインフォントを使用し読みやすいように工夫している。 長期使用に耐えうる丈夫な製本である。
	備考		

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 社会（公民的分野）

別表 1

項目		「2 東書」
(1) ア	A	
	B	
	C	
	D	◇写真や図表資料を一部活用できる。
(2) イ		◇1時間ごとの学習課題と探究課題をつなぐ踊り場の間（探究のステップ）を設けることで段階を踏んで探究課題を解決できる構成になっている。 ◇各章に「課題をつかむ」「課題を探究する」「課題を解決する」という流れで提示されている。

別表 2

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇文章中の難しい用語を解説する「もっと解説」を配置し、単元のまとめには、用語の確認をする「ワードチェック」が設けてある。
	イ	◇各章のタイトルの下に小学校既習用語を掲載している。 ◇各章のはじめに、興味・関心を引くイラストや写真を大きく掲載している。
	ウ	◇各章の「深めよう」では、思考ツールなどを用いて考えを整理し、探究課題を掲載している。

別表 3

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇学習を導くキャラクターを登場させ、分かりやすいように工夫している。
	イ	◇写真やイラストの大きさは色々工夫されていて、視覚的支援の効果が高い。
	ウ	◇二次元コードは、「導入クリップ」「D-ZOON」や「動画」「思考ツール」など個別最適な学びを支えている。

別表 4

項目		「2 東書」
(1) (2) (3)	アイ	◇すべての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしている。
	ウ	◇レイアウトの飾り線やイラストの景色には優しい色を使用している。
	エ	◇見やすく読み間違えにくいユニバーサルフォントを採用している。
	オ	◇再生紙・植物インキを使用している。 ◇軽量な用紙を使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 社会（公民的分野）

別表 1

項目		「17 教出」
(1) ア	A	
	B	
	C	
	D	◇写真や図表を一部使用することができる。
(2) イ		◇章のはじめに「学習のはじめに」のページを設け、漫画やイラストを多用して、学習のねらいや視点、章全体の学習内容について示している。 ◇単元名の下に「学習課題」を示している。 ◇本時ページには、「確認」「表現」を設け、見通しと振り返りの学習場面が充実するように工夫している。

別表 2

項目		「17 教出」
(1) (2)	ア	◇「読み解こう」のコーナーを設け、実生活につながる課題を示している。 ◇「特設ページ」で今日的な課題を取り扱い、学びを深められるように工夫している。
	イ	◇巻頭・巻末には現代社会の様子を示す写真を掲載している。 ◇「公民の学習を始めるにあたって」のページを設け、SDGs、公民で学ぶ内容や学習の見通し、ノートの記録の仕方などを示している。
	ウ	◇キャラクターが導入資料の見方のヒントを示している。 ◇「公民の技」のコーナーを設け、公民の学習で身に付けたい技能・表現力を磨く課題を示している。

別表 3

項目		「17 教出」
(1) (2)	ア	◇挿絵、図解などを豊富に示している。
	イ	◇写真や図版資料が豊富でイメージを膨らませやすく、視覚的支援の効果が高い。
	ウ	◇紙面に印刷された二次元コードから、生徒が学習に活用できる動画、ワークシート、クイズ式教材、外部リンクサイトなどデジタルコンテンツにアクセスできるように工夫している。

別表 4

項目		「17 教出」
(1) (2) (3)	ア	◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。
	イ	◇写真や統計資料も読み取りやすいように色彩などビジュアル性に配慮している。
	ウ エ	◇本文や注釈など、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ◇キャラクターの吹き出しには、読みやすい改行の工夫をしている。
	オ	◇再生紙と植物油インキを使用している。 ◇長期使用に耐えうる丈夫な製本である。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 社会（公民的分野）

別表 1

項目		「4 6 帝国」
(1) ア	A	
	B	
	C	
	D	◇写真や図版を一部使用することができる。
(2) イ		◇各章に、「導入資料」「学習課題」「本文」「確認しよう」「説明しよう」など「主体的・対話的で深い学び」につながる単元構成がされている。 ◇巻頭では、「SDGs」について写真を掲載している。 ◇「環境・エネルギー」「防災」「人権・多文化」「平和・安全」「情報・技能」「伝統・文化」の6つのテーマに合わせた特設ページを設置している。

別表 2

項目		「4 6 帝国」
(1) (2)	ア	◇「SDGs」を取り上げ、「持続可能な社会の実現」に向けた意識を育む工夫がされている。
	イ	◇イラストから探す・読み解く学習活動を通して、興味・関心を高める工夫がされている。
	ウ	◇「アクティブ公民」コーナーを設け、学習内容を深める課題を示している。 ◇主体的・対話的な学びを促す「導入」として写真やイラストが効果的に掲載されている。

別表 3

項目		「4 6 帝国」
(1) (2)	ア	◇イラストや図解が多く、親しみやすいように工夫されている。
	イ	◇写真やグラフは大きく、イメージを膨らませやすいように工夫している。
	ウ	◇二次元コードは、「見通しスライド」「図解アニメーション」や「用語解説」など、個別最適な支援をするリンク集がある。

別表 4

項目		「4 6 帝国」
(1) (2)	ア イ	◇文字は、読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用している。 ◇インクルーシブ教育に配慮した表現でグラフなどが書かれている。
	ウ エ	◇重要語句を示すゴシック体の太さやルビの見やすさにも工夫を凝らしている。
	オ	◇紙は軽くて丈夫で写真や図版が鮮明にうつるものを使用している。 ◇再生紙を用いた紙と国産米の米ぬかから作られるインクを使用し、環境へ配慮している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 社会（公民的分野）

別表 1

項目		「1 1 6 日文」
(1) ア	A	
	B	
	C	
	D	◇写真や図表を一部使用することができる。
(2) イ		◇単元名の左側に「学習課題」と「見方・考え方」を示し、何をどのようなことに着目して学ぶのかを明確にしている。 ◇各編は、導入ページ、本文ページ、編末の3つで構成している。 ◇巻頭ではSDGs、地理・歴史とのつながりを紹介している。

別表 2

項目		「1 1 6 日文」
(1) (2)	ア	◇「アクティビティ」のコーナーを設け、見方・考え方を働かせる問いを示している。 ◇「明日に向かって」のコーナーを設け、社会に参画するための手がかりを示している。 ◇「情報スキルアップ」のコーナーを設け、情報の読み取りや活用するときに必要な知識・技能や注意する点を示している。
		◇「チャレンジ公民」のページを各編の最後に掲載している。
	イ	◇導入ページでは、マンガで身近な場面を取り上げて、学習内容に必然性を持たせている。
	ウ	◇4人の生徒キャラクターと2人の教師キャラクターが登場し、学習の視点を示している。

別表 3

項目		「1 1 6 日文」
(1) (2)	ア	◇挿絵やマンガが多彩で見やすいように工夫している。
	イ	◇写真などの図版には番号を付し、本文と図版を関連して読み取らせる工夫をしている。
	ウ	◇1時間ごとのワークシート、スライドショー、動画などのコンテンツに二次元コードからアクセスできるように工夫している。

別表 4

項目		「1 1 6 日文」
(1) (2) (3)	ア イ	◇カラーユニバーサルデザインに対応した配色にしている。
	ウ エ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用し読みやすいように工夫している。 ◇重要語句は太字ですべてふりがなを付している。 ◇ふりがなは大きめのゴシック体で読みやすいように工夫している。
	オ	◇良質で軽い再生紙を使用している。 ◇植物油インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 社会（公民的分野）

別表 1

項目		「225 自由社」
(1) ア	A	
	B	
	C	
	D	◇写真や図表を一部使用することができる。
(2) イ		◇見開き2ページで1時間の授業展開で構成している。 ◇単元名の下に学習課題を提示している。 ◇ページの上段に大きく写真や図表を提示している。 ◇章末には、「学習のまとめと発展」のページを掲載し、最重要語句を一覧にしている。 ◇「ここがポイント！」には、学習内容のポイントを示している。

別表 2

項目		「225 自由社」
(1) (2)	ア	◇「アクティブに深めよう」では、答えのない問いに対して、様々な見方や考え方ができるように工夫している。 ◇「もっと知りたい」では、今日的な課題について資料を提示しながら解説している。
	イ	◇各章の扉に学習内容に関連する問いかけを掲載している。
	ウ	◇10人の生徒キャラクターと2人の教師キャラクターが登場し、学習の視点を示している。

別表 3

項目		「225 自由社」
(1) (2)	ア	◇必要最低限に配置した挿絵を大きくし、見やすいように工夫している。
	イ	◇写真や図表が大きくイメージを膨らませやすいように工夫している。
	ウ	◇デジタルコンテンツの用意はない。

別表 4

項目		「225 自由社」
(1) (2)	ア イ	◇背景色は白を基調とし、枠線や挿絵を抑える配慮をしている。 ◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。
	ウ エ	◇本文は明朝体、単元名や見出しはゴシック体とし、装飾文字は使わない配慮をしている。
(3)	オ	◇長期使用に耐えうる丈夫な製本である。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 社会（公民的分野）

別表 1

項目		「227 育鵬社」
(1) ア	A	
	B	
	C	
	D	◇写真や図表を一部使用することができる。
(2) イ		◇見開きの冒頭に、関連する複数の写真や資料を掲載している。 ◇導入資料を読み取る視点をキャラクターの吹き出しで示している。 ◇単元名の横に学習のねらいを示している。 ◇各章の扉に、小学校で学習した関連内容を紹介している。 ◇巻頭・巻末に持続可能な開発目標（SDGs）、「なぜ公民を学ぶのか」を掲載している。

別表 2

項目		「227 育鵬社」
(1) (2)	ア	◇「学習を深めよう」「やってみよう」のコーナーを設け、現代社会の課題を取り上げたり、日常生活と結び付けた言語活動を設定したりしている。
	イ	◇章扉や見開きページの冒頭に、学習内容に関連した人物や出来事などの写真や資料を掲載している。
	ウ	◇学生のキャラクターが学習のポイントを紹介している。 ◇各章の扉の次に「現代社会の入り口」のように、問題意識を持って学習に取り組めるように「△△の入り口」のページを設けている。

別表 3

項目		「227 育鵬社」
(1) (2)	ア	◇必要最低限に配置した挿絵を大きくし、見やすいように工夫している。
	イ	◇写真資料や図表を豊富に掲載し、見やすいように工夫している。
	ウ	◇各章の扉にある二次元コードから各章ごとの動画コンテンツにアクセスできるように工夫している。

別表 4

項目		「227 育鵬社」
(1) (2) (3)	ア イ	◇図版は色覚特性を踏まえて、判別しやすい色の使用や表示を工夫している。
	ウ エ	◇ふりがなにはゴシック体を用いている。 ◇見出しや単元名はゴシック体を用いている。 ◇文中の重要語句は太字で示している。
	オ	◇質の高い再生紙と植物油インキを使用している。

教科・種目名 地図		
項目		発 行 者 名
		2 東書 4 6 帝国
使用上の留意点	別表 1	発達のためやすに照らして [C] [D] では、地図・写真・挿絵を部分的に使用することが可能である。 巻頭の折り込み資料「この地図の活用方法」で、読図の方法を説明している。
	別表 2	巻頭の特集資料で「SDGs」について、課題と目標を掲載している。その補足として、世界の地形・気候・環境問題・生活・文化についても資料を提示している。 世界と日本の比較をしている。自然環境、人口、資源エネルギー、農林水産業、工業、交通・通信網、生活、文化、経済・国際関係をテーマごとに整理している。 「一般図」ページに「主な国の国旗」「注目したい記号」を取り上げて掲載している。 巻末資料に世界と日本の統計があり、日本では都道府県の産品、名所、お国自慢、食文化などをまとめて掲載している。
	別表 3・4	世界地図には地球儀、日本地図には日本全土をかたどった位置図を掲載している。 資料図で構成されたページには、写真やイラストを随所に掲載している。 索引「世界の地名」…赤（国は◆、首都は※）、青（河川・湖など）、黒（その他）の3色で掲載している。 索引「日本の地名」…赤（都道府県は◆、県庁所在地は※）、青（山・川など自然地名）の2色で掲載し、○市○町○村も表記している。 「資料索引」として、関連する資料検索ができるように掲載している。 折り込みページが3箇所ある。 一般図の拡大図ページに土地利用の区別を色分けで解説している。 色覚特性、ユニバーサルデザインに配慮している。A4判である。 環境に配慮した用紙・植物油インキを使用している。
		世界地図には地球儀、日本地図には日本全土をかたどった位置図を掲載している。 資料図で構成されたページには、写真やイラストを随所に掲載している。 索引「世界の部」…赤（国）、青（首都）、黒（その他）の3色で掲載している。 世界の部「世界遺産、油田、炭田、歴史地名・事項、鉱山」には記号を付記して掲載している。 索引「日本の部」…赤（都道府県）、青（県庁所在地）、黒（その他）の3色で掲載している。 日本の部「世界文化遺産、世界自然遺産、歴史地名・事項、市町村」には記号を付記して記載している。 折り込みページが2箇所ある。 一般図、中心部図など、各ページの土地利用の区別色分けなどの解説をしている。 色覚特性、ユニバーサルデザインに配慮している。A4判である。 軽くて耐久性に優れた再生紙を使用し、植物油インキを使用している。
備考		

別表 1

項目		「2 東書」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇地図・写真・挿絵のページを中心に、部分的に使用することが可能である。
	D	◇地図・写真・挿絵・図表などの資料ページを中心に、部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇巻頭の折り込み資料「この地図の活用方法」で、読図の方法を説明している。

別表 2

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇「一般図」ページに「主な国の国旗」「注目したい記号」を取り上げて掲載している。 ◇日本全体の自然環境、人口、資源エネルギー、農林水産業、工業、交通・通信網、生活、文化をテーマごとに整理している。 ◇巻末資料に都道府県の産品、名所、お国自慢、食文化などをまとめて掲載している。
	イ	◇巻頭の折り込み資料「この地図の活用方法」で、読図の方法を説明している。
	ウ	◇ナビゲーターのキャラクターが登場し、質問や疑問を述べるなど、分かりやすくコメントしている。

別表 3

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇世界地図には地球儀、日本地図には日本全土を象った位置図を掲載している。 ◇資料図で構成されたページには、写真やイラストを随所に掲載している。
	イ	◇索引「世界の地名」…赤（国は◆、首都は※）、青（河川・湖など）、黒（その他）の3色で掲載している。 ◇「日本の地名」…赤（都道府県は◆、県庁所在地は※）、青（山・川など自然地名）の2色で掲載し、○市○町○村も表記している。 ◇「資料索引」として、関連する資料検索ができるように作成している。
	ウ	◇二次元コードが学習を深める資料やクイズが収録されたウェブページにリンクしている。

別表 4

項目		「2 東書」
(1) (2) (3)	アイ	◇すべての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしている。 ◇一般図の拡大図ページに土地利用の区別を色分けで解説している。 ◇国名・都道府県名の活字を白色の線で縁取って記載している。
	ウエ	◇見やすく読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用している。 ◇A4 判
	オ	◇軽量な用紙を使用している。 ◇再生紙、植物油インキを使用している。

別表 1

項目		「4 6 帝国」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇地図・写真・挿絵のページを中心に、部分的に使用することが可能である。
	D	◇地図・写真・挿絵・図表などの資料ページを中心に、部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇巻頭の折り込み資料「地図の使い方」で、地図帳の構成と、具体的な使い方や学習のポイントを解説している。 ◇「地図活用」で、生徒が主体的に学べる課題を提示している。 ◇「地図を見る目」として地図を見る観点や地図の使い方などを提示している。

別表 2

項目		「4 6 帝国」
(1) (2)	ア	◇「資料図」ページで、気候、環境、生活・文化、エネルギー資源、交通・通信、自然災害、防災、観光・スポーツなどをテーマにして整理している。
	イ	◇巻頭の折り込み資料「地図の使い方」で、地図帳の構成と、具体的な使い方や学習のポイントを解説している。
	ウ	◇二次元コードが学習を深める資料やクイズが収録されたウェブページにリンクしている。

別表 3

項目		「4 6 帝国」
(1) (2)	ア	◇世界地図には地球儀、日本地図には日本全土を象った位置図を掲載している。 ◇資料図で構成されたページには、写真やイラストを随所に掲載している。
	イ	◇索引「世界の地名」…赤（国は◆、首都は※）、青（河川・湖など）、黒（その他）の3色で掲載している。 ◇「日本の地名」…赤（都道府県は◆、県庁所在地は※）、青（山・川など自然地名）の2色で掲載し、○市○町○村も表記している。 ◇「資料索引」として、関連する資料検索ができるように作成している。
	ウ	◇ナビゲーターのキャラクターが登場し、質問や疑問を述べるなど、分かりやすくコメントしている。

別表 4

項目		「4 6 帝国」
(1) (2) (3)	アイ	◇色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫している。 ◇国名・都道府県名の活字を白色の線で縁取って記載している。 ◇一般図、中心部図など、各ページの土地利用の区別色分けなどについて解説している。 ◇茶色の濃淡による等高段彩表現と色分けによる土地利用表現を併用して記載している。
	ウエ	◇見やすく読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用している。 ◇A4 判
	オ	◇軽くて耐久性に優れた再生紙を使用している。 ◇植物油インキを使用している。

項目		発 行 者 名			
		2 東書	4 大日本	1 1 学図	1 7 教出
使用上の留意点	別表 1	発達のためやすに照らして [C] [D] では、写真や図絵、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物や資料、付録などを部分的に使用できる。 学習の手順として、導入の話題→例題→問題と段階的に学習を進めることができる。また、補充の問題があることで習熟の程度の違いに対応できる。 文章の改行を文節や意味のまとまりを基に行っている。	発達のためやすに照らして [C] [D] では、写真や図絵、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物や資料、付録などを部分的に使用できる。 学習の手順として、導入の話題→例題→問題と段階的に学習を進めることができる。また、補充の問題があることで習熟の程度の違いに対応できる。 文章の改行を文節や意味のまとまりを基に行っている。	発達のためやすに照らして [C] [D] では、写真や図絵、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物や資料、付録などを部分的に使用できる。 学習の手順として、導入の話題→例題→問題→振り返り→次の課題の提示と段階的に学習を進めることができる。また、「数と計算」の領域において、節末に計算力を高める問題を設けて基礎基本の習熟を図ることができる。 文章の改行を文節や意味のまとまりを基に行っている。	発達のためやすに照らして [C] [D] では、写真や図絵、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物や資料、付録などを部分的に使用できる。 学習の手順として、導入の話題→例題→問題（2 段階）と段階的に学習を進めることができる。また、補充の問題があることで習熟の程度の違いに対応できる。 文章の改行を文節や意味のまとまりを基に行っている。
	別表 2	章の導入では、問題解決の視点で日常生活と結び付いた題材を用いて学習内容を提示している。また、導入で提示された題材を本文でも扱い、展開につながりを持たせている。 生徒のキャラクターを用い、生徒の目線で気付きや考えを導き出す工夫を、また、ナビキャラクターは指導者の目線で発問や注意を示している。	章の導入では、問題解決の視点で日常生活と結び付いた題材を用いて学習内容を提示している。また、章末に日常生活と結び付いた題材を扱った「利用」の活動を設けている。 生徒のキャラクターを用い、生徒の目線で気付きや考えを導き出す工夫を、また、ナビキャラクターは指導者の目線で発問や注意を示している。	章の導入では、問題解決の視点で日常生活と結び付いた題材を用いて学習内容を提示している。また、学習の区切りで学んだことの振り返りと次の課題の提示があり、予習と復習に活用できる。 生徒のキャラクターを用い、生徒の目線で気付きや考えを導き出す工夫を、また、ナビキャラクターは指導者の目線で発問や注意を示している。	章の導入では、問題解決の視点で日常生活と結び付いた題材を用いて学習内容を提示している。また、新しい章の学習に入る前にレディネス問題を扱ったページを設け、既習内容の確認と定着を図っている。 生徒のキャラクターを用い、生徒の目線で気付きや考えを導き出す工夫を、また、ナビキャラクターは指導者の目線で発問や注意を示している。
	別表 3・4	挿絵や図表、写真などの資料を随所に使用している。また、すべての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしている。 学習目標、導入の問題、要点などは専用の枠を用いて、彩度を落とした背景色で色分けしている。 発行者のホームページに学習に役立つデジタルコンテンツが用意されていることを二次元コードで示している。 ユニバーサルデザインフォントを採用している。サイズは B5 判、表紙は堅ろうである。再生紙と植物油インクを使用している。	挿絵や図表、写真などの資料を随所に使用している。また、図表は配色のほか、濃度や線種などを変えることで判別しやすいように工夫している。 学習目標、導入の問題などは見出しにシンボルを用い、要点は背景色なしの専用枠内に黒字で表示している。 発行者のホームページに学習に役立つデジタルコンテンツが用意されていることを二次元コードで示している。 ユニバーサルデザインフォントを採用している。サイズは B5 判、表紙は堅ろうである。環境に配慮した紙と植物油インクを使用している。	挿絵や図表、写真などの資料を随所に使用している。また、図表は配色のほか、濃度や線種などを変えることで判別しやすいように工夫している。 学習目標、学習事項の振り返り、次の課題の提示は専用枠を設けて表示している。 発行者のホームページに学習に役立つデジタルコンテンツが用意されていることを二次元コードで示している。 和文と英数字の並びや見え方を検証しながら、ユニバーサルデザインフォントを採用している。サイズは B5 判、表紙は堅ろうである。環境に配慮した紙と植物油インクを使用している。	挿絵や図表、写真などの資料を随所に使用している。また、図表は配色のほか、濃度や線種などを変えることで判別しやすいように工夫している。 学習目標、導入の問題は背景色なし、要点は枠内に色を付け黒字で表示している。 発行者のホームページに学習に役立つデジタルコンテンツが用意されていることを二次元コードで示している。 ユニバーサルデザインフォントを採用している。サイズは B5 判、表紙は堅ろうである。再生紙と植物油インクを使用している。
	備考	特別支援教育・色彩デザインに関する編集協力がある。 ICT の活用に関する校閲がある。	特別支援教育、カラーユニバーサルデザイン、道徳教育に関する監修がある。	ユニバーサルデザインに関する監修がある。	特別支援教育に関する監修と、人権的配慮、SDGs と ESD に関する校閲がある。

項目		発 行 者 名		
		6 1 啓林館	1 0 4 数研	1 1 6 日文
使用上の留意点	別表 1	発達のためやすに照らして [C] [D] では、写真や図絵、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物や資料、付録などを部分的に使用できる。 学習の手順として、導入の話題→例題→問題と段階的に学習を進めることができる。また、補充の問題があることや自習を意図した 2 部構成となっていることから習熟の程度の違いや家庭学習にも対応できる。 文章の改行を文節や意味のまとまりを基に行っている。	発達のためやすに照らして [C] [D] では、写真や図絵、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物や資料、付録などを部分的に使用できる。 各章の学習の手順として、Q→例題→問い→確認問題→問題 A・B→「やってみよう（発展問題）」→「ふりかえり」と段階的に学習を進めることができる。また、補充の問題があり習熟の程度の違いにも対応できる。 1 年生については、小学校式の「～しよう」と表現している。	発達のためやすに照らして [C] [D] では、写真や図絵、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物や資料、付録などを部分的に使用できる。 各章の学習の手順として、Q→めあて→例題→問い→基本の問題→章の問題→「とりくんでみよう」→次の章を学ぶ前に、段階的に学習を進めることができる。また、前年度の問題や活用の問題があり習熟の程度の違いにも対応できる。 重要な内容やポイントとなる事項を吹き出しや背景色で分かりやすくしている。
	別表 2	章の導入では、問題解決の視点で日常生活と結び付いた題材を用いて学習内容を提示している。また、自習課題や学習状況を記録するチェックリストなどで主体性を育む工夫をしている。 生徒のキャラクターを用い、生徒の目線で気付きや考えを導き出す工夫を、また、ナビキャラクターは指導者の目線で発問や注意を示している。	実生活に関する例題や問題などを提示している。また、「数学の歴史を知ろう」「数学旅行」などで身の回りにある数学や学んできた内容を説明している。 生徒と教師のキャラクターそれぞれの視点からの気付きや考え方があり、それらを質問や発問を考えるきっかけとしている。	実生活に関する例題や問題などを提示している。また、「数学のたんけん」巻末の「数学マイトライ」で、数学を身近に感じたり、一人一人に応じた学習を選択できたりする工夫がある。 生徒のキャラクターを用い、生徒の目線で気付きや考えを導き出す工夫を、また、ナビキャラクターは指導者の目線で発問や注意を示している。
	別表 3・4	挿絵や図表、写真、資料を随所に使用している。図表は配色のほか、濃度や線種を変えるなど判別しやすく表示し、色が手がかりとなる問題では、図中に色名を文字情報で付記している。 例題、問題などのマークは同色を用い、囲みや形の違いで区別し、要点は専用枠内に黒字で表記している。 発行者のホームページに学習に役立つデジタルコンテンツが用意されていることを二次元コードで示している。 ユニバーサルデザインフォントを採用している。サイズは B5 判、表紙は堅ろうである。再生紙と植物油インクを使用している。	色彩は豊かであり、生徒が興味を持つ絵図や写真を豊富に掲載している。 図に添える文字や記号などを大きくし、全体的にユニバーサルデザインに配慮し、誰にでも見分けやすい色使いに配慮している。 公式・定理などの重要な事項は、太文字や囲みや色付けをしている。 発行者のホームページに学習に役立つデジタルコンテンツが用意されていることを二次元コードで示している。 全体的にユニバーサルデザインフォントを使用している。サイズは B5 判、表紙は堅ろうである。再生紙と植物油インクを使用している。	色彩は豊かであり、生徒が興味を持つ絵図や写真を豊富に掲載している。 図に添える文字や記号、線などの工夫や、文字などの情報を付加するなど、ユニバーサルデザインに配慮している。 重要な語句は太字表記し、初出の数学用語などは囲み・色付けをしている。 発行者のホームページに学習に役立つデジタルコンテンツが用意されていることを二次元コードで示している。 全体的にユニバーサルデザインフォントを使用している。サイズは B5 判、表紙は堅ろうである。再生紙と植物油インクを使用している。
備考		特別支援教育、道徳教育、防災・減災、環境教育、STEAM 教育に関する監修とメディア・ユニバーサル・デザイン協会の認証（申請中）がある。		特別支援教育、カラーユニバーサルデザイン、防災・安全教育、道徳教育に関する監修がある。

別表 1

項目		「2 東書」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真や図絵、巻末資料、付録（紙学習具）など、部分的に使用できる。
	D	◇Cの内容に加えて、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物など、使用できる。
(2) イ		◇巻頭に「デジタルコンテンツの使い方」「大切にしたい数学の学び方」「数学マイノート」「この本の構成と使い方」を設けている。 ◇1つの学習内容を学習目標と導入の話題→例題→問題→補充の問題の流れで構成している。 ◇文章の改行を固定の文字数ではなく、文節や意味のまとまりを基に行っている。 ◇単ページのレイアウトを基本に構成している。 ◇右ページの外側に検索用のインデックスを施している。 ◇節末に確かめの問題、章末に章末問題 A、B（活用の問題を含む）を設けている。

別表 2

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇「数学のまど」「学びをひろげよう」などで身近な事象を題材に活用場面を紹介している。
	イ	◇章の導入で学習する内容を日常生活と結び付いた題材として提示している。 ◇章の導入で提示された題材を本文や例題、問題でも扱い、展開につながりを持たせている。 ◇発行者のホームページにデジタルコンテンツが用意されていることを専用のマークで示している。
		◇男女各 2 名の生徒のキャラクターで生徒の目線で気付きや考えを引き出すきっかけを示している。
	ウ	◇ナビキャラクターを用いて、指導者の目線で補助発問や注意を投げかけている。

別表 3

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇全学年を通して共通のキャラクターを挿絵で用いている。 ◇生徒のキャラクターは判別しやすいようにイラストと名前を示している。
	イ	◇本文の内容や設問に対応する図表、写真などの資料を随所に使用している。 ◇図表は配色のほか、濃度や線種の変更、模様による表現などで判別できるように工夫している。
		◇教科書の内容にあったデジタルコンテンツを二次元コードで利用できるように工夫している。
	ウ	◇教科書の内容にあったデジタルコンテンツを二次元コードで利用できるように工夫している。

別表 4

項目		「2 東書」
(1) (2) (3)	アイ	◇すべての生徒の色覚特性に適応するようにデザインをしている。 ◇学習目標、導入の問題、要点などは専用の枠を用いて、彩度を落とした背景色で色分けしている。 ◇例題の解答例など、所々でノートを模した罫線入りの背景枠を使用している。
		◇ユニバーサルデザインフォントを採用している。
	ウエ	◇主たる文字の大きさは 11 ポイント、字体は明朝を主に複数の書体を併用している。 ◇文中の重要語句はゴシック体の太字で表記している。 ◇例題の文字の大きさを、問題よりも 1 ポイント大きく表記している。 ◇本文と例題、問題などの内容間の区切りで空行をはさんでいる。
	オ	◇サイズは B5 判で、表紙は丈夫な紙を用い、光沢感のある加工を施している。 ◇再生紙と植物油インクを使用している。 ◇製本は PUR 接着剤を用いたあじろとじ方式を採用している。

別表 1

項目		「4 大日本」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真や図絵、巻末資料、付録（紙学習具）など、部分的に使用できる。
	D	◇Cの内容に加えて、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物など、使用できる。
(2) イ		◇巻頭に「この教科書の使い方」「数学の世界へようこそ」「研究をしよう」「ノートの作り方」を設けている。 ◇1つの学習内容を導入の話題、学習目標→例題→問題→補充の問題の流れで構成している。 ◇文章の改行を固定の文字数ではなく、文節や意味のまとまりを基に行っている。 ◇右ページの外側に検索用のインデックスを施している。 ◇節末に確かめの問題、章末に学習内容の利用と章末問題と活用の問題を設けている。

別表 2

項目		「4 大日本」
(1) (2)	ア	◇「社会にリンク」「MATHFUL」などで身近な事象を題材に活用場面を紹介している。
	イ	◇章の導入で学習する内容を日常生活と結び付いた題材として提示している。 ◇章末に日常生活と結び付いた題材を扱った「利用」の活動が設けられている。 ◇発行者のホームページにデジタルコンテンツが用意されていることを専用のマークで示している。
		◇男女各 3 名の生徒のキャラクターで生徒の目線で気付きや考えを引き出すきっかけを示している。
	ウ	◇ナビキャラクターを用いて、指導者の目線で補助発問や注意を投げかけている。

別表 3

項目		「4 大日本」
(1) (2)	ア	◇全学年を通して共通のキャラクターを挿絵で用いている。 ◇生徒のキャラクターは判別しやすいようにイラストに名前を付記している。
	イ	◇本文の内容や設問に対応する図表、写真などの資料を随所に使用している。 ◇図表は配色のほか、濃度や線種の変更、模様による表現などで判別できるように工夫している。
		◇教科書の内容にあったデジタルコンテンツを二次元コードで利用できるように工夫している。
	ウ	◇教科書の内容にあったデジタルコンテンツを二次元コードで利用できるように工夫している。

別表 4

項目		「4 大日本」
(1) (2) (3)	アイ	◇領域ごとにメインカラー(4色)を設定し、見出しの背景色やインデックスに使用している。 ◇学習目標、導入の問題、要点などの見出しはシンボルを用いて白抜き文字で表現している。 ◇要点は背景色無しの専用枠内に黒字で表記している。 ◇例題の解答例など、所々で黒板（白抜き文字）やノートを模した背景枠を使用している。
		◇ユニバーサルデザインフォントを採用している。
	ウエ	◇主たる文字の大きさを 1 年は 12 ポイント、2・3 年は 11 ポイントと段階的に変えている。 ◇字体は明朝を主に複数の書体を併用している。 ◇文中の重要語句はゴシック体の太字で表記している。 ◇本文と例題、問題などの内容間の区切りで空行をはさんでいる。
	オ	◇サイズは B5 判で、表紙は丈夫な紙を用い、光沢感のある加工を施している。 ◇環境に配慮した紙と植物油インクを使用している。 ◇製本はあじろとじ方式を採用している。

別表 1

項目		「1 1 学図」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真や図絵、巻末資料、付録（紙学習具）など、部分的に使用できる。
	D	◇Cの内容に加えて、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物など、使用できる。
(2) イ		◇巻頭に「この教科書を使った数学の学び方」「ノートの使い方」「単位の書き方」を設けている。 ◇1つの学習内容を導入の話題、学習目標→例題→問題→学習事項の振り返りと次の課題の提示の流れで構成している。 ◇右ページの外側に検索用のインデックスを施している。 ◇節末に確かめの問題、章末に章末問題（基本、応用、活用）を設けている。 ◇「数と計算」の領域において、節末に計算力を高める問題を設けている。

別表 2

項目		「1 1 学図」
(1) (2)	ア	◇「役立つ数学」「深めよう」などで身近な事象を題材に活用場面を紹介している。
	イ	◇章の導入で学習する内容を日常生活と結び付いた題材として提示している。 ◇学習の区切りで「どんなことがわかったかな」「次の課題へ」を設けている。 ◇発行者のホームページにデジタルコンテンツが用意されていることを二次元コードで示している。
	ウ	◇男女の生徒キャラクターが生徒の目線で気付きや考えを引き出すきっかけを示している。 ◇ナビキャラクターを用いて、指導者の目線で補助発問や注意を投げかけている。

別表 3

項目		「11 学図」
(1) (2)	ア	◇全学年を通して共通のキャラクターを挿絵で用いている。 ◇生徒のキャラクターの服装を場面に応じて変えている。
	イ	◇本文の内容や設問に対応する図表、写真などの資料を随所に使用している。 ◇図表は配色のほか、濃度や線種の変更、模様による表現などで判別できるように工夫している。
	ウ	◇教科書の内容にあったデジタルコンテンツを二次元コードで利用できるように工夫している。

別表 4

項目		「1 1 学図」
(1) (2) (3)	アイ	◇ユニバーサルデザインの視点を取り入れて編集している。 ◇下線による強調は、色だけでなく線の本数や線種を変えて表現している。 ◇学習目標、学習事項の振り返り、次の課題の提示は背景色なしの専用枠を設けて表示している。 ◇要点や例の解答は背景色ありの専用枠内に黒字で表記している。 ◇例題の解答例など、所々で黒板（白抜き文字）やノートを模した背景枠を使用している。
	ウエ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ◇主たる文字の大きさは11ポイント、書体は和文と英数字の並びや見え方を検証している。 ◇文中の重要語句はユニバーサルデザインフォントを使用し、太字で表記している。 ◇本文と例題、問題などの内容間の区切りで空行をはさんでいる。
	オ	◇サイズはB5判で、表紙は丈夫な紙を用い、光沢を押さえた加工を施している。 ◇環境に配慮した紙と植物油インクを使用している。

別表 1

項目		「1 7 教出」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真や図絵、巻末資料、付録（紙学習具）など、部分的に使用できる。
	D	◇Cの内容に加えて、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物など使用できる。
(2) イ		◇巻頭に「教科書の使い方」「学習するにあたって」「数学的な考え方」を設けている。 ◇1つの学習内容を学習目標と導入の話題→例題→問題→補充の問題の流れで構成している。 ◇例題に対応する問題を「たしかめ」と「問」の2段階で提示している。 ◇文章の改行を固定の文字数ではなく、文節や意味のまとまりを基に行っている。 ◇ページの右側に罫線を引き、本文と補足的な内容とを明確に区別している。 ◇節末に確かめの問題、章末に章末問題（活用の問題を含む）、次章の学習準備を設けている。

別表 2

項目		「1 7 教出」
(1) (2)	ア	◇「数学の広場」「学んだことを活用しよう」などで身近な事象を題材に活用場面を紹介している。
	イ	◇章の導入で学習する内容を日常生活と結び付いた題材として提示している。 ◇新しい章の学習に入る前に「学習する前に」を設け、レディネス問題を扱っている。 ◇発行者のホームページにデジタルコンテンツが用意されていることを二次元コードで示している。
	ウ	◇男女各2名の生徒のキャラクターで生徒の目線で気付きや考えを引き出すきっかけを示している。 ◇ナビキャラクターを用いて、指導者の目線で補助発問や注意を投げかけている。

別表 3

項目		「1 7 教出」
(1) (2)	ア	◇全学年を通して共通のキャラクターを挿絵で用いている。
	イ	◇本文の内容や設問に対応する図表、写真などの資料を随所に使用している。 ◇図表は配色のほか、濃度や線種の変更、模様による表現などで判別できるように工夫している。
	ウ	◇教科書の内容にあったデジタルコンテンツを二次元コードで利用できるように工夫している。

別表 4

項目		「1 7 教出」
(1) (2) (3)	アイ	◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ◇学習目標、導入の問題は背景色なしの専用枠を用いて表示している。 ◇要点は薄橙の背景色の専用枠内に黒字で表示している。 ◇例題、たしかめ、問はデザインの異なるシンボルを用いて表示している。 ◇例題の解答例など、所々でノートを模した罫線入りの背景枠を使用している。
	ウエ	◇ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ◇主たる文字の大きさは11ポイント、字体は明朝を主に複数の書体を併用している。 ◇文中の重要語句はゴシック体の太字で表記している。 ◇本文と例題、問題などの内容間の区切りで空行をはさんでいる。
	オ	◇サイズはB5判で、表紙は丈夫な紙を用い、光沢感のある加工を施している。 ◇環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用している。

別表 1

項目		「6 1 啓林館」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真や図絵、巻末資料など、部分的に使用できる。
	D	◇Cの内容に加えて、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物など、使用できる。
(2) イ		◇巻頭に「この本の構成と使い方（学び方、ノートの工夫の仕方を含む）」を設けている。 ◇授業で用いる「みんなで学ぼう編」と家庭学習で取り組む「自分から学ぶ編」の2部構成となっている。 ◇1つの学習内容を学習目標と導入の話題→例題→問題→補充の問題の流れで構成している。 ◇文章の改行を固定の文字数ではなく、文節や意味のまとまりを基に行っている。 ◇右ページの外側に検索用のインデックスを施している。 ◇節末に確かめの問題、章末に章末問題（基本、応用）と家庭学習用に総合問題を設けている。

別表 2

項目		「6 1 啓林館」
(1) (2)	ア	◇「数学ライブラリー」「学びをいかそう」などで身近な事象を題材に活用場面を紹介している。
	イ	◇章の導入で学習する内容を日常生活と結び付いた題材として提示している。 ◇「自分から学ぶ編」に学習状況を記録するチェックリストがある。 ◇発行者のホームページにデジタルコンテンツが用意されていることを二次元コードで示している。
	ウ	◇男女各1名の生徒のキャラクターが生徒の目線で気付きや考えを引き出すきっかけを示している。 ◇ナビキャラクターを用いて、指導者の目線で補助発問や注意を投げかけている。

別表 3

項目		「6 1 啓林館」
(1) (2)	ア	◇全学年を通して共通のキャラクターを挿絵で用いている。
	イ	◇本文の内容や設問に対応する図表、写真などの資料を随所に使用している。 ◇図表は配色のほか、濃度や線種の変更、模様による表現などで判別できるように工夫している。 ◇色が手がかりとなる問題には、図中に色の名前を文字情報として付記している。
	ウ	◇教科書の内容にあったデジタルコンテンツを二次元コードで利用できるように工夫している。

別表 4

項目		「6 1 啓林館」
(1) (2) (3)	ア イ	◇例題、問題、考え方のシンボルは同色（茶色）を用い、枠線の線種や形の違いで区別している。 ◇要点は背景色無しの専用枠内に黒字で表記している。 ◇例題の解答例など、所々でノートを模した罫線入りの背景枠を使用している。
	ウ エ	◇ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ◇主たる文字の大きさは11ポイント、字体は明朝を主に複数の書体を併用している。 ◇文中の重要語句はゴシック体の太字で表記している。 ◇本文と例題、問題などの内容間の区切りで空行をはさんでいる。
	オ	◇サイズはB5判で、表紙は丈夫な紙を用い、光沢を抑えた加工を施している。 ◇再生紙と植物油インクを使用している。 ◇製本はあじろとじ方式を採用している。

別表 1

項目		「1 0 4 数研」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇表紙の写真、巻末資料などを使用することができる。
	D	◇各章のはじめの、写真や図絵 各章の問題などを使用することができる。
(2) イ		◇巻頭に「この教科書について」「学習に役立つコンテンツ」「いっしょに学ぶキャラクター」「学習の進め方」「ノートのつくり方」を掲載している。 ◇「問題Q」→「例題」→「問」の順に構成している。 ◇第1学年の問いの表現を「～しよう」と小学校と同じ提示方法で示している。 ◇「学習の目標」フラッグのマークと文字に黄色の下線で表記している。 ◇重点箇所は、太字表記、付箋や囲み罫線によるポイントのまとめを掲載している。

別表 2

項目		「1 0 4 数研」
(1) (2)	ア	◇章のはじめに「ふりかえり」、学習内容に関する写真、絵図、興味を引く発問を示している。 ◇実生活に関する例題を提示（日本各地の気温や少子化問題など）している。
	イ	◇「～してみよう」などの提示がある。 ◇各単元のおわりに「確認問題」、各章のおわりに「確認問題A」「確認問題B」を掲載している。 ◇巻末に各学年の「まとめ」があり、前学年で学んだ関連を表記している。 ◇巻末に評価項目が3年間同じの「学びの自己評価」を掲載している。
	ウ	◇キャラクターと男女各2名と教師1名のキャラクターがそれぞれの視点でヒントなどを提示している。 ◇巻末に「宝さがし」「立体」「因数分解」「三平方の定理」の付録がある。 ◇巻末に「数学旅行」「チャレンジ問題」を設定している。

別表 3

項目		「1 0 4 数研」
(1) (2)	ア	◇巻頭、巻末、各章に写真、絵図を随時使用している。 ◇キャラクターの問いかけが、「疑問」「発表」で仕草に変化をもたせ分かりやすいように工夫している。 ◇数種類の色を使用して分かりやすく工夫している。
	イ	◇吹き出しなど重要なものについては、背景の色を使用している。 ◇解答例を手書き風文字にして、印象に変化をもたせている。 ◇図の中にあるマークや記号などを大きく表示している。
	ウ	◇教科書の内容にあったデジタルコンテンツを二次元コードで利用できるように工夫している。

別表 4

項目		「1 0 4 数研」
(1) (2) (3)	ア イ	◇ユニバーサルデザインに配慮し、鮮明で、誰にでも見分けやすい色使いを工夫している。 ◇「例」「問」などの学習記号は色を変え明示している。
	ウ エ	◇文字の大きさは11ポイントで、行間にも余裕がある。 ◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ◇重要語句は太文字、一部の漢字にふりがなを付記している。
	オ	◇サイズはB5判サイズで、表紙は堅ろうである。 ◇食物油インキ、再生紙を使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 数学

別表 1

項目		「116 日文」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇表紙の写真、巻末資料などを使用することができる。
	D	◇各章のはじめの説明文、写真、絵図、各章の問題、巻末のまとめや付録などを使用することができる。
(2) イ		◇巻頭に「この本の使い方」「数学の学習を始めよう！」「学びに向かう力を育てよう！」「数学的な見方・考え方を身につけよう！」「ノートのくふう」「ICTを活用しよう！」を掲載している。 ◇もくじの左端にこれまでに学んだことを明示している。 ◇「Q（確かめよう）」「めあて」→「問」→「例」の順に構成している。 ◇初出用語は太字で表記している。

別表 2

項目		「116 日文」
(1) (2)	ア	◇章のはじめの「次の章を学ぶ前に」に学習内容に関する写真、絵図、興味・関心を引く発問がある。 ◇各単元のおわりに、「数学のたんけん」を掲載している。 ◇実生活に関する例題を提示（温暖化や少子化問題など）している。
	イ	◇もくじの右端に前学年で学んだことを色背景で表記している。 ◇「やってみよう」「まちがしやすい問題」などを提示している。 ◇各単元のおわりに「基本の問題」、各章のおわりに「章の問題」「とりくんでみよう」を掲載している。 ◇巻末に各学年の「補充問題」、前学年の「復習問題」を掲載している。 ◇さくいんの用語に英語単語を明記している。
	ウ	◇キャラクターの男女各2名がそれぞれの視点でヒントなどを提示している。 ◇「問」の右端に「チャレンジ」「補充問題」を掲載している。 ◇巻末に「立体」「因数分解」の付録がある。 ◇巻末に「対話シート」を添付している。

別表 3

項目		「116 日文」
(1) (2)	ア	◇巻頭、巻末、各章に写真、絵図を随時掲載している。 ◇キャラクターの問いかけは吹き出しを使用している。 ◇数種類の色を使用している。
	イ	◇吹き出しなど重要なものについては、背景の色を使用している。 ◇解答例を手書き風文字にして、印象に変化をさせている。 ◇図の中にあるマークや記号などを大きく表示している。
	ウ	◇教科書の内容にあったデジタルコンテンツを二次元コードで利用できるように工夫している。

別表 4

項目		「116 日文」
(1) (2) (3)	アイ	◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ◇「例」「問」などの学習記号は色を変え明示している。 ◇学習のポイント・重要な説明や公式には背景色を付け、見やすいように工夫している。
	ウエ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ◇文字の大きさや行間は読みやすいように工夫している。 ◇重要語句は太文字、一部の漢字にふりがなを付記している。
	オ	◇サイズはB5判で、表紙は堅ろうである。 ◇植物性インキと再生紙を使用している。

項目		発 行 者 名				
		2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	6 1 啓林館
使用上の留意点	別表 1	発達のためやすに照らして[C][D]では写真・図などを使用することが可能である。 単元末の「学習内容の整理」では、すべての文字に読み仮名を振る配慮がある。 本文以外の文章は文節で改行し、読みやすく配慮している。 観察・実験の手順を縦に並べるなど、流れを追いやすいようレイアウトを工夫している。	発達のためやすに照らして[C][D]では写真や図を使用することが可能である。 随所に読み仮名を振る配慮がある。 使われている図や写真の中で色や矢印を効果的に使って色覚特性のある生徒や視覚優位の生徒にとって情報を区別して理解しやすい内容となっている。	発達のためやすに照らして [C][D]では写真や図を使用することが可能である。 使われている図や写真の中で色や矢印を効果的に使い、色覚特性のある生徒や視覚優位の生徒にとって情報を区別して理解しやすい内容である。 二次元コードから NHK for School の動画にアクセスし学習につなげることができる。	発達のためやすに照らして[C][D]では写真・図などを使用することが可能である。 文字サイズを小学6年の教科書から少しずつ小さくなるようにし、スムーズに移行できるよう配慮している。 統一感のあるマークや、手順を縦一列に配置し、読みやすくシンプルなレイアウトに配慮している。	発達のためやすに照らして[C][D]では写真・図などを使用することが可能である。 文中の重要語句だけでなく、本文の語句の多くに読み仮名を振る配慮をしている。 書き方の例などを示し、記述が苦手な生徒への配慮をしている。 1 年はスムーズに移行できるよう文字の大きさを配慮している。
	別表 2	「学びを生活や社会に広げよう」や「まちなか科学」では、学習内容を社会と結び付けて考えるよう工夫している。 防災・減災に関する内容では、学習したことと日常生活とを結び付けて考えられるよう工夫している。また、「社会につながる科学」では、学習した内容に関係が深い様々な職業を紹介している。 二次元コードが学習の場面ごとに配置されており、繰り返し視聴することで思考力を育むことができるよう工夫している。	実生活の中で使われている気体について、イラストと合わせて例を挙げて説明している。 実験の写真は、生徒役の人が実際の器具を使って安全性を踏まえた状態の写真を使用している。 単位の付け方や有効数字など、理科と数学（算数）で学習する内容のつながりを巻末のページで説明している。 理科の分野でノーベル賞を受賞した人の話題も取り上げており、生徒の興味や関心を引く内容である。	天気分野では、実際の天気予報の画像を使用し、なぜこの天気になるのか、実生活と照らし合わせた内容を扱っている。 日本の有名な地域の話も教材として扱っており、生徒も身近なものとしてイメージしやすい内容である。 色々な自然現象に疑問をもったり、思考したりする内容が多く含まれている。（SDGs の内容なども）	「ハローサイエンス」では、学習内容が日常生活や社会で活用されていることに触れ、興味・関心を高めている。 章扉では、これまでに学習した内容をまとめ、新しい学習とのつながりが持てるよう工夫している。 「学習前の私」「学習後の私」で学習した成果を確かめることができるように工夫している。	単元末の「力だめし」や「動画チャレンジ」では日常生活の場面を活かした問題を設定している。 科学コラムが節末にあり、生活との関連を深める内容や、学習内容に関連した仕事の紹介があるなど、興味・関心を抱く工夫がある。 「考えてみよう」など、思考したり、表現したりする活動が随所に設定されている。
	別表 3・4	挿絵を随所で使用している。文字の色や説明の量も適切である。写真・図表を随所で使用している。 デジタルコンテンツが豊富であり、動画の字幕表示を選択できる。 印刷は鮮明である。すべての生徒の色覚特性に適応している。 字間、行間を読みやすいよう配慮している。見やすく間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用している。 AB 判であり、表紙は堅ろうである。再生紙、植物油インキを使用している。	イラストや図を効果的に使い、実際の環境問題や自然現象を表現している。 二次元コードが掲載されている。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。 コンパクトで軽量である。	人や動物の体のしくみについて、写真、イラストでリアルに表現されている。 二次元コードが掲載されている。 色使いやレイアウトについても、見やすいものになっている。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。	挿絵を随所で使用し、文字の色や説明の量も適切である。図表・写真ともに随所で使用している。 デジタルコンテンツが豊富であり、動画には字幕が表示されている。 印刷は鮮明である。色覚特性に配慮したデザインを取り入れている。 字体はユニバーサルフォントを使用している。重要語句は橙色のゴシック体で表記している。AB 判であり、表紙は堅ろうである。環境に優しい再生紙と植物油インキを使用している。	挿絵や写真・図表を随所で使用している。色や説明の量も適切である。 デジタルコンテンツの掲載は、豊富であり、動画の字幕表示や発表スライドのひな型などがある。印刷は鮮明で、光沢を抑えた目にやさしい工夫をしている。色覚特性に配慮し、読みやすい配色、デザインを採用している。字間、行間を読みやすいよう配慮している。ユニバーサルデザインフォントを使用している。AB 判であり、表紙は堅ろうである。再生紙や植物油インキを使用し、環境やアレルギーなどにも配慮している。
備考						

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 理科

別表 1

項目		「2 東書」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・図・絵を使用することが可能である。
	D	◇写真・絵・図の解説などを使用することが可能である。
(2) イ		◇単元末の「学習内容の整理」では、すべての文字に読み仮名を振る配慮をしている。 ◇観察・実験や基礎操作などの本文以外の文章は文節で改行し、読みやすく配慮している。 ◇本文を左側、観察・実験の手順を縦に並べ、流れを追いやすいようレイアウトを工夫している。

別表 2

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇「学びを生活や社会に広げよう」や「まちなか科学」では、学習内容を社会と結び付けて考えられるよう工夫している。 ◇防災・減災に関する内容では、学習したことと日常生活とを結び付けて考えられるよう工夫している。
	イ	◇単元の導入では、2 ページにわたる大きな写真を採用している。
	ウ	◇「社会につながる科学」では、学習した内容に関係が深い様々な職業を紹介している。 ◇2 年生の巻末に切り取り活用ができるページがある。(熱帯低気圧 3D ペーパークラフト) ◇紙面に印刷された二次元コードから観察・実験動画などを繰り返し視聴することで、思考力を育むことができるよう工夫されている。

別表 3

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇挿絵を随所で使用している。文字の色や説明の量も適切である。
	イ	◇写真・図表を随所で使用している。
	ウ	◇デジタルコンテンツが豊富であり、実験の手順や練習問題など、様々な学習に取り組むことができる。また、動画の字幕表示を選択できる。

別表 4

項目		「2 東書」
(1) (2) (3)	ア	◇すべての生徒の色覚特性に適応している。
	イ	◇印刷は鮮明である。
	ウ	◇字間、行間を読みやすいよう配慮している。
	エ	◇見やすく間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。
	オ	◇AB 判であり、表紙は堅ろうである。 ◇再生紙、植物油インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 理科

別表 1

項目		「4 大日本」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真を部分的に使用することが可能である。
	D	◇写真や図を使用することが可能である。
(2) イ		◇図や写真に色を使うことで、情報を識別しやすいよう工夫されている。

別表 2

項目		「4 大日本」
(1) (2)	ア	◇地学の分野では、最近の話や写真を基にイメージしやすい作りになっている。 ◇理科分野につながる身近な職場で働いている人の様子を紹介することで、将来やってみたいという意欲を引き出しやすいよう工夫している。
	イ	◇化学分野では、実験の方法や器具の使い方を写真やイラストを使って説明することで、授業での実験の際にイメージしやすい。
	ウ	◇レポートの書き方などの留意点が記載されており、思考したり表現したりするときにまとめやすいものになっている。

別表 3

項目		「4 大日本」
(1) (2)	ア	◇動物の様子や自然の様子などは、より現実に近い形の写真や挿絵が使われており、生徒が興味をもちやすいよう工夫されている。
	イ	◇言葉や矢印に色を使うことで、強調したり見やすくしたりする工夫がある。
	ウ	◇二次元コードが掲載されている。

別表 4

項目		「4 大日本」
(1) (2) (3)	ア	◇動物の様子や自然の様子の写真は迫力を感じられるよう工夫されている。
	イ	◇実験の考察では、会話形式にすることで、要点に気付くことができるよう工夫している。
	ウ	◇ユニバーサルデザインフォントである。
	エ	◇表紙はミニチュアの写真を使用し、各学年で違うものを使用している。

別表 1

項目		「１１ 学図」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真や二次元コードの動画を部分的に使用することが可能である。
	D	◇写真や図、二次元コードの動画を使用することが可能である。
(2) イ		◇随所に読み仮名がふっており、読むことが苦手な生徒への配慮をしている。 ◇図や写真に色を使うことで、情報を識別しやすいように工夫されている。

別表 2

項目		「１１ 学図」
(1) (2)	ア	◇現在、問題となっている環境問題や、実際の天気予報で見る内容の写真を基に、生活と結び付けて考える機会を作る内容となっている。
	イ	◇化学分野では、実験の方法や器具の使い方を写真やイラストを使って説明することで実験するときにイメージしやすいよう工夫されている。 ◇他教科で学習した内容（地名や観光地）を理科分野で扱っていることもあり、教科を超えた教材として生徒も興味・関心を持ちやすい内容となっている。
	ウ	◇基本的な知識を学んだことを生かした探究的な内容の課題が随所にある。実験の結果などから読み取れること、考えられることを話し合う活動も含まれている。

別表 3

項目		「１１ 学図」
(1) (2)	ア	◇動物の様子や自然の様子などはより現実に近い写真や挿絵が使われており、興味をもちやすいよう工夫されている。
	イ	◇言葉や矢印に色を使うことで、強調したり見やすくしたりする工夫がある。
	ウ	◇二次元コードから NHK for School の動画につなげて学習することができる。 ◇二次元コードから挿絵やイラストを確認することができる。

別表 4

項目		「１１ 学図」
(1) (2) (3)	アイ	◇動物の様子や自然の样子の写真は迫力を感じられるよう工夫されている。
	ウ	◇実験方法などは、人のイラストを使ってやり方を説明するものとなっている。
	エ	◇字体はユニバーサルデザインフォントである。
	オ	◇各学年で異なる自然現象の写真が表紙になっており、迫力のあるものになっている。

別表 1

項目		「１７ 教出」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・図の使用が可能である。
	D	◇写真・図の解説などを使用することが可能である。
(2) イ		◇文字サイズを小学 6 年の教科書から少しずつ小さくするようにし、スムーズに移行できるよう配慮している。 ◇統一感のあるマークや、手順を縦一列に配置し、読みやすくシンプルなレイアウトとなるよう配慮している。

別表 2

項目		「１７ 教出」
(1) (2)	ア	◇「ハローサイエンス」では、学習内容が日常生活や社会で活用されていることに触れ、興味・関心を高めている。
	イ	◇章扉では、これまでに学習した内容をまとめ、新しい学習とのつながりが持てるよう工夫している。
	ウ	◇「学習前の私」「学習後の私」で学習した成果を確かめることができるよう工夫している。

別表 3

項目		「１７ 教出」
(1) (2)	ア	◇挿絵を随所で使用している。文字の色や説明の量も適切である。
	イ	◇図表・写真ともに随所で使用している。
	ウ	◇デジタルコンテンツが豊富であり、実験器具の使い方や学習内容の振り返りを確認することができる。また、動画には字幕が表示されている。

別表 4

項目		「１７ 教出」
(1) (2) (3)	ア	◇印刷は鮮明である。
	イ	◇色覚特性に配慮したカラーユニバーサルデザインを取り入れている。
	ウ エ	◇字体はユニバーサルフォントを使用している。 ◇重要語句は橙色のゴシック体で表記している。
	オ	◇AB 判であり、表紙は堅ろうである。 ◇環境に優しい再生紙と植物油インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 理科

別表 1

項目		「6 1 啓林館」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・図・絵を使用することが可能である。
	D	◇写真・絵・図の解説などを使用することが可能である。
(2) イ		◇文中の重要語句の他に、本文の語句の多くに読み仮名を振る配慮をしている。 ◇どのページにも写真や絵などがあり、内容をイメージしやすく、見やすい配慮をしている。 ◇「かきこみ」欄や「探Qシート」の記述欄では、書き方の例や書き出しの文、結びの文を示し、記述が苦手な生徒への配慮をしている。 ◇1年の文字サイズは、小6と中2・3年の中間サイズに設定し、スムーズに移行できるよう配慮をしている。

別表 2

項目		「6 1 啓林館」
(1) (2)	ア	◇単元末の「力だめし」や「動画チャレンジ」では日常生活の場面を活かした問題を設定している。
	イ	◇単元の導入では、2 ページにわたる大きな写真を採用している。また、各章に「はてなスイッチ」（二次元コード）があり、章導入の写真に関連した動画で疑問を引き出す工夫がある。 ◇科学コラムが節末にあり、「部活ラボ」「お料理ラボ」など生活との関連を深める内容や、「お仕事ラボ」では、学習内容に関連した仕事の紹介があるなど、興味・関心を抱く工夫がある。
	ウ	◇「考えてみよう」「発表してみよう」「Action 活用してみよう」など、思考したり、表現したりする活動場面が随所に掲載されている。

別表 3

項目		「6 1 啓林館」
(1) (2)	ア	◇挿絵を随所で使用している。文字の色や説明の量も適切である。
	イ	◇写真・図表を随所で使用している。
	ウ	◇デジタルコンテンツの掲載は、豊富であり、1 つの二次元コードから複数のコンテンツにリンクしている箇所がある。 ◇発表スライドのひな型をデジタルコンテンツに掲載している。 ◇「ICT でトライ」では、二次元コードを読み取り、画面上でカードなどを操作し、実験などの学習ができる。 ◇動画の字幕の表示を選択でき、字体の種類や大きさ、色、背景の色を設定することができる。 ◇「つながる学び」では、二次元コードを読み取り、マスク表示を活用して用語の確認することができる。

別表 4

項目		「6 1 啓林館」
(1) (2) (3)	アイ	◇色覚特性を含めて、すべての人が見やすく、読みやすい配色、デザインを採用している。（メディア・ユニバーサル・デザイン協会の認証を申請中。） ◇印刷は鮮明で、光沢を抑えた目にやさしい工夫をしている。
	ウ	◇字間、行間を読みやすいよう配慮している。
	エ	◇ユニバーサルデザインフォントを採用している。
	オ	◇AB 判であり、表紙は堅ろうである。 ◇再生紙や植物油インキを使用し、環境やアレルギーなどにも配慮している。

項目		発行者名	
		17 教出	27 教芸
使用上の留意点	別表1	発達のためやすに照らして[A][B]では曲に合わせた表現活動や鑑賞活動において、[C][D]では、それに加えて写真やイラストを部分的に使用可能である。 「歌唱」「鑑賞」「創作」の3つの学習活動を色で区別している。 学習内容が分かりやすいようにレイアウトされている。 「Active!」「Sing!Sing!」「Let’s Try!」で学習の定着と活用を図っている。	発達のためやすに照らして[A][B]では曲に合わせた表現活動や鑑賞活動において、[C][D]では、それに加えて写真やイラストを部分的に使用可能である。 「歌唱」「鑑賞」「創作」の3つの学習活動を色で区別している。 学習内容が分かりやすいようにレイアウトされている。 「学びのコンパス」で言語活動の充実を図っている。
	別表2	「日本の歌 みんなの歌」として「夏の思い出」、「赤とんぼ」など、オペラ、日本の伝統音楽、ポップスなど、幅広いジャンルの音楽を掲載し、音楽の世界を広げる工夫をしている。 楽曲に関する写真が大きく、折込み含め3ページ分の楽器図鑑や音楽年表が掲載されている。 創作ページで興味・関心をもちやすいテーマ設定をしている。	「歌い継ごう日本の歌」では歌謡曲を掲載している。「心の歌」として「浜辺の歌」、「赤とんぼ」など、オペラ、日本の伝統音楽など、幅広いジャンルの音楽を掲載し、音楽の世界を広げる工夫をしている。 テーマを設けた創作ページで、音楽に興味・関心がもてるようにしている。
	別表3・4	題材に関連する写真が掲載され、ユニバーサルデザインの視点で色彩を使っている。 カラーユニバーサルデザインに配慮している。 題名の文字を大きくし、中心となる文字にユニバーサルデザインフォントを使用している。 AB判である。	写真や挿絵が掲載され、文字での情報が豊富である。 ユニバーサルデザインに配慮している。 中心となる文字がユニバーサルデザインフォントを使用している。 AB判である。
備考			

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 音楽（一般）

別表 1

項目		「17 教出」
(1) ア	A	◇教科書に掲載されている曲を聴いたり、曲に合わせて表現したりする活動で部分的に使用できる。
	B	◇教科書に掲載されている曲を聴いたり、歌ったりする活動で部分的に使用できる。
	C	◇写真やイラストを部分的に使用できる。 ◇掲載されている曲を聴いたり、リズムにのったり、歌ったりする活動で部分的に使用できる。
	D	◇写真やイラストなどを部分的に使用できる。 ◇掲載されている曲を聴いたり、リズムにのったり、楽器を演奏したり、歌ったりする活動で部分的に使用できる。
(2) イ		◇学習活動を「歌唱」「鑑賞」「創作」の3つに分け、色で分類している。 ◇巻頭に、教材の配列と学習内容について図式化された「学習 MAP」を掲載している。 ◇学習のねらいを左ページに明確に示している。 ◇表現及び鑑賞の冒頭に「Active!」「Let's Try!」を設定し、学んだことを生かしたり、深めたりする教材を設定している。

別表 2

項目		「17 教出」
(1) (2)	ア	◇日本の国の自然や四季の美しさを感じられる楽曲を掲載している。 ◇日本の文化や伝統を感じられる楽曲を掲載している。 ◇諸外国の様々な音楽や文化を知ることができる楽曲や教材を掲載している。
	イ	◇楽曲に関係のある写真を大きく掲載している。 ◇折込みを利用し、多様な情報を見渡せるようレイアウトを工夫している。
	ウ	◇生徒のキャラクターがポイントや付帯情報を紹介している。 ◇調べ学習のページで、多岐にわたる言語活動を掲載している。

別表 3

項目		「17 教出」
(1) (2)	ア	◇1 ページの文字の量と挿絵をバランス良く配置している。
	イ	◇図表や写真の資料は大きく掲載され、イメージを膨らませやすい。
	ウ	◇学習に役立つ情報がウェブサイトや二次元コードで掲載されている。

別表 4

項目		「17 教出」
(1) (2) (3)	ア イ	◇背景色は白を基調としている。 ◇色刷りはカラーユニバーサルデザインに配慮され、落ち着いた色調である。
	ウ エ	◇楽曲のタイトルを大きくし、見やすいように配慮している。 ◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。
	オ	◇再生紙と植物油インキを使用している。 ◇表紙には抗菌加工をしている。 ◇AB 判である。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 音楽（一般）

別表 1

項目		「27 教芸」
(1) ア	A	◇教科書に掲載されている曲を聴いたり、曲に合わせて表現したりする活動で部分的に使用できる。
	B	◇教科書に掲載されている曲を聴いたり、歌ったりする活動で部分的に使用できる。
	C	◇写真やイラストを部分的に使用できる。 ◇掲載されている曲を聴いたり、リズムにのったり、歌ったりする活動で部分的に使用できる。
	D	◇写真やイラストなどを部分的に使用できる。 ◇掲載されている曲を聴いたり、リズムにのったり、楽器を演奏したり、歌ったりする活動で部分的に使用できる。
(2) イ		◇学習活動を「歌唱」「創作」「鑑賞」の3つに分け、色で分類している。 ◇巻頭では、教材の配列と学習内容を図式化している。 ◇学習の違いを左ページに示している。 ◇曲のタイトルのフォントを大きくし、見やすいように工夫している。 ◇表現及び鑑賞に「学びのコンパス」を設定し、学んだことを生かしたり、深めたりする教材を設定している。

別表 2

項目		「27 教芸」
(1) (2)	ア	◇日本の自然や四季の美しさを感じられる楽曲を掲載している。 ◇日本の文化や伝統を感じられる楽曲を掲載している。 ◇諸外国の様々な音楽や文化を知ることができる楽曲や教材を掲載している。
	イ	◇楽曲に関連のある写真を大きく掲載している。
	ウ	◇先生と生徒のキャラクターがポイントやアドバイスを紹介している。

別表 3

項目		「27 教芸」
(1) (2)	ア	◇挿絵が掲載され、親しみやすいように工夫している。
	イ	◇図表や写真の資料が掲載され、イメージを膨らませやすい。
	ウ	◇学習に役立つ情報がウェブサイトや二次元コードで掲載されている。

別表 4

項目		「27 教芸」
(1) (2) (3)	ア イ	◇背景色は白を基調としている。 ◇色刷りは、色覚特性に適應することを目指してデザインされている。
	ウ エ	◇楽曲のタイトルを大きくし、見やすいように配慮している。 ◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。
	オ	◇再生紙と植物油インキを使用しているとの記載がある。 ◇表紙には抗菌加工をしている。 ◇AB 判である。

項目		発 行 者 名	
		1 7 教出	2 7 教芸
使用上の留意点	別表 1	発達のためやすに照らして[C]では、写真やイラストを、[D]ではそれに加えて演奏曲を部分的に使用することが可能である。 楽器の操作を拡大写真で示している。 奏法技術に応じた楽曲を段階的に構成している。 「Let’ s Play!」、「Let’ s Try!」、「名曲旋律集」として、発展的な楽曲を巻末に掲載している。 アルトリコーダーの楽曲は、楽譜の横に運指図を掲載している。	発達のためやすに照らして[C]では、写真やイラストを、[D]ではそれに加えて演奏曲を部分的に使用することが可能である。 楽器の操作を拡大写真で示している。 奏法技術に応じた楽曲を段階的に構成している。 「アンサンブル」、「楽器で Melody」として、発展的な楽曲を巻末に掲載している。 アルトリコーダーの楽曲は、楽譜の横に運指図を掲載している。
	別表 2	「アメージング・グレイス」や「きらきら星」など親しみやすい多様な楽曲を掲載している。 リコーダー、篠笛、尺八、ギター、箏、三味線、太鼓の 7 種類の楽器の奏法を紹介している。 奏法技術に応じた楽曲を段階的に編成している。 楽譜ごとに学習目標を明記している。	「かっこう」や「きらきら星」など親しみやすい多様な楽曲を掲載している。 リコーダー、篠笛、尺八、ギター、箏、三味線、太鼓の 7 種類の楽器の奏法を紹介している。 奏法技術に応じた楽曲を段階的に編成している。 楽譜ごとに学習目標を明記している。
	別表 3・4	巻末資料にリコーダー運指表、ギターコード表が写真付きで付録されている。 カラーユニバサルデザインに配慮している。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。 AB 判である。	巻末資料にリコーダー運指表、ギターコード表がイラスト付きで付録されている。 ユニバーサルデザインに配慮している。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。 AB 判である。
備考			

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 音楽（器楽合奏）

別表 1

項目		「17 教出」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真やイラストなどを部分的に使用することが可能である。
	D	◇写真やイラストなどを部分的に使用することが可能である。 ◇リコーダーと太鼓の演奏は、部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇楽器の操作を拡大写真で示している。 ◇奏法技術に応じた楽曲を段階的に編成している。 ◇「Let's Play!」、「Let's Try!」、「名曲旋律集」として、発展的な楽曲を巻末に掲載している。 ◇アルトリコーダーの楽曲は、楽譜の横に運指図を示している。

別表 2

項目		「17 教出」
(1) (2)	ア	◇「アメージング・グレイス」や「きらきら星」など親しみやすい多様な楽曲を掲載している。 ◇リコーダー、篠笛、尺八、ギター、箏、三味線、太鼓の7種類の楽器の奏法を掲載している。
	イ	◇奏法技術に応じた楽曲を段階的に編成している。 ◇楽譜ごとに学習目標を示している。
	ウ	◇生徒のキャラクターがポイントや付帯情報を紹介している。

別表 3

項目		「17 教出」
(1) (2)	ア	◇カラー写真が豊富であり、楽器ごとにページ端を色分けして編成している。
	イ	◇楽器の操作を拡大写真で示している。 ◇アルトリコーダーの楽曲は、楽譜の横に運指図を掲載している。 ◇巻末資料にリコーダー運指表、ギターコード表を写真付きで掲載している。
	ウ	◇学習に役立つ情報がウェブサイトや二次元コードで掲載されている。

別表 4

項目		「17 教出」
(1) (2) (3)	ア イ	◇背景色は白を基調とし、全ページ色刷り、ページ端の色により区別できる。 ◇カラーユニバーサルデザインを取り入れている。
	ウ	◇タイトルを大きくし、見やすいように配慮している。
	エ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。
	オ	◇再生紙、植物油インキを使用している。 ◇表紙は抗菌加工をしている。 ◇AB 判である。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 音楽（器楽合奏）

別表 1

項目		「27 教芸」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真やイラストなどを部分的に使用することが可能である。
	D	◇写真やイラストなどを部分的に使用することが可能である。 ◇リコーダーと太鼓の演奏は、部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇楽器の操作を拡大写真で示している。 ◇奏法技術に応じた楽曲を段階的に編成している。 ◇「アンサンブル」、「名曲で Melody」として、発展的な楽曲を巻末に掲載している。 ◇アルトリコーダーの楽曲は、楽譜の横に運指図を示している。

別表 2

項目		「27 教芸」
(1) (2)	ア	◇「かっこう」や「きらきら星」など親しみやすい多様な楽曲を掲載している。 ◇リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八の7種の楽器の奏法を掲載している。
	イ	◇奏法技術に応じた楽曲を段階的に編成している。 ◇楽譜ごとに学習目標を示している。
	ウ	◇生徒のキャラクターがポイントや付帯情報を紹介している。

別表 3

項目		「27 教芸」
(1) (2)	ア	◇カラー写真が豊富であり、楽器ごとにページ端を色分けして編成している。
	イ	◇楽器の操作を拡大写真で示している。 ◇アルトリコーダーの楽曲は、運指図を掲載している。 ◇資料にリコーダー運指表、ギターコード表をイラストで掲載している。
	ウ	◇学習に役立つ情報がウェブサイトや二次元コードで掲載されている。

別表 4

項目		「27 教芸」
(1) (2) (3)	ア イ	◇背景色は白を基調とし、全ページ色刷り、ページ端の色により区別できる。 ◇ユニバーサルデザインを取り入れている。
	ウ	◇タイトルを大きくし、見やすいように配慮している。
	エ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。
	オ	◇再生紙、植物油インキを使用している。 ◇表紙は抗菌加工をしている。 ◇AB 判である。

項目		発 行 者 名		
		9 開隆堂	38 光村	116 日 文
使用上の留意点	別表 1	発達のためやすに照らして[C][D]では、写真や色彩の学習について部分的に使用が可能である。 テーマに続いて小見出しを付け、さらに題材ごとに学習のねらいと具体的な説明を加え、学習の目的を明示している。 題材の分野をページ左上に色の帯で明示している。 題材ごとに学習のねらいを示し、17 種類のマークで明示している。 大きなテーマごとに 3 冊に分けて製本し、段階的な考え方に配慮している。	発達のためやすに照らして[C][D]では、写真や色彩の学習について部分的に使用が可能である。 テーマに続いて小見出しを付け、さらに題材ごとに学習のねらいと具体的な説明を加え、学習の目的を明示している。 学びの流れが一目で分かるように明確に示し、表現と鑑賞を一体的に学べる構成としている。 題材の初めに、表現に繋がる鑑賞作品を掲載し、鑑賞が深まる問いを示している。 題材の分野をはじめのページでまとめて表示し、題材の分野と内容をページ左上に色の帯で明示している。	発達のためやすに照らして[C][D]では、写真や色彩の学習について部分的に使用が可能である。 テーマに続いて小見出しを付け、さらに題材ごとに学習のねらいと具体的な説明を加え、学習の目的を明示している。 題材の分野と活動を示すインデックスをページ左上に色で明示している。 題材ごとに身につけたい学習の目標を示し、10 種類のマークで明示している。 大きなテーマごとに 3 冊に分けて製本し、段階的な考え方に配慮している。
	別表 2	身近なものや風景を扱う題材を設定している。 学習の発想・構想の方法や、学習の進め方を細かく写真掲載し、視覚的に整理している。	身近なものや風景を扱う題材を設定している。 生徒の制作過程を細かく写真掲載し、説明文も挿入し、視覚的に整理している。	身近なものや風景を扱う題材を設定している。 題材に関連する資料を、技法・色彩・鑑賞に分けて巻末に示している。
	別表 3・4	図版は鮮明で大きく、全体の色調はカラフルである。 見出し文字の色を統一し、図版の色とのコントラストをはっきりさせ、見やすいように工夫している。 難しい文字にはふりがなを付す配慮をしている。 カラーユニバーサルデザインに合わせた校閲の記載がある。 本のサイズは A4 ワイド判である。 環境に配慮した用紙とインクを使用している。	図版は鮮明で豊富、全体の色調は落ち着いており、大小の図版や説明文を整然と統一感を持って配置している。 作品を体感できる原寸大図版を掲載し、実物に近い鑑賞ができるように工夫している。 マーク以外の文字色を統一して、文字と図版の色調バランスを取っている。字体の種類と大きさを統一し見やすいように工夫している。 難しい文字にはふりがなを付す配慮をしている。 カラーユニバーサルデザインに合わせた校閲の記載がある。 本のサイズは A4ワイド判である。 環境に配慮した用紙とエコマーク認定の植物性インクを使用している。	図版は鮮明で豊富、全体の色調はカラフルであり、作品を体感できる原寸大図版を多く掲載し、実物に近い鑑賞ができるように高精細印刷を用いている。 見出しは統一し、余白を活かしている図版とのコントラストがはっきりしている。 難しい文字にはふりがなを付す配慮をしている。 裏表紙に名前を書く欄の他に自分のマークを書く欄を設けている。 カラーユニバーサルデザインに合わせた校閲の記載がある。 本のサイズは A4 ワイド判である。 植物性インクと再生紙を使用している。
備考				

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 美術

別表 1

項目		「9 開隆堂」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇観賞用の作品の大きな写真、色彩の学習については使用することができる。
	D	◇写真や色彩の学習については使用することができる。
(2) イ		◇テーマに続いて小見出しを付け、さらに題材ごとに学習のねらいと具体的な説明をしている。
		◇題材の分野をページ左上に色の帯で明示している。
		◇題材ごとに身に付けたい学習の目標を示し 17 種類のマークで明示している。
		◇テーマごとに 3 冊に分けて製本し、段階的な考え方に配慮している。
		◇「学習の目標」「学習のポイント」「造形的な視点」「安全注意」「原寸」「外国の生徒作品」「作者の言葉」「用語」「国宝」「重文」「関連情報」「二次元コード」をマークで明示している。

別表 2

項目		「9 開隆堂」
(1) (2)	ア	◇身近なものや風景を扱う題材を設定している。
	イ	◇巻末に知識・技能に特化した「学びの資料」を掲載している。
	ウ	◇生徒作品を掲載し、身近に興味・関心を抱かせるように工夫している。

別表 3

項目		「9 開隆堂」
(1) (2)	ア	◇図版は鮮明で豊富、全体の色調はカラフルである。
	イ	◇大図版・部分拡大図版・原寸図版を掲載している。
	ウ	◇二次元コードが学習を深める資料やクイズが収録されたウェブページにリンクしている。

別表 4

項目		「9 開隆堂」
(1) (2) (3)	ア	◇見出しの字体は太ゴシックと黒色で統一している。
	イ	◇図版のコントラストがはっきりしている。
	ウ エ	◇難しい文字にふりがなを付している。
	オ	◇環境に配慮した用紙とインクを使用している。 ◇カラーユニバーサルデザインに合わせた校閲

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 美術

別表 1

項目		「3 8 光村」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇観賞用の作品の大きな写真、色彩の学習については使用することができる。
	D	◇写真や色彩の学習については使用することができる。
(2) イ		◇写真や色彩の学習については使用することができる。
		◇テーマに続いて小見出しを付け、さらに題材ごとに学習のねらいと具体的な説明をしている。
		◇題材の分野をページ左上に色の帯で明示している。
		◇題材ごとに身に付けたい学習の目標を示し 17 種類のマークで明示している。
		◇テーマごとに 3 冊に分けて製本し、段階的な考え方に配慮している。
		◇「学習の目標」「学習のポイント」「造形的な視点」「安全注意」「原寸」「外国の生徒作品」「作者の言葉」「用語」「国宝」「重文」「関連情報」「二次元コード」をマークで明示している。

別表 2

項目		「3 8 光村」
(1) (2)	ア	◇身近なものや風景を扱う題材を設定している。
	イ	◇巻末に知識・技能に特化した「学びの資料」を掲載している。
	ウ	◇生徒作品を掲載し、身近に興味・関心を抱かせるように工夫している。

別表 3

項目		「3 8 光村」
(1) (2)	ア	◇図版は鮮明で豊富、全体の色調はカラフルである。
	イ	◇大図版・部分拡大図版・原寸図版を掲載している。
	ウ	◇二次元コードが学習を深める資料やクイズが収録されたウェブページにリンクしている。

別表 4

項目		「3 8 光村」
(1) (2) (3)	ア	◇見出しの字体は太ゴシックと黒色で統一している。
	イ	◇図版のコントラストがはっきりしている。
	ウ エ	◇難しい文字にふりがなを付している。
	オ	◇環境に配慮した用紙とインクを使用している。 ◇カラーユニバーサルデザインに合わせた校閲

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 美術

別表 1

項目		「116 日文」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇観賞用の作品の大きな写真、色彩の学習については使用することができる。
	D	◇写真や色彩の学習については使用することができる。
(2) イ		◇テーマに続いて小見出しを付け、さらに題材ごとに学習のねらいと具体的な説明をしている。 ◇題材の分野をページ左上に色の帯で明示している。 ◇題材ごとに身に付けたい学習の目標を示し17種類のマークで明示している。 ◇テーマごとに3冊に分けて製本し、段階的な考え方に配慮している。 ◇「学習の目標」「学習のポイント」「造形的な視点」「安全注意」「原寸」「外国の生徒作品」「作者の言葉」「用語」「国宝」「重文」「関連情報」「二次元コード」をマークで明示している。

別表 2

項目		「116 日文」
(1) (2)	ア	◇図版は鮮明で豊富、全体の色調はカラフルである。
	イ	◇大図版・部分拡大図版・原寸図版を掲載している。
	ウ	◇生徒作品を掲載し、身近に興味・関心を抱かせるように工夫している。

別表 3

項目		「116 日文」
(1) (2)	ア	◇図版は鮮明で豊富、全体の色調はカラフルである。
	イ	◇大図版・部分拡大図版・原寸図版を掲載している。
	ウ	◇二次元コードが学習を深める資料やクイズが収録されたウェブページにリンクしている。

別表 4

項目		「116 日文」
(1) (2) (3)	ア	◇見出しの字体は太ゴシックと黒色で統一している。
	イ	◇図版のコントラストがはっきりしている。
	ウ	◇難しい文字にふりがなを付している。
(3)	エ	
	オ	◇環境に配慮した用紙とインクを使用している。 ◇カラーユニバーサルデザインに合わせた校閲

項目		発 行 者 名			
		2 東書	4 大日本	5 0 大修館	2 2 4 学研
使用上の留意点	別表 1	発達のためやすに照らして、[C] [D] では、写真のイラストを部分的に使用することが可能である。 各章を「見つける」「学習課題」「課題解決」「活用する」「広げる」などの流れで構成している。	発達のためやすに照らして、[C] [D] では、写真のイラストを部分的に使用することが可能である。 各章を「学習のねらい」「つかもう」「やってみよう」「活用して深めよう」「毎日の生活に生かそう」の順で構成している。	発達のためやすに照らして、[C] [D] では、写真やイラスト・図表についてのページを部分的に使用することが可能である。 巻頭資料「この教科書の使い方」で学習の流れや記号の意味を説明している。 「つかむ」「身に付ける・考える」「まとめる・振り返る」の順で構成している。 1 つの学習内容ごとに「学習のまとめ」として振り返りと表現・交流活動を設定している。 前半に体育編、後半に保健編を配置している。	発達のためやすに照らして、[C] [D] では、写真やイラスト・図表についてのページを部分的に使用することが可能である。 「ウォームアップ（課題の発見）」「エクササイズ（課題の解決）」「学びを生かす（学びの活用）」の順で構成している。 巻頭資料「この教科書の使い方」で学習の流れや記号の意味、「ディスカッション」「ブレインストーミング」など多様な学び方を説明している。 前半に体育編、後半に保健編を配置している。
	別表 2	巻頭で「SDGs」、「テクノロジーの進化」「情報の活用」を取り扱っている。 章末資料には、健康や安全に関する 20 のスキルがまとめてあり、実習を行う際の参考にできる。	巻頭で「スポーツは世界の言葉」「みんなをつなぐスポーツ」「オリンピック・パラリンピック」「世界で活躍する人々を支える健康」「健康と食事」「私たちの生活とスマートフォン」などについて取り扱っている。 章末資料に私たちの体（各器官や骨格や筋肉）の絵と名称が掲載されている。	各章末に学びを広げる特集資料を掲載している。 学習内容と生活の場面をつなげることができる「事例」や「コラム」などの資料を掲載している。 各章で、グラフ・表・写真・イラストを掲載している。 1 つの学習内容ごとに「課題をつかむ」として学習内容につながる気付き・問いかけ、本時の学習内容を提示している。 章の扉に、中学生の生活場面を多数掲載している。 巻頭では「オリンピック・パラリンピック」「生涯スポーツ」「共生」「SDGs」について写真を掲載している。	各章の初めに「保健体育と情報」のコーナーがあり、健康に関する情報を掲載している。 章のまとめでは「生かそう」など、生活に結びついた課題を掲載している。 学びのイメージが持てるように章の扉に、学習内容に関係した色鮮やかな写真や資料とコラムを掲載している。 ページの下の「リンク」「情報サブリ」などのコーナーで発展的に学習できるように工夫している。 巻頭では各章に関連した内容について写真を掲載している。
	別表 3・4	親しみやすいカラーのイラストや写真を掲載している。 二次元コードは、「動画」「シミュレーション」「思考ツール」「資料・図鑑」「章末問題」「ワークシート」「他教科リンク」「Web リンク」ページにリンクしている。 すべての生徒の色覚特性に適応するようにデザインされている。 見やすく読み間違いにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。 難しい漢字には読み仮名、レイアウトの飾りやイラストの背景には優しい色を使用している。 軽量な用紙を使用している。 再生紙・植物インキを使用している。	親しみやすいカラーのイラストや写真を掲載している。 各章末に、二次元コードがあり、知識の整理に役立つ「まとめの問題」があり学んだことを確認できる。 見やすく読み間違いにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。 難しい漢字には読み仮名、レイアウトの飾りやイラストの背景には優しい色を使用している。 表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工している。 環境に配慮した紙と植物油インキを使用している。	イラストや写真はシンプルに整理されている。運動の例では、細かくイラストや写真を使用している。 随所にグラフ・表・写真・イラストを解説付きで掲載している。 紙面に印刷された二次元コードからデジタルコンテンツにアクセスできるように工夫している。 カラーユニバーサルデザインとユニバーサルデザインフォントを使用している。	親しみやすいカラーのイラストや写真を掲載している。 随所に写真やグラフが解説付きで掲載している。 各時間見開き右下にある二次元コードからデジタルコンテンツにアクセスできるように工夫している。 カラーユニバーサルデザインとユニバーサルデザインフォントを使用している。
備考					

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 保健体育

別表 1

項目		「2 東書」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真やイラストについて使用することが可能である。
	D	◇写真やイラスト・図表について使用することが可能である。
(2) イ		◇巻頭資料「この教科書の使い方」で学習の流れや記号の意味を説明している。 ◇各章に「見つける」「学習課題」「課題の解決」「活用する」「広げる」などのコーナーがありめあてを明確にしている。 ◇1年～3年まで分けており、それぞれ前半に保健編、後半に体育編を配置している。

別表 2

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇巻頭で「SDGs」「テクノロジーの進化」「情報の活用」をテーマとした写真を掲載している。 ◇章末資料では、健康や安全に関する 20 のスキルがまとめられており、実習を行う際の参考にできる。
	イ	◇各章でグラフ・表・写真・イラストを掲載している。 ◇各章に学習課題があり、めあてを明確化している。
	ウ	◇学習を導くキャラクターが登場している。 ◇巻末資料では、健康や安全に関する 20 のスキルがまとめられている。

別表 3

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇親しみやすいカラーのイラストや写真を掲載している。
	イ	◇随所に写真やグラフを解説付きで掲載している。
	ウ	◇二次元コードは、関連する動画やシミュレーションなどの web ページにリンクしている。

別表 4

項目		「2 東書」
(1) (2) (3)	アイ	◇すべての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしている。
	ウエ	◇見やすく読み間違いにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。
	オ	◇軽量な用紙を使用している。 ◇再生紙・植物インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 保健体育

別表 1

項目		「4 大日本」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真やイラストについて使用することが可能である。
	D	◇写真やイラスト・図表について使用することが可能である。
(2) イ		◇巻頭資料「この教科書の使い方」で学習の流れや記号の意味を説明している。 ◇各章を「学習のねらい」「つかもう」「やってみよう」「活用して深めよう」「毎日の生活に生かそう」の順で構成している。 ◇1年～3年まで分けており、それぞれ前半に体育編、後半に保健編を配置している。

別表 2

項目		「4 大日本」
(1) (2)	ア	◇巻頭で「スポーツは世界の言葉」「みんなをつなぐスポーツ」「オリンピック・パラリンピック」「世界で活躍する人々を支える健康」「健康と食事」をテーマとした写真を掲載している。 ◇章末資料に私たちの体（各器官や骨格や筋肉）の絵と名称が掲載されている。
	イ	◇随所に写真やグラフを解説付きで掲載している。 ◇各章に学習課題があり、めあてを明確化している。
	ウ	◇巻頭で「スポーツは世界の言葉」「みんなをつなぐスポーツ」「オリンピック・パラリンピック」「世界で活躍する人々を支える健康」「健康と食事」「私たちの生活とスマートフォン」などについて取り扱っている。

別表 3

項目		「4 大日本」
(1) (2)	ア	◇親しみやすいカラーのイラストや写真を掲載している。
	イ	◇随所に写真やグラフを解説付きで掲載している。
	ウ	◇独自の web サイトにある動画や資料を使って学習することができる。

別表 4

項目		「4 大日本」
(1) (2) (3)	アイ	◇親しみやすいカラーのイラストや写真を掲載している。
	ウエ	◇見やすく読み間違いにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。
	オ	◇環境に配慮した紙と植物油インキを使用している。 ◇表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 保健体育

別表 1

項目		「50 大修館」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真やイラストについて使用することが可能である。
	D	◇写真やイラスト・図表について使用することが可能である。
(2) イ		◇巻頭資料「この教科書の使い方」で学習の流れや記号の意味を説明している。 ◇見開き2ページで1つの学習内容を提示している。 ◇前半に体育編、後半に保健編を配置している。

別表 2

項目		「50 大修館」
(1) (2)	ア	◇各章末に学びを広げる特集資料を掲載している。 ◇学習内容と生活の場面をつなげることができる「事例」や「コラム」などの資料を掲載している。
	イ	◇各章で、グラフ・表・写真・イラストを掲載している。 ◇章の扉に、中学生の生活場면을多数掲載している。
	ウ	◇巻頭では「オリンピック・パラリンピック」「生涯スポーツ」「共生」「SDGs」について写真を掲載している。 ◇学習を導くキャラクターを登場させ、分かりやすいよう工夫している。

別表 3

項目		「50 大修館」
(1) (2)	ア	◇イラストや写真はシンプルに整理されている。運動の例では、細かくイラストや写真を使用している。
	イ	◇随所にグラフ・表・写真・イラストを解説付きで掲載している。
	エ	◇各ページ下の「ほり下げる」では、本文の言葉を詳しく解説している。
	ウ	◇紙面に印刷された二次元コードから、生徒自身が学習に活用できる動画、クイズ式教材、外部リンクサイトなどデジタルコンテンツにアクセスできるように工夫している。

別表 4

項目		「50 大修館」
(1) (2) (3)	アイ	◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。
	ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。
	エ	◇難しい漢字には読み仮名をふっている。 ◇各テーマの背景には薄い色を着色している。
	オ	◇環境に配慮した紙、植物油インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 保健体育

別表 1

項目		「224 学研」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真やイラストについて使用することが可能である。
	D	◇写真やイラスト・図表について使用することが可能である。
(2) イ		◇「ウォームアップ（課題の発見）」「エクササイズ（課題の解決）」「学びを生かす（学びの活用）」の順で構成している。 ◇巻頭資料「この教科書の使い方」で学習の流れや記号の意味や「ディスカッション」「ブレインストーミング」など多様な学び方を説明している。 ◇前半に体育編、後半に保健編を配置している。

別表 2

項目		「224 学研」
(1) (2)	ア	◇各章の初めに「保健体育と情報」のコーナーがあり、健康に関する情報を掲載している。 ◇章のまとめでは「生かそう」など、生活に結び付いた課題を掲載している。
	イ	◇学びのイメージが持てるように章の扉に、学習内容に関係した色鮮やかな写真や資料とコラムを掲載している。 ◇巻頭資料「この教科書の使い方」で学習の流れや記号の意味、多様な学び方を説明している。
	ウ	◇巻頭では各章に関連した内容について写真を掲載している。 ◇学習を導くキャラクターを登場させ、分かりやすいように工夫している。

別表 3

項目		「224 学研」
(1) (2)	ア	◇親しみやすいカラーのイラストや写真を掲載している。 ◇平易かつ正確な文になるように配慮している。
	イ	◇随所に写真やグラフを解説付きで掲載している。
	ウ	◇各時間見開き右下にある二次元コードから動画、ワークシート、外部リンク、写真の解説などのコンテンツにアクセスできるように工夫している。

別表 4

項目		「224 学研」
(1) (2) (3)	アイ	◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ◇色や文字のコントラストが鮮明である。
	ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを採用している。
	エ	◇難しい漢字には読み仮名をふる配慮をしている。 ◇同じ流れで学習が始められるように、マークや配置を統一している。
	オ	◇環境に配慮した紙・インキ・印刷方式を使用している。

項目		発 行 者 名		
		2 東 書	6 教 図	9 開隆堂
使用上の留意点	別表 1	発達段階のめやすに照らして [C] [D] では、写真・絵図・解説・実習などを部分的に使用することが可能である。 各編のはじめに、「この編で学ぶこと」「技術の見方・考え方」など学習に関連する写真・絵図を掲載し、学習内容を説明している。 小单元ごとに「目標」「学習課題」「キーワード」「まとめよう」「振り返ろう」「深めよう」を、また各編の終わりに「学習のまとめ」を掲載している。 学習をガイドするマークでポイントを明示している。	発達段階のめやすに照らして [C] [D] では、写真・絵図・解説・実習などを部分的に使用することが可能である。 各編のはじめに、「この編で学ぶこと」「技術の見方・考え方」など学習に関連する写真・絵図を掲載し、学習内容を説明している。 各章のはじめに「めあて」「キーワード」「見つける」「学ぶ」「ふり返る」、各章のおわりに「～章で学んだことをまとめよう」を、また編のおわりに「～編のまとめ」を掲載している。 学習をガイドするマークでポイントを明示している。	発達段階のめやすに照らして [C] [D] では、写真・絵図・解説・実習などを部分的に使用することが可能である。 各編のはじめに、「学習の流れ」「小学校や他教科とのつながり」「編で学ぶ技術の歴史（製品の進歩）」など学習に関連する写真・絵図を掲載し、学習内容を説明している。 各小单元のはじめに「学習の目標」「学習課題」などを、また編のおわりに「学習のまとめ」を掲載している。 学習をガイドするマークでポイントを明示している。 「CHECK」により学習の振り返りを行っている。
	別表 2	写真・絵図や技術分野のガイダンス、「技術の工夫」「総合的な問題解決」などで、生活経験や興味・関心を広げることができる。 実習の手順・解説は写真や絵図を多用し、基礎技能を押さえることができる。また、「問題解決例」として「新たな問題の発見」へとつなげている。 端末を活用し、二次元コードから学習内容に関連する情報を取得できる。 挿絵の生徒の表情や吹き出しなどでナビゲートしている。	写真・絵図や技術分野のガイダンス、「技ビト」「夢をかなえる技術」などで、生活経験や興味・関心を広げることができる。 実習の手順・解説は写真や絵図を多用し、横一列に表記し、「技能チェック」を掲載している。 端末を活用し、二次元コードから学習内容に関連する情報を取得できる。 実習用別冊「スキルアシスト」があり、より詳しく技能を学べる。 挿絵の生徒の表情や吹き出しなどでナビゲートしている。	写真・絵図や技術分野のガイダンス、「豆知識」、「命を守る防災、医療・介護の技術」などで、生活経験や興味・関心を広げることができる。 実習の手順・解説は写真や絵図を多用し、手順のポイントは作業ごとに写真や絵図を横に並べて表記している。 端末を活用し、二次元コードから学習内容に関連する情報を取得できる。 挿絵の生徒の表情や吹き出しなどでナビゲートしている。
	別表 3・4	カラー挿絵や写真・絵図を随所に使用し、重要な部分を拡大し掲載している。 色覚特性に適應するようにデザインしている。 帯の色や位置を変え、側面でインデックスとしての活用が可能である。 重要単語は太文字で表記し、難しい漢字や英語表記には、ふりがなをふる配慮がある。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。 サイズは AB 判、表紙は堅ろうである。軽量の用紙を使用している。	カラー挿絵や写真・絵図を随所に使用し、重要な部分を拡大し掲載している。 編ごとに帯の色を変え、章は位置を変え、側面でインデックスとして活用することが可能である。 重要単語は太文字で表記し、難しい漢字や英語表記には、ふりがなをふる配慮がある。 ユニバーサルデザインの考え方に基づいて編集している。 サイズは A4 変型、表紙は堅ろうである。	カラー挿絵や写真・絵図を随所に使用し、重要な部分を拡大し掲載している。 カラーユニバーサル視点から、配慮し編集されている。 帯の色や位置を変え、側面でインデックスとしての活用が可能である。 単語が途中で改行されないようにすることで単語を認識しやすいようにしている。 重要単語は太文字で表記し、難しい漢字や英語表記には、ふりがなをふる配慮がある。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。 サイズは AB 判、表紙は堅ろうである。
備考		特別支援教育に関する校閲、ICTに関する校閲、色彩デザインに関する編集協力がある。 再生紙、植物油インキを使用している。	特別支援教育に関する編集協力、二次元コード制作協力がある。 再生紙、植物性インキを使用している。	特別支援教育、人権教育、色覚に関する編集協力がある。 環境に配慮した用紙やインキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 技術・家庭（技術分野）

別表 1

項目		「2 東書」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・絵図を部分的に使用することが可能である。
	D	◇写真・絵図・解説・実習などを中心に部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇各編のはじめに、見開きページで写真・絵図を掲載し、学びの内容を説明している。 ◇小単元ごとに「目標」「学習課題」「キーワード」「まとめよう」「振り返ろう」「深めよう」などを掲載している。また、各編に「学習のまとめ」を掲載している。 ◇14種の学習マークでポイントなどを明示している。

別表 2

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇各小単元に「技術の工夫」を掲載している。 ◇学習内容にかかわる人たちのメッセージ「技術の匠」を掲載している。
	イ	◇巻頭で技術分野のガイダンスを 14 ページ掲載している。 ◇「材料と加工の技術」など編ごとに問題解決例を掲載している。 ◇「TECH Lab」「問題解決」を、また、課題発見から課題解決への流れを掲載している。
	ウ	◇挿絵のキャラクターや生徒が随時登場し、問いかけやポイントを確認できる。 ◇「Society5.0 その先へ」などで技術のつながりや未来に向けての投げかけを記載している。

別表 3

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇カラー挿絵を多数掲載し、ナビゲートやポイントなどを吹き出しや囲みで表記している。
	イ	◇絵図・表・写真の説明の位置が適当である。 ◇写真など分かり易い角度で適切に掲載されている。
	ウ	◇D マーク及び二次元コードが適切に用意されている。

別表 4

項目		「2 東書」
(1) (2) (3)	ア イ	◇編ごと、各章などで色や位置を変え、側面でインデックスとして活用が可能である。 ◇全ての生徒の色覚特性に適応するデザインである。
	ウ エ	◇UD フォントを採用しており、重要単語は太字で読みやすい。 ◇本文とそれ以外の部分の書体はポイントを変更し明記している。 ◇難しい漢字、英語表記には異なった書体のふりがなをふる配慮がある。
	オ	◇AB 判サイズで、表紙は、堅ろう製本している。 ◇再生紙、生徒の負担に配慮し、軽量な用紙を使用している。 ◇植物油インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 技術・家庭（技術分野）

別表 1

項目		「6 教図」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・絵図を部分的に使用することが可能である。
	D	◇写真・絵図・解説・実習などを中心に部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇各編のはじめには、学びの説明、関連ある写真を掲載している。 ◇各章に「めあて」「キーワード」「みつける」「学ぶ」「ふり返る」などを掲載している。 ◇14種の学習マークでポイントなどを明示している。 ◇各章に「～章で学んだことをまとめよう」、編に「～編のまとめ」を掲載している。

別表 2

項目		「6 教図」
(1) (2)	ア	◇「技術（Technology）を見つけよう！」や「未来の社会を創造しよう！」を掲載している。 ◇「技ビット」「スゴ技」「先輩に聞いてみよう」「先輩からのアドバイス」を掲載している。
	イ	◇巻頭で技術分野のガイダンスを 12 ページ掲載している。 ◇各編のはじめに、見開きページで写真、絵図を掲載し、学びの内容を掲載している。 ◇「材料と加工の技術」などの題材例を編ごとに、また、「技能チェック」に掲載している。
	ウ	◇手順・解説は写真や絵図を多用し、横一列に並べて表記している。 ◇挿絵の生徒などが随時登場し、吹き出しによる問いかけやポイントを確認できる。

別表 3

項目		「6 教図」
(1) (2)	ア	◇カラー挿絵を多数掲載し、ナビゲートやポイントなどを吹き出しや囲みで表記している。
	イ	◇絵図・表・写真の説明の位置が適当であり、重要な部分を大きく掲載している。 ◇別冊「スキルアシスト」で行程・手順など実習に対応している。
	ウ	◇二次元コードが適切に用意されている。

別表 4

項目		「6 教図」
(1) (2) (3)	ア イ	◇ユニバーサルデザインの考え方に基づいて編集している。 ◇編ごと、各章などで色や位置を変え、側面でインデックスとして活用が可能である。
	ウ エ	◇UD フォントを採用しており、重要単語は太字で読みやすい。 ◇本文とそれ以外の部分の書体はポイントを変更し明記している。 ◇難しい漢字、英語表記には異なった書体のふりがなをふる配慮がある。
	オ	◇A4 変型判サイズであり、表紙は、堅ろう製本している。 ◇再生紙、生徒の負担に配慮し、軽量な用紙を使用している。 ◇植物性インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 技術・家庭（技術分野）

別表 1

項目		「9 開隆堂」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・絵図を部分的に使用することが可能である。
	D	◇写真・絵図・解説・実習などを中心に部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇各編のはじめに、「学習の流れ」などと学習内容に関連のある写真などを掲載している。 ◇小単元に、「学習の目標」「学習課題」などを、各編に「学習のまとめ」を掲載している。 ◇15種の学習マークでポイントなどを明示している。

別表 2

項目		「9 開隆堂」
(1) (2)	ア	◇巻頭に「命を守る防災・医療・介護の技術」などを、巻中に「豆知識」を掲載している。 ◇見開き右上に内容に関係した工具や部品などを紹介している。
	イ	◇巻頭で技術分野のガイダンスを19ページ掲載している。 ◇各編のはじめに、見開きページで写真、絵図を掲載し、学びの内容を掲載している。 ◇「材料と加工の技術」など編ごとに実習例を掲載している。
	ウ	◇挿絵のキャラクターや生徒が随時登場し、問いかけやポイントを確認できる。 ◇二次元コードを記載している。

別表 3

項目		「9 開隆堂」
(1) (2)	ア	◇カラー挿絵を多数掲載している。 ◇ナビゲートやポイントなどを吹き出しや囲みで表記している。
	イ	◇絵図・表・写真の説明の位置が適当である。 ◇実習や技能の説明写真は重要な部分を大きく掲載している。 ◇参考資料を文字色マークで表示、掲載している。
	ウ	◇奇数ページ右上に二次元コードが適切に用意されている。

別表 4

項目		「9 開隆堂」
(1) (2) (3)	ア	◇編ごと、各章などで色や位置を変え、側面でインデックスとして活用が可能である。
	イ	◇カラーユニバーサルデザインの視点からの配慮をしている。
	ウ	◇UDフォントを採用しており、重要単語は太字で読みやすい。
	エ	◇本文とそれ以外の部分の書体はポイントを変更し明記している。
(3)	オ	◇難しい漢字、英語表記には異なった書体のふりがなをふる配慮がある。
		◇AB判サイズであり、表紙は、堅ろう製本している。 ◇再生紙、生徒の負担に配慮し軽量な用紙を使用し、植物性インキを使用している。

教科・種目名 技術・家庭（家庭分野）

項目		発 行 者 名		
		2 東書	6 教図	9 開隆堂
使用上の留意点	別表 1	発達のためやすに照らして[C][D]では、写真や絵図・解説・実習などを部分的に使用することができる。 巻頭に「家庭分野のガイダンス」を設け、学習内容の見通しが持てるように配慮している。 「レッツスタート」「本文」「活動」「生活に活かそう（まとめの活動）」のパターンで構成し、授業の流れがとらえやすいように配慮している。 学習をガイドするマークを使用し、扱っている内容を視覚的に理解できるように配慮している。	発達のためやすに照らして[C][D]では、写真や絵図・解説・実習などを部分的に使用することができる。 巻頭に「ガイダンス」を設け、学習内容の見通しが持てるように配慮している。 「見つめる」「見つめてみよう」「学ぶ」「ふり返る」のパターンで構成し、授業の流れがとらえやすいように配慮している。 学習をガイドするマークを使用し、扱っている内容を視覚的に理解できるように配慮している。	発達のためやすに照らして[C][D]では、写真や絵図・解説・実習などを部分的に使用することができる。 巻頭に「ガイダンス」を設け、学習内容の見通しが持てるように配慮している。 学習をガイドするマークやピクトグラムを使用し、扱っている内容を視覚的に理解できるように配慮している。
	別表 2	「家庭分野のガイダンス」の中の「自分の生活チェック」や学習ページの「生活に生かそう」、巻末の「家庭分野の学習を終えて」「学んだことを社会に生かす」を活用し、生活経験や興味・関心などを広げることができる。 巻頭の思考ツールの活用についての説明や、「レッツスタート」などで活用できる思考ツールのデジタル教材を掲載し、生徒の思考力・判断力・表現力を育むための配慮をしている。	巻頭の「年中行事と私たちの暮らしのつながり」や「自分の成長と人とのつながり」、学習ページの「見つめる」を活用し、生活経験や興味・関心などを広げることができる。 「センパイに聞こう！」で家庭分野に関わる職業のインタビューを掲載し、将来の職業や生活の参考になるように配慮している。 「見つめてみよう」で導入の活動を示し、思考力・判断力・表現力を育むための配慮をしている。	「先輩からのエール」「地域の取り組み」「中学生の取り組み」を活用し、生活経験や興味・関心を広げることができる。 学習ページの始めに身近なことから考えられる課題を掲載し、興味・関心が持てるように配慮している。 「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」などの活動や、学習の自己評価ができる「学習のまとめ」を掲載し、思考力・判断力・表現力を育むための配慮をしている。
	別表 3・4	カラー挿絵を随所に使用し、絵図表などには文章による説明を付けている。 大きく鮮明な写真を多数使用している。 本文中の重要語句は太字表記、難しい漢字には丸ゴシック体でふりがなを付ける配慮がある。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。 サイズは AB 判、製本は堅ろうである。 前回より約 3%軽量化している。 再生紙・植物油インキを使用し、製本には針金を使用していない。	カラー挿絵を随所に使用し、絵図表などには文章による説明を付けている。 カラーユニバーサルデザインの視点から紙面の配色に配慮している。 本文中の重要語句は青色の太文字、中学校以降で学ぶ漢字にはふりがなを付ける配慮がある。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。 サイズは A4 変型判である。 製本は堅ろうで、表紙は防水加工である。	カラー挿絵を随所に使用し、絵図表などには文章による説明を付けている。 カラーユニバーサルデザインの視点から紙面の配色に配慮している。 本文中の重要語句は太文字表記、中学校で習う漢字にはふりがなを付ける配慮がある。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。 サイズは AB 判、製本は堅ろうで、表紙は水に強い加工である。 再生紙・植物油インキを使用している。
備考		特別支援教育に関する校閲や色彩デザインに関する専門家の編集協力がある。	植物油インキ・環境に配慮した接着剤を使用している。	特別支援教育、人権教育、色覚に関する編集協力がある。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料）技術・家庭（家庭分野）

別表 1

項目		「2 東書」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・絵図を部分的に使用することができる。
	D	◇写真・絵図・解説・実習を部分的に使用することができる。
(2) イ		◇8 ページの「ガイドンス」を掲載している。 ◇「見つめる」「見つめてみよう」「学ぶ」「ふり返る」のパターンで学習を構成している。 ◇マークによって学習内容を示している。

別表 2

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇「プロに聞く！」で学習内容に関わる職業に就く人のメッセージや動画を掲載している。 ◇巻末資料として「防災・減災手帳」「SDGs 私たちがつくる未来」のデジタル教材がある。
	イ	◇編の始めに見開きページで写真・絵図を掲載して学習内容への興味・関心を高めている。 ◇「レッツスタート」で学習の始めに取り組める活動を掲載している。 ◇調理実習例 61 種を掲載している。 ◇製作実習例 36 種を掲載している。
	ウ	◇自らを振り返ることができる「自分の生活チェック」を掲載している。 ◇マスコットキャラクターや中学生の挿絵の台詞によって学習をナビゲートしている。

別表 3

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇カラー挿絵を多数掲載している。
	イ	◇図表・写真の説明の位置が適当である。 ◇写真が大きく鮮明で、実物大の写真を掲載している箇所がある。
	ウ	◇動画などの二次元コードが掲載されている。

別表 4

項目		「2 東書」
(1) (2) (3)	ア	◇編ごとに見出しなどの色を変えてあり、側面でインデックスとして活用できる。
	イ	◇カラーユニバーサルデザインに基づいて配色している。
	ウ	◇本文中の重要語句は太ゴシックで表記している。
	エ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用し、本文とそれ以外のフォントを区別している。
(3)	オ	◇AB 判サイズである。 ◇環境に配慮した用紙やインクを使用し、製本には針金を使用していない。 ◇堅ろうに製本されている。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料）技術・家庭（家庭分野）

別表 1

項目		「6 教図」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・絵図を部分的に使用することができる。
	D	◇写真・絵図・解説・実習を部分的に使用することができる。
(2) イ		◇8 ページの「ガイドンス」を掲載している。 ◇「見つめる」「見つめてみよう」「学ぶ」「ふり返る」のパターンで学習を構成している。 ◇マークによって学習内容を示している。

別表 2

項目		「6 教図」
(1) (2)	ア	◇巻頭の「年中行事と私たちの暮らしのつながり」で年中行事を掲載している。 ◇「センパイに聞こう！」で家庭分野に関わる職業のインタビューを掲載している。
	イ	◇「見つめてみよう」で導入の活動を示している。 ◇調理実習例 44 種を掲載している。 ◇製作実習例 7 種を掲載している。
	ウ	◇「見つめる」で実生活での場面を取り上げている。 ◇マスコットキャラクターや中学生の挿絵の台詞によって学習をナビゲートしている。

別表 3

項目		「6 教図」
(1) (2)	ア	◇カラー挿絵を多数掲載している。
	イ	◇図表・写真の説明の位置が適当である。 ◇原寸大に近い写真を掲載している箇所がある。
	ウ	◇動画やデジタル教材の二次元コードを説明付きで掲載している。

別表 4

項目		「6 教図」
(1) (2) (3)	ア	◇編ごとに見出しなどの色を変えてあり、側面でインデックスとして活用できる。
	イ	◇カラーユニバーサルデザインに基づいて配色している。
	ウ	◇本文中の重要語句は青色の太ゴシックで表記している。
	エ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用し、本文とそれ以外のフォントを区別している。
(3)	オ	◇A4 変型判サイズである。 ◇環境に配慮したインクや接着剤を使用している。 ◇表紙は防水加工され、堅ろうに製本されている。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料）技術・家庭（家庭分野）

別表 1

項目		「9 開隆堂」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・絵図を部分的に使用することができる。
	D	◇写真・絵図・解説・実習を部分的に使用することができる。
(2) イ		◇14 ページのガイダンスを掲載している。 ◇マークやピクトグラムによって学習内容を示している。

別表 2

項目		「9 開隆堂」
(1) (2)	ア	◇「先輩からのエール」「地域の取り組み」「中学生の取り組み」で家庭分野に関わる職業や地域、中学生の取組を掲載している。
	イ	◇メジャーリーグで活躍する日本人選手など現代的な話題を掲載している。 ◇学習ページの始めに身近なことから考えられる課題を掲載している。 ◇調理実習例 43 種を掲載している。 ◇製作実習例 11 種を掲載している。
	ウ	◇「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」などの活動を掲載している。 ◇学習の自己評価ができる「学習のまとめ」を掲載している。 ◇マスコットキャラクターや中学生の挿絵の台詞によって学習をナビゲートしている。

別表 3

項目		「9 開隆堂」
(1) (2)	ア	◇カラー挿絵を多数掲載している。
	イ	◇図表・写真の説明の位置が適当である。 ◇実物大の写真を掲載している箇所がある。
	ウ	◇動画などの二次元コードが掲載されている。

別表 4

項目		「9 開隆堂」
(1) (2) (3)	ア	◇編ごとに見出しなどの色を変えてあり、側面でインデックスとして活用できる。
	イ	◇カラーユニバーサルデザインに基づいて配色している。
	ウ エ	◇本文中の重要語句は太ゴシックで表記している。 ◇ユニバーサルデザインフォントを使用し、本文とそれ以外のフォントを区別している。
	オ	◇AB 判サイズである。 ◇生徒の負担を配慮して軽量の紙を使用している。 ◇環境に配慮した用紙やインクを使用している。 ◇表紙は水に強い加工がされ、堅ろうに製本されている。

項目		発 行 者 名			
		2 東書	9 開隆堂	1 5 三省堂	1 7 教出
使用上の留意点	別表 1	発達段階のめやすに照らして、[C][D]ではイラストや写真、アルファベット、歌などを部分的に使用することが可能である。 活動をロゴマークと色で区別し、基本学習は見出しと同じ色で示している。 1 年の初めに小学校の振り返りのための内容を取り入れている。また、書き込みしやすいよう野線を掲載したり、単語のアクセントの位置をマークで記したりしている。 1 ページ当たり 1 時間を基本としている。	発達段階のめやすに照らして[C][D]ではイラストや写真、アルファベット、歌等を部分的に使用することが可能である。 書くことが苦手な生徒でも二次元コードを読み取り、学習することができる。（音声、動画など幅広い）」 基本的には、見開きのページで授業内容が完結している。	発達段階のめやすに照らして[C][D]ではイラストや写真、アルファベット、歌等を部分的に使用することが可能である。 書くことが苦手な生徒でも二次元コードを読み取り、学習することができる。（音声、アニメーションで誰が話しているかも分かる。） イラストを効果的に使ってその時の様子や状態を表している。 英文の中に、「間を入れる」「つなげて言う」などポイントが書かれている。	発達段階のめやすに照らして[C][D]ではイラストや写真、アルファベット、歌等を部分的に使用することが可能である。 書くことが苦手な生徒でも二次元コードを読み取り、学習することができる。（音声のみ） 基本的には、見開きのページで学習内容が完結している。
	別表 2	病院の受診時やレストランでの注文など、日常生活の場面を取り扱っている。 1 年の巻末に切り取りできる語順カードがあり、ゲーム感覚で学習できるよう工夫している。 目的、場面、状況を意識してコミュニケーション活動ができるよう工夫されている。	日本や世界の歴史、食文化、生き物、スポーツ、最先端技術など、実際の写真やイラストを使い、時代に合わせた内容を取り扱っている。 現代の問題事象（環境破壊）と照らし合わせた内容を扱っている。 基本的な内容をおさえた後に、その知識を使って思考力、表現力を高める課題設定がある。	日本や世界の歴史、食文化、生き物、スポーツ、最先端技術など、実際の写真やイラストを使い、時代に合わせた内容を取り扱っている。 「話し合い」という部分で、学んだ文法を使って意見を述べたり良かった点を話し合ったりする活動が多い。	日本や世界の歴史、食文化、生き物、スポーツ、最先端技術など、実際の写真やイラストを使い、時代に合わせた内容を取り扱っている。 基本的な内容をおさえた後に、その知識を使って思考力、表現力を高める課題設定がある。
	別表 3・4	学習内容に関連した写真やイラストを各単元に掲載している。 巻末の資料編ではローマ字の書き方、発音の仕方、身の回りの英語表現をイラスト付きで解説している。 デジタルコンテンツが豊富であり、紙面に印刷された二次元コードから、音声、映像などを視聴することができる。 配色、デザインを色覚特性に配慮し、ユニバーサルデザインフォントを採用している。 活動内容を記号で示している。 文構造の要素を色分けして示している。	リアルな写真、子どもが興味をもちやすい最近のイラストを使用しており、興味や関心を抱きやすい。 デジタルコンテンツが豊富であり、紙面に印刷された二次元コードから、音声、映像などを視聴することができる。 ユニバーサルデザインフォントである。 文章や紙面の配置も工夫されている。	挿絵が多く、状況や状態が分かりやすい。 デジタルコンテンツが豊富であり、紙面に印刷された二次元コードから、音声、アニメーションなどを視聴することができる。 色覚特性に配慮した編集がされている。 ユニバーサルデザインフォントである。	デジタルコンテンツが豊富であり、紙面に印刷された二次元コードから、音声、動画などを視聴することができる。 ユニバーサルデザインフォントである。 目次に英語に加え、日本語での内容表記がある。
備考					

項目		発 行 者 名	
		3 8 光村	6 1 啓林館
使用上の留意点	別表 1	発達段階のめやすに照らして、[C][D]ではイラストや写真、アルファベット、イラスト入りの単語、聞き取り、会話文や基本練習などを部分的に使用することが可能である。 1 年の初めに小学校の振り返りのための内容を取り入れており、書き込みしやすいよう罫線を掲載したり、単語のアクセントの位置をマークで記したりしている。	発達段階のめやすに照らして、[C][D]ではイラストや写真、アルファベット、歌などを部分的に使用することが可能である。 1 年の初めに小学校の振り返りのための内容を取り入れており、書き込みしやすいよう罫線を掲載したり、単語のアクセントの位置をマークで記したりしている。 学習の 1 単位を見開き構成とし、巻末に各学年で学習した単語をイラスト付きで掲載している。
	別表 2	店での注文、道案内を取り上げ、実生活での使用場面や、防災、福祉、環境保護・生物多様性、外国の読み物を取り上げている。 各学年の巻末の「英語の学び方ガイド」では、学年に応じた学習方法を掲載している。 中学生のキャラクターを設定し、出来事などを自分ごととして考え、表現できるよう工夫している。	日常的な場面の会話の聞き取りから、社会的な話題の聞き取りへと展開している。 日本の伝統・文化や、外国の文化との比較、環境や防災、キャリアなど、様々な今日的課題を取り上げている。 「英語の学び方」では、語彙、音声、表現の観点から各学年に応じた学び方のコツを掲載している。 読み物教材の新出語句には、日本語の意味を記載している。
	別表 3・4	写真やイラストを豊富に掲載し、色彩も鮮やかである。 デジタルコンテンツが豊富であり、音声、映像などを視聴することができる。また、写真カードを話の順に並び替えるデジタルコンテンツがある。 印刷は鮮明であり、ユニバーサルデザインフォントや配色などを色覚特性に配慮している。 各単元の紙面構成を統一し、同じ種類の情報を決まった位置に配置している。 中学校の配当漢字にはすべて読み仮名があり、重要箇所が太い線で囲われている。	挿絵が豊富で親しみやすく、掲載されている図表、写真なども適切である。 デジタルコンテンツが豊富であり、本文の音声再生、映像、アニメーション動画があり、速度の調整や字幕表示の有無などの調整が可能である。 印刷は鮮明であり、メディアユニバーサルデザインの観点から配色、デザイン、字体を配慮している。 重要語句は太字で示し、活動内容を記号で示している。
備考			

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 英語

別表 1

項目	「2 東書」	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇イラストや写真、アルファベット、イラスト入りの単語、歌、聞き取りなどを部分的に使用することが可能である。
	D	◇イラストや写真、アルファベット、イラスト入りの単語、歌、聞き取り、会話文や基本練習などを部分的に使用することが可能である。デジタルコンテンツのアニメ動画での単語の聞き取りなどが可能である。
(2) イ	◇1年は、新出単語などのアクセントの位置をマークで記している。 ◇1年は、4線英語罫付きの書き込み欄や単語の穴埋めがある。 ◇1ページあたり1時間を基本とし、見通しが持てるよう工夫している。	

別表 2

項目	「2 東書」	
(1) (2)	ア	◇小単元では、病院の受診時やレストランでの注文など、日常生活の場面を取り扱っている。
	イ	◇小単元では、実生活に即した場面設定を行い、目的や場面に合わせて伝えたい意欲を引き出す工夫がある。 ◇1年の巻末に切り取りできる語順カードがあり、ゲーム感覚で学習できるよう工夫している。また、紙とデジタル両方での学習が可能である。 ◇「Key Sentences」解説動画があり、自発的に学ぶことができるよう工夫している。
	ウ	◇各学年の巻頭に、「学び方コーナー」を設け、英語学習のコツをまとめている。 ◇「開く」「やり取り」「書く」領域に合わせた活動（課題）を随所に設定し、目的、場面、状況を意識してコミュニケーション活動ができるよう工夫している。

別表 3

項目	「2 東書」	
(1) (2)	ア	◇ほとんどのページにカラー写真やイラストを掲載している。
	イ	◇学習内容に関連した写真やイラストを各ユニットに掲載している。 ◇巻末の資料編にはローマ字の書き方、発音の仕方、身の回りの英語表現をイラスト付きで解説している。
	ウ	◇デジタルコンテンツが豊富であり、音声再生速度は4段階で調整が可能である。 ◇動画は8段階で速度調整が可能であり、字幕表示の選択もでき、自分のペースに合わせて学習できるよう工夫している。

別表 4

項目	「2 東書」	
(1) (2) (3)	ア	◇印刷は鮮明である。
	イ	◇カラーユニバーサルデザインの観点から配色、デザインを配慮している。
	ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを採用している。
	エ	◇活動内容を記号で示している。
オ		◇文構造の要素を色分けして示している。
		◇再生紙、植物油インキを使用している。 ◇A4判であり、表紙は堅ろうである。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 英語

別表 1

項目	「9 開隆堂」	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇アルファベット、聞き取りなどを使って英単語や文法の習得に使用することが可能である。
	D	◇アルファベット、イラストや写真、聞き取りなどを部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇1年の段階で、単語の書き方や英文の書き方の注意すべきポイントが丁寧に書かれている。 ◇書くことが苦手であっても、二次元コードを読めば音声で英語の学習ができる。また、動画で実際の様子を見ることができる。	

別表 2

項目	「9 開隆堂」	
(1) (2)	ア	◇身の回りのことを紹介することから始まり、相手とのやり取りへと段階を踏んで設定し、実生活につながるよう工夫されている。
	イ	◇社会の問題や現代の話を中心に、今世界で起こっている問題についても取り上げて関心を持たせてどのようにすれば良いか考えるきっかけを作っている。
	ウ	◇基本的な文法を学習した後に、その知識を使って思考したり表現したりする課題がある。

別表 3

項目	「9 開隆堂」	
(1) (2)	ア	◇実際の絵や写真を使うことで、表情やその場の状況を把握し、英語と照らし合わせて学習することができる。
	イ	◇動物や世界の状況の説明では、具体的な写真が多く、イメージしやすいよう工夫されている。
	ウ	◇多くのページで二次元コードがあり、音声を聴いたり動画で学習したりすることができる。

別表 4

項目	「9 開隆堂」	
(1) (2) (3)	ア	◇色の配色も見やすくなっている。
	イ	
	ウ	◇重要な部分は赤字にしたり色を使ったりして見やすくなっている。
	エ	
オ		◇A4判で、行間は見やすい。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 英語

別表 1

項目		「15 三省堂」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇アルファベット、聞き取りなどを使って英単語や文法の習得に使用することが可能である。
	D	◇アルファベット、イラストや写真、聞き取りなどを部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇二次元コードを読み取り、音声やアニメーションを活用することで、会話が理解しやすい。

別表 2

項目		「15 三省堂」
(1) (2)	ア	◇イラストや写真の登場人物は、外国の人が多く、より英語を身近に感じやすい作りになっている。
	イ	◇海外の文化を紹介する教材が多く、海外の人がどのような文化を持っているかを英語の学習を通して感じることができる。
	ウ	◇随所の「話し合い」という部分で、学んだ文法を使って意見を述べたり良かった点を話し合ったりする活動が多く、思考力や表現力を鍛えることができる。

別表 3

項目		「15 三省堂」
(1) (2)	ア	◇挿絵が効果的に使われている。
	イ	◇登場する人物が外国の人が多く、英語を身近に感じることができる。
	ウ	◇二次元コードを読み取り、音声やアニメーションを活用することで、本文の内容をイメージしやすくなるよう工夫している。

別表 4

項目		「15 三省堂」
(1) (2) (3)	アイ	◇色の配色も見やすくなっている。
	ウエ	◇重要な部分は赤字にしたり色を使ったりして見やすくなっている。
	オ	◇A4 判で、行間は見やすい。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料） 英語

別表 1

項目		「17 教育出版」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇アルファベット、聞き取りなどを使って英単語や文法の習得に使用することが可能である。
	D	◇アルファベット、イラストや写真、聞き取りなどを部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇二次元コードを読めば音声で英語の学習ができる。 ◇アルファベットの太文字、小文字を教科書の手本をなぞって練習することができる。

別表 2

項目		「17 教育出版」
(1) (2)	ア	◇著名な人の生き方を取り上げ、自分の生き方に照らし合わせて考えたり表現したりすることで、これからの生き方について考えるきっかけ作りにつながるよう工夫されている。
	イ	◇社会の問題や現代の話を中心に、今世界で起きている問題についても取り上げて関心を高め、どのようにすれば良いかを考えるきっかけ作りにつながるよう工夫されている。
	ウ	◇基本的な文法を学習した後に、その知識を使って思考したり表現したりする課題がある。

別表 3

項目		「17 教育出版」
(1) (2)	ア	◇挿絵のデザインは多岐に渡ってその状況に合ったものを使用している。
	イ	◇図表、写真などは適切である。
	ウ	◇「まなびリンク」では、学習者用端末の使い方や感染症対策についての説明イラストが掲載されている。

別表 4

項目		「17 教育出版」
(1) (2) (3)	アイ	◇世界の事件や出来事の写真は鮮明に印刷されており、本文の内容が理解しやすい。
	ウエ	◇重要な部分は赤字にしたり色を使ったりして見やすくなっている。
	オ	◇AB 判であり、持ち運びしやすい。

別表 1

項目		「38 光村」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇イラストや写真、アルファベット、イラスト入りの単語、聞き取りなどを部分的に使用することが可能である。
	D	◇イラストや写真、アルファベット、イラスト入りの単語、聞き取り、会話文や基本練習などを部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇1年は、小学校で学習した表現や文型など、基本的な表現を繰り返している。 ◇1年では、アルファベットを文字とイラスト入りの単語とともに導入し、巻頭は、小学校で学習した内容を取り入れ、新出単語などのアクセントの位置をマークで記している。 ◇1年の練習欄は4線英語罫付きであり、一部なぞり書きができるように工夫している。 ◇1年は単元3まで、手書き体フォントを用い、また、漫画のようなレイアウトで読むことへの負担を軽減する配慮がある。 ◇1年は、単元扉を見開き2ページで構成している。2、3年は1ページで構成している。

別表 2

項目		「38 光村」
(1) (2)	ア	◇題材に注文、道案内を取り上げ、実生活での使用場面や、イベントのチラシなど生活場면을想定した内容を取り上げている。
	イ	◇題材に、防災、福祉、環境保護・生物多様性、外国の読み物など、様々な内容を幅広く取り上げている。 ◇「World Tour」では、世界で活躍する同世代の人物を全学年で紹介し、興味・関心を高める工夫がある。
	ウ	◇各学年の巻末の「英語の学び方ガイド」では、学年に応じた学習方法が掲載されている。 ◇各学年の巻末の「Let's Read」では、多様な話題に触れて、読むことによって深く考えられるような内容を取り上げている。 ◇各学年の巻末に、「You Can Do It!」が掲載されており、学校紹介や地域のPRなど、主体的に取り組めるような工夫がある。 ◇中学生のキャラクターを設定したストーリーを掲載し、出来事などを自分ごととして考え、表現できるよう工夫している。

別表 3

項目		「38 光村」
(1) (2)	ア	◇写真やイラストを豊富に掲載しており、色彩も鮮やかである。
	イ	◇各ユニットの扉に、内容に関連した写真やイラストを掲載している。 ◇活動内容を記号と英語で表示している。
	ウ	◇デジタルコンテンツが豊富であり、音声教材は、再生速度を6段階で調整可能である。 ◇動画教材は、6段階で速度調整が可能であり、字幕表示の選択ができる。 ◇各単元の扉では、音声教材の他に、スライドアニメか実写ドラマを選択でき、本文の内容の理解を促す工夫がある。 ◇状況を理解できるよう、イラストアニメやドラマ映像、また、ストーリーに合わせて、ピクチャーカードを並べ替えるデジタルコンテンツがある。

別表 4

項目		「38 光村」
(1) (2) (3)	アイ	◇印刷は鮮明である。 ◇カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点から専門家の校閲を実施している。 ◇色覚特性に配慮し、主語と動詞を色だけでなく、形でも識別できるよう配慮している。
	ウエ	◇吹き出しなどの日本語の文字には、ユニバーサルデザインを採用している。 ◇各単元の紙面構成を統一している。同じ種類の情報を決まった位置に配置し、見やすいよう配慮している。 ◇中学校の配当漢字にはすべて読み仮名をふる配慮がある。 ◇重要箇所は太い線で囲ってある。
	オ	◇環境に配慮した紙、植物油インクを使用している。 ◇AB判、表紙は堅ろうである。

別表 1

項目		「61 啓林館」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇イラストや写真、アルファベット、イラスト入りの単語、歌、聞き取りなど、部分的に使用が可能である。
	D	◇イラストや写真、アルファベット、イラスト入りの単語、歌、聞き取り、会話文や基本練習など、部分的に使用が可能である。
(2) イ		◇1年書き込み欄は4線英語罫を掲載している。 ◇1年は、新出単語などのアクセントの位置をマークで記している。 ◇1年は、アルファベットは文字とイラスト入りの単語とともに導入し、ユニットの1～5は、小学校で学習した内容を取り入れている。 ◇巻末には、各学年で学習した単語をイラスト付きで掲載している。 ◇学習単元の各パートは、1単位を見開きで構成している。

別表 2

項目		「61 啓林館」
(1) (2)	ア	◇日常的な場面の会話の聞き取りから、社会的な話題の聞き取りへと展開するなど、実生活に即した内容を扱っている。
	イ	◇題材に、日本の伝統・文化や文化の比較など、知りたい気持ちを引き出す工夫がある。 ◇環境や防災、キャリアなど、様々な今日の課題を題材にし、興味・関心を高める工夫がある。
	ウ	◇「英語の学び方」では、語彙、音声、表現の観点から自主的に学習できるよう各学年に応じた学び方のコツを掲載している。 ◇読み物教材の新出語句には日本語の意味を記載している。

別表 3

項目		「61 啓林館」
(1) (2)	ア	◇挿絵が豊富で親しみやすく、色彩豊かである。
	イ	◇図表、写真などは適切である。 ◇巻頭には、関連する国とユニットが写真で掲載されている。
	ウ	◇デジタルコンテンツが豊富であり、アニメーションやスライドショーの映像を見ることでより理解を深めることができる。 ◇デジタルコンテンツの本文の再生では、本文のフォントの大きさを調整できる。 ◇デジタルコンテンツのアニメーション動画では、再生速度の調整や字幕表示を選択できる。 字幕については、フォントの種類、大きさ、色、背景色を選択できる。 ◇デジタルコンテンツの単語再生では、マスク機能で意味を隠すことができ、自主学习にも役立つ。

別表 4

項目		「61 啓林館」
(1) (2) (3)	アイ	◇印刷は鮮明である。 ◇個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすいメディアユニバーサルデザインの観点から配色、デザインを配慮している。 ◇読みやすいよう余白、行間スペースに配慮している。
	ウエ	◇1年は、欧文フォントでユニバーサルデザインフォントを使用している。 ◇重要語句は太字で示している。 ◇活動内容を記号で示している。
	オ	◇再生紙、植物油インクを使用している。 ◇A4判であり、表紙は堅ろうである。 ◇書き込みやすく、消しやすい軽量で丈夫な用紙を使用している。

項目		発 行 者 名			
		2 東書	1 7 教出	3 8 光村	1 1 6 日文
使用上の留意点	別表 1	発達段階のめやすに照らして[C]では挿絵や写真が多いものを中心に、[D]では興味・関心に合わせて部分的に使用することができる。 巻頭に学習の流れについて説明するページを設け、学習の見通しが持てるように配慮している。 四つの視点を表すピクトグラムを使用し、教材の内容を視覚的に理解しやすくしている。 あらすじの 4 コママンガなどを掲載し、教材の読み取りが困難な生徒に配慮している。 難しい言葉に脚注を付けている。	発達段階のめやすに照らして[C]では挿絵や写真が多いものを中心に、[D]では興味・関心に合わせて部分的に使用することができる。 学習の流れをパターン化し、学習の見通しが持てるように配慮している。 四つの視点を表すピクトグラムを使用し、教材の内容を視覚的に理解しやすくしている。 キャラクターの吹き出しなどを文節改行で表記し、言葉のまとまりを捉えやすくする配慮がある。 難しい言葉に脚注を付けている。	発達段階のめやすに照らして[C]では挿絵や写真が多いものを中心に、[D]では、興味・関心に合わせて部分的に使用することができる。 イメージを豊かに広げる挿絵・写真を適所に配している。 教材とコラムを適切に配し、自ら学びに向かう構成にしている。 ふりがなを振る配慮をしている。 教材の先頭ページに二次元コードを置き、参考資料（動画など）が入手できるように工夫している。 内容項目を、教材冒頭右端に提示している。	発達段階のめやすに照らして[C]では挿絵や写真が多いものを中心に、[D]では、興味・関心に合わせて部分的に使用することができる。 別冊の「道徳ノート」には教材ごとに自己評価欄があり、学習の振り返りができるように工夫している。 各教材の題目の下に、登場人物について顔写真又はイラストと名前を示し、分かり易くなるように配慮している。 教材の先頭ページに二次元コードを置き、参考資料（画像・動画・クイズなど）が入手できるように工夫している。 内容項目（マーク）、学びのキーワードを、教材冒頭右端に提示している。
	別表 2	学校生活やスマホの使い方などの教材を取り入れ、実生活に結び付けて考えられるように工夫している。 短いマンガやスポーツ選手などの話題を取り入れ、興味・関心を抱かせる工夫がある。 教材の文末に「考えよう」「見つめよう」の設問を置き、考えを深められるように工夫している。 教材の後に「プラス」というコラムを設け、学習内容を広げる工夫がある。	学校生活や SNS などの教材を取り入れ、実生活に結び付けて考えられるように工夫している。 オリンピック、パラリンピックで活躍する人などの話題を取り入れ、興味・関心を抱かせる工夫がある。 教材の文末に「学びの道しるべ」の設問を置き、考えを深められるように工夫している。 「ひろば」というコラムを設け、学習内容を広げる工夫がある。	22 のキーワードに分け、発達段階に沿った多様な題材を扱っている。 分野別や等身大また、マンガ形式など幅広い対応に配慮している。 「考えよう」「見方を変えて」「つなげよう」を表示しテーマから深まりへとつなげている。 「今日の『てつがく』」では、グループでの対話による協働的な学びの実現に配慮している。 ウェルビーイングの視点を取り入れている。	各教材の最後に「考えてみよう」「自分にプラス 1」という項目で振り返りを促し、実生活へと試行できるように工夫している。 興味・関心を持ちやすいよう、時代を切り拓いてきた先人たち、「いま」を生きる人たちについての教材を多く取り入れている。 「人間の生き方」について考えを深めるよう配慮している。 コラムを掲載し、他教科や他活動、自主学習でも横断的に活用できるよう配慮している。
	別表 3・4	カラーユニバーサルデザインの観点から色覚特性に配慮した配色をしている。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。 軽量で丈夫な用紙を使用している。 AB 判、製本は強力な接着剤を使用して堅ろうである。	カラーユニバーサルデザインの観点から、判別しやすい配色や表現をしている。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。 軽量で丈夫な用紙を使用し、表紙は光沢度と強度を高める加工や抗菌加工をしている。 B5 判、製本は堅ろうである。	挿絵は、淡い色彩である。 写真は、大きめであり、キャプションを適切に付けている。 説明・題名・本文と内容によりフォントを分けている。 ユニバーサルデザインフォントを採用している。 色数を押さえ色覚特性を持つ生徒に配慮している。 B5 変型判、表紙は堅ろうである。	挿絵や写真を多く掲載している。 目次は色やテーマによって分かり易く表示している。 カラーユニバーサルデザイン及びユニバーサルフォントを採用している。 B5 判、表紙は堅ろうである。
備考		特別支援教育に関する校閲と色彩デザインに関する編集協力がある。 再生紙や植物油インキを使用している。	特別支援教育に関する監修を受けている。 カラーユニバーサルデザイン専門機関の審査を受け、認証マークを取得している。 再生紙や植物油インキを使用している。	特別支援教育、人権教育、外国人児童生徒など教育、情報モラル、防災教育、カラーUD、学習のUDに関する校閲編集協力がある。 環境に配慮した紙、植物油インキを使用している。	特別支援教育、人権教育、法教育、情報モラル、防災・安全教育、カラーUDに関する校閲編集協力がある。 環境に配慮した再生紙、植物油インキを使用している。

項目		発 行 者 名		
		2 2 4 学研	2 3 2 あか図	2 3 3 日科
使用上の留意点	別表 1	発達段階のめやすに照らして[C]では挿絵や写真が多いものを中心に、[D]では、興味・関心に合わせて部分的に使用することができる。 本冊の巻末に「学びの記録」のページがあり、各学期の振り返りができるように工夫している。 適宜、二次元コードを置き、参考資料（画像・動画・音源など）が入手できるように工夫している。 マンガなどを使い分かりやすくするように工夫している。 内容項目（マーク）、学びのテーマを、教材冒頭右端に提示している。	発達段階のめやすに照らして[C]では挿絵や写真が多いものを中心に、[D]では興味・関心に合わせて部分的に使用することができる。 各学年にオリエンテーションのページを設け、学習のイメージを持てるように配慮している。 四つの視点を表すピクトグラムを使用し、教材の内容を視覚的に理解しやすくしている。 難しい言葉に脚注を付けている。	発達段階のめやすに照らして[C]では挿絵や写真が多いものを中心に、[D]では興味・関心に合わせて部分的に使用することができる。 各学年にガイダンスのページを設け、学習のイメージを持てるように配慮している。 四つの視点を表すピクトグラムを使用し、教材の内容を視覚的に理解しやすくしている。 視点ごとの冒頭に 4 コママンガを設け、その視点についてイメージできるよう配慮している。 難しい漢字に脚注を付けている。
	別表 2	22 のキーワードに分け、発達段階に沿った多様な題材を扱っている。 各教材の最後に「考えよう」という項目で振り返りを促し、思考力や判断力を高め、実生活へと試行できるように工夫している。 考えを深める 4 つのステップ「見つけよう」「考えよう」「話し合おう」「生き方につなげよう」を掲載し、学びの多様化を工夫している。	学校生活や SNS などの教材を取り入れ、実生活に結び付けて考えられるように工夫している。 オリンピック選手やメジャーリーグで活躍する日本人選手などの話題を取り入れ、興味・関心を抱かせる工夫がある。 教材の文末に「自分を見つめて考える」「考えを深める」の設問を置き、考えを深められるように工夫している。 「マイプラス」や「Thinking」などのコラムを設け、学習内容を広げる工夫がある。	学校生活や SNS などの教材を取り入れ、実生活に結び付けて考えられるように工夫している。 マンガやスポーツ選手の話題を取り入れ、興味・関心を抱かせる工夫がある。 教材の文末に「考えよう」「深めよう」の設問を置き、考えを深められるように工夫している。 巻末付録の「ウェルビーイングカード」を活用して導入や議論を深められるように工夫している。
	別表 3・4	挿絵や写真を多く掲載している。 目次は色やテーマによって分かりやすく表示している。 カラーユニバーサルデザイン及びユニバーサルフォントを採用している。 AB 判、表紙は堅ろうである。	カラーユニバーサルデザインの観点から、判別しやすい配色や表現をしている。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。 B5 判、製本は堅ろうである。	カラーユニバーサルデザインの観点から、色使いなどに配慮している。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。 AB 判、製本は強固な糊付けの無線綴じで堅ろうである。
備考		特別支援教育、情報モラル、多様性、SDGsに関する校閲編集協力がある。 環境に配慮した紙、植物油インキ、印刷方式を使用している。	再生紙や植物油インキを使用している。	再生紙や植物油インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料）道徳

別表 1

項目		「2 東書」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇挿絵や写真を中心に使用することができる。
	D	◇興味・関心に合わせて部分的に使用することができる。
(2) イ		◇巻頭に学習の手順についてマンガを交えて説明するページがある。 ◇四つの視点を表すピクトグラムで学習内容を示している。 ◇難しい言葉に脚注を付けている。

別表 2

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇学校生活やスマホの使い方についての教材を掲載している。 ◇さまざまな職業についての教材を掲載している。
	イ	◇スポーツや現代的な話題について掲載し、興味・関心を高めている。 ◇教材の始めに導入に使用できる資料を掲載している箇所がある。
	ウ	◇教材の文末に「考えよう」「見つめよう」の設問を掲載している。 ◇教材の内容を広げたり深めたりするコラムを掲載している。

別表 3

項目		「2 東書」
(1) (2)	ア	◇カラー挿絵を多数掲載している。
	イ	◇図表・写真の掲載が適当である。
	ウ	◇速度調節可能な朗読音声などデジタル資料の二次元コードが掲載されている。

別表 4

項目		「2 東書」
(1) (2) (3)	ア イ	◇カラーユニバーサルデザインに基づいて配色している。
	ウ エ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。
	オ	◇AB 判である。 ◇環境に配慮した用紙やインクを使用している。 ◇堅ろうに製本されている。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料）道徳

別表 1

項目		「1 7 教出」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇挿絵や写真を中心に使用することができる。
	D	◇興味・関心に合わせて部分的に使用することができる。
(2) イ		◇巻頭にオリエンテーションを掲載している。 ◇四つの視点を表すピクトグラムで学習内容を示している。 ◇難しい言葉に脚注を付けている。

別表 2

項目		「1 7 教出」
(1) (2)	ア	◇学校生活や SNS についての教材を掲載している。 ◇様々な職業についての教材を掲載している。
	イ	◇スポーツや現代的な話題について掲載し、興味・関心を高めている。 ◇教材のはじめに導入の設問を掲載している。
	ウ	◇教材の文末に「学びの道しるべ」の設問を掲載している。 ◇教材の内容を広げたり深めたりするコラムを掲載している。

別表 3

項目		「1 7 教出」
(1) (2)	ア	◇カラー挿絵を多数掲載している。
	イ	◇図表・写真の掲載が適当である。
	ウ	◇動画やウェブツールなどデジタル資料の二次元コードを掲載している。

別表 4

項目		「1 7 教出」
(1) (2) (3)	ア イ	◇カラーユニバーサルデザインに基づいて配色している。
	ウ エ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ◇吹き出しなどを文節改行で表記している。
	オ	◇B5 判である。 ◇環境に配慮した用紙やインクを使用している。 ◇製本は堅ろうである。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料）道徳

別表 1

項目		「38 光村」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇挿絵や写真が多いものを中心に使用することができる。
	D	◇興味・関心に合わせて部分的に使用することができる。
(2) イ		◇挿絵・写真を多用し、イメージを豊かに広げ、視覚的に理解することを支援している。 ◇必要な語句については、ふりがなを付す配慮をしている。 ◇内容項目をピクトグラムによって示している。 ◇二次元コードを付け、インターネットで資料を入手できるように工夫している。

別表 2

項目		「38 光村」
(1)	ア	◇22 のキーワードに分け、発達段階に沿った多様な題材を扱っている。 ◇家庭・学校・社会生活における身近な話題を取り扱っている。 ◇教材に沿ったコラムを適切に配する工夫をしている。
	イ	◇4 種類の内容項目を、教材冒頭に色、マークで分けて右端に提示している。
(2)	ウ	◇「考えよう」「見方を変えて」「つなげよう」と試行の手順を示している。 ◇二次元コードを付け、インターネットで資料を入手できるように工夫している。

別表 3

項目		「38 光村」
(1)	ア	◇全体的に淡い色で、カラー挿絵を多数掲載している。 ◇ナビゲートやポイントなどを吹き出しや囲みで表記している。
	イ	◇絵図・表・写真の説明の位置が適当である。 ◇写真に適切なキャプションを付けている。
(2)	ウ	◇二次元コードが適切に用意されている。

別表 4

項目		「38 光村」
(1) (2) (3)	ア	◇特別支援教育の観点からユニバーサルデザインの校閲がある。
	イ	◇すべての生徒の色覚特性に適応するデザインである。
	ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを採用しており、重要単語は太字で読みやすい。
	エ	◇本文とそれ以外の部分の書体はポイントを変更し明記している。 ◇難しい漢字、英語表記には異なった書体のふりがなをふる配慮がある。
	オ	◇B5 変形判であり、表紙は、堅ろう製本している。 ◇植物油インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料）道徳

別表 1

項目		「116 日文」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇挿絵や写真が多いものを中心に使用することができる。
	D	◇興味・関心に合わせて部分的に使用することができる。
(2) イ		◇各教材が扱っている 4 種類の内容項目を、色・マークで分け、右端に提示している。 ◇各題目の下に登場人物が分かりやすいように、写真又はイラストと名前を提示している。 ◇各教材の最後に、「考えてみよう」で内容について考え、「自分にプラス 1」で自分の考えを深められるように工夫している。 ◇別冊の「道徳ノート」で自分の考えや、友達の意見や話し合いを記録することができる。

別表 2

項目		「116 日文」
(1) (2)	ア	◇各教材の最後に、「考えてみよう」「自分にプラス 1」という項目で振り返りを促し、思考力や判断力を高め、実生活へつなげるように工夫している。
	イ	◇各題材の題目の下に、登場人物の写真又はイラストと名前が提示してあることで導入段階での興味・関心を高めるように工夫している。 ◇各教材が扱っている 4 種類の内容項目を、色・マークによって分け、右端に提示している。
	ウ	◇二次元コードを付け、インターネットで資料を入手できるように工夫している。

別表 3

項目		「116 日文」
(1) (2)	ア	◇カラー挿絵を多数掲載している。 ◇ナビゲートやポイントなどを吹き出しや囲みで表記している。
	イ	◇絵図・表・写真の説明の位置が適当である。 ◇写真に適切なキャプションを付けている。
	ウ	◇二次元コードが適切に用意されている。

別表 4

項目		「116 日文」
(1) (2) (3)	ア	◇特別支援教育の観点からユニバーサルデザインの校閲がある。
	イ	◇全ての生徒の色覚特性に適応するデザインである。
	ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを採用しており、重要単語は太字で読みやすい。 ◇本文とそれ以外の部分の書体はポイントを変更し明記している。 ◇難しい漢字、英語表記には異なった書体のふりがなをふる配慮がある。
	エ	◇B5 判であり、表紙は、堅ろう製本している。 ◇植物油インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料）道徳

別表 1

項目		「224 学研」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇挿絵や写真が多いものを中心に使用することが可能である。
	D	◇興味・関心に合わせて部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇各教材が扱っている4種類の内容項目を色・マークによって分け、右端に提示している。 ◇各項目の下段にメモ欄を設け、考えたことを書き込めるように工夫している。 ◇各教材の最後に「考えよう」で内容について考えることができ、「クローズアップ」ではその内容を深めるように説明している。 ◇巻末に「学びの記録」のページを設け、各学期の振り返りができるように工夫している。

別表 2

項目		「224 学研」
(1) (2)	ア	◇各教材の最後に「考えよう」という項目で振り返りを促し、思考力や判断力を高め、実生活につなげる工夫をしている。
	イ	◇各題材の題目の下にその題材で考えることや重要な一文を提示することで、導入段階での興味・関心を高めるように工夫している。
	ウ	◇二次元コードを付け、インターネットで資料を入手できるように工夫している。

別表 3

項目		「224 学研」
(1) (2)	ア	◇カラー挿絵を多数掲載している。 ◇ナビゲートやポイントなどを吹き出しや囲みで表記している。
	イ	◇絵図・表・写真の説明の位置が適当である。 ◇写真に適切なキャプションを付けている。
	ウ	◇二次元コードが適切に用意されている。

別表 4

項目		「224 学研」
(1) (2) (3)	ア	◇特別支援教育の観点からユニバーサルデザインの校閲がある。
	イ	◇すべての生徒の色覚特性に適応するデザインである。
	ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを採用しており、重要単語は太字で読みやすい。
	エ	◇本文とそれ以外の部分の書体はポイントを変更し明記している。 ◇難しい漢字、英語表記には異なった書体のふりがなをふる配慮がある。
オ		◇AB判であり、表紙は、堅ろう製本している。
		◇植物油インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料）道徳

別表 1

項目		「232 あか図」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇挿絵や写真を中心に使用することができる。
	D	◇興味・関心に合わせて部分的に使用することができる。
(2) イ		◇巻頭にオリエンテーションを掲載している。 ◇四つの視点を表すピクトグラムで学習内容を示している。 ◇難しい言葉に脚注を付けている。

別表 2

項目		「232 あか図」
(1) (2)	ア	◇学校生活やSNSについての教材を掲載している。 ◇様々な職業についての教材を掲載している。
	イ	◇スポーツや現代的な話題について掲載し、興味・関心を高めている。
	ウ	◇導入や終末で使用できる動画を掲載している箇所がある。
		◇教材の文末に「自分を見つめて考える」「考えを深める」の設問を掲載している。 ◇教材の内容を広げたり深めたりするコラムを掲載している。

別表 3

項目		「232 あか図」
(1) (2)	ア	◇カラー挿絵を多数掲載している。
	イ	◇図表・写真の掲載が適当である。
	ウ	◇インタビュー動画などデジタル資料の二次元コードが掲載されている。

別表 4

項目		「232 あか図」
(1) (2) (3)	ア	◇カラーユニバーサルデザインに基づいて配色している。
	イ	
	ウ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。
	エ	
オ		◇B5判である。 ◇環境に配慮した用紙やインクを使用している。 ◇製本は堅ろうである。

特別支援教育に係る調査研究事項（補足資料）道徳

別表 1

項目		「２３３ 日科」
(1) ア	A	
	B	
	C	◇挿絵や写真を中心に使用することができる。
	D	◇興味・関心に合わせて部分的に使用することができる。
(2) イ		◇巻頭ガイダンスを掲載している。 ◇四つの視点を表すピクトグラムで学習内容を示している。 ◇難しい言葉に脚注を付けている。

別表 2

項目		「２３３ 日科」
(1) (2)	ア	◇学校生活や SNS についての教材を掲載している。 ◇様々な職業についての教材を掲載している。
	イ	◇スポーツや現代的な話題について掲載し、興味・関心を高めている。
	ウ	◇教材の文末に「考えよう」「深めよう」の設問を掲載している。
		◇教材の内容を広げたり深めたりするコラムを掲載している。

別表 3

項目		「２３３ 日科」
(1) (2)	ア	◇カラー挿絵を多数掲載している。
	イ	◇図表・写真の掲載が適当である。
	ウ	◇動画などの二次元コードが掲載されている。

別表 4

項目		「２３３ 日科」
(1) (2) (3)	ア イ	◇カラーユニバーサルデザインに基づいて配色している。
	ウ エ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。
	オ	◇AB 判である。 ◇環境に配慮した用紙やインクを使用している。 ◇製本は堅ろうである。